

令和4年度

Shizuoka City Museum of Art ANNUAL REPORT 2022

静岡市美術館年報 No.13

目次

1. 基本理念・沿革	
1-1 基本理念	3
1-2 沿革	3
1-3 令和4(2022)年度事業一覧	4
2. 展覧会事業	
2-1 スイス プチ・パレ美術館展 花ひらくフランス絵画	6
2-2 ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵-武者たちの物語	12
2-3 出版120周年 ピーターラビット™展	22
2-4 杉浦非水 時代をひらくデザイン	34
2-5 東海道之美 駿河への旅	48
3. 交流事業(教育普及事業)	
3-1 交流事業	56
1)Shizubi Project 8「世界は生きている 松藤孝一」/2)参加型公開制作「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう!」/ 3)Shizubi シネマアワー/4)しずびオープンアトリエ/5)しずびチビッコプログラム/6)暦とあそぶワークショップ/7)プレゼントワー クショップ/8)夜店市	
3-2 連携事業	64
1)ミュージアム教室・展示解説/2)生涯学習センター・静岡市美術館連携事業「しずび出前講座」/3)静岡・音楽館×科学館×美術館共 同事業(三館共同事業)/4)その他施設との連携	
4. 受託事業等	
4-1 受託事業等	68
1)特集展示 竹久夢二展/2)静岡市清水文化会館マリナート常設展示「平野富山-清水が生んだ彩色木彫の名匠」	
5. 調査研究・研修受入等	
5-1 調査研究	70
5-2 博物館実習	71
5-3 視察等受入	71
6. 収蔵品・図書等	
6-1 収蔵品・画像貸出	72
6-2 図書等	72
7. 広報活動	
7-1 広報制作物	73
7-2 ウェブサイト	74
7-3 施設広報記録	74
8. 管理運営	
8-1 利用者数	75
8-2 過去展覧会一覧	79
8-3 静岡市美術館運営協議会	83
8-4 組織図・職員名簿	84
8-5 条例・施行規則	85
8-6 施設・建築概要	87

1. 基本理念・沿革

1-1 基本理念

静岡市美術館は、JR静岡駅北口の複合ビル「葵タワー」3階に、平成22年5月に開館、同年10月にグランドオープンしました。「人・地域が躍動する芸術文化の創造・発信」を基本理念に、展示室では、美術を主軸にデザインや工芸など幅広いジャンルの展覧会を開催します。

また、エントランスホールや多目的室、ワークショップ室などの「交流ゾーン」では、様々なアートシーンの紹介や講演会、ワークショップ、コンサート、美術映画の上映など普及事業を実施します。

駅から徒歩3分という立地を活かし、誰もが気軽に立ち寄れる“ちょっと面白い街の中の広場”のような美術館を目指しています。

美術館ロゴマーク



美術館のロゴマークは、静岡、そして日本を象徴する富士山をモチーフにしています。重ねられた2つの円には、美術館を中心とした人の輪の広がり、地域と世界を結ぶイメージが表されています。また、視点と興行きの変化による“視ることの楽しさ”にも気付かせてくれます。

デザイン：柿木原政広(アートディレクター /10inc.)

1-2 沿革

平成18(2006)年

3月 「静岡市文化振興ビジョン」策定

平成19(2007)年

3月 「(仮称)静岡市立美術館 基本計画」策定

7月4日 「葵タワー」着工

平成20(2008)年

3月 「(仮称)静岡市立美術館運営実施計画」策定

平成21(2009)年

7月8日 美術館内装建築工事着工[内装設計：(株)丹青研究所、内装建築工事：(株)木内建設]

7月16日 静岡市美術館条例制定

11月12日 静岡市美術館条例施行規則制定

平成22(2010)年

3月24日 静岡市が(助)静岡市文化振興財団を指定管理者に指定

4月1日 「葵タワー」オープン

5月1日 静岡市美術館開館・完成記念式典開催

9月30日まで展覧会関連事業および交流事業を実施

10月1日 静岡市美術館グランドオープン記念式典開催

10月2日 開館記念展<I> 「ポーラ美術館コレクション展 印象派とエコール・ド・パリ」開催(-11月28日)

平成23(2011)年

5月9日 美術館のロゴマークなどヴィジュアル・アイデンティティーが世界3大広告賞のひとつ「The One Show 2011」の銀賞を受賞

平成24(2012)年

1月4日 美術館エントランスホールに漆芸作品「東海道五十三次ひとめ図」設置、除幕式開催

平成25(2013)年

9月14日 来館100万人達成記念式典を実施

平成26(2014)年

5月2日 静岡県教育委員会より博物館相当施設に指定

平成27(2015)年

3月20日 静岡市が(公財)静岡市文化振興財団を第Ⅱ期指定管理者に指定

5月1日 静岡市美術館開館5周年

平成29(2017)年

8月18日 展覧会観覧者100万人達成

令和元(2019)年

10月10日 来館300万人達成記念式典を実施

令和2(2020)年

4月1日 静岡市が(公財)静岡市文化振興財団を第Ⅲ期指定管理者に指定

5月1日 静岡市美術館開館10周年

※過去展覧会一覧は、79-82頁を参照。

1-3 令和4(2022)年度事業一覧

		展覧会	交流事業
令和4年(2022年)	4月	スイス プチ・パレ美術館展 花ひらくフランス絵画 4月9日-6月19日<開館63日間>	
	5月		7日 Shizubiシネマアワー vol.29 ①『シラノ・ド・ベルジュラックに会いたい!』 8日 同 ②『ディリリとパリの時間旅行(字幕版)』 同 プレゼントワークショップvol.36「母の日だ!親子でプレゼントをつくろう」 28日 しずびチビッコプログラム「スイス プチ・パレ美術館展 花ひらくフランス絵画」※中止
	6月		19日 プレゼントワークショップvol.37「父の日だ!親子でプレゼントをつくろう」
	7月	ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵-武者たちの物語 7月2日-8月28日<開館51日間>	3日 暦とあそぶワークショップvol.22「七夕の準備をしよう!」子ども編・大人編
	8月		12日 しずびオープンアトリエ「粘土で刀の鐔形(つばがた)コースターをつくろう」(-21日) 27日 しずびチビッコプログラム「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵-武者たちの物語」
	9月	出版120周年 ピーターラビット™展 9月15日-11月6日<開館44日間>	
	10月		2日 参加型公開制作「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう!」 23日 しずびチビッコプログラム「出版120周年 ピーターラビット™展」
	11月		
	12月	杉浦非水 時代をひらくデザイン 11月19日-1月29日<開館55日間>	10日 プレゼントワークショップvol.38「クリスマスの小さな妖精“トムテ”をつくろう!」子ども編 11日 同 大人編
	令和5年(2023年)		1月
	2月	東海道之美 駿河への旅 2月11日-3月26日<開館38日間>	18日 暦とあそぶワークショップvol.24「ひな祭りの準備をしよう!」 25日 しずびオープンアトリエ「縹緗彩色に挑戦!色鮮やかな文様を描こう」(-3月19日) 同 おうちで!しずびオープンアトリエ「縹緗彩色に挑戦!色鮮やかな文様を描こう」(動画配信+貸出キット)(-3月31日)
	3月		5日 Shizubi Project 8「世界は生きている 松藤孝一」アーティストトーク② 21日 Shizubiシネマアワー vol.30 ①「極上の人形アニメの世界」、②「かわいいチェコアニメの世界」 25日 しずびチビッコプログラム「東海道之美 駿河への旅」

2. 展覧会事業 目次

2-1	スイス プチ・パレ美術館展 花ひらくフランス絵画	6
2-2	ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語	12
2-3	出版120周年 ピーターラビット™展	22
2-4	杉浦非水 時代をひらくデザイン	34
2-5	東海道之美 駿河への旅	48

2. 展覧会事業

2-1 スイス プチ・パレ美術館展 花ひらくフランス絵画

会期：4月9日(土)～6月19日(日)

概要：スイスのジュネーブにあるプチ・パレ美術館は、工業用ゴムの製造で財を成したオスカー・ゲーズ氏によって1968年に創設された。「平和に奉仕する芸術」という理念のもとに集められたコレクションは、フランス近代絵画が大半を占める。同館は現在休館しており、その所蔵品がまとめて来日する30年ぶりの機会となった。

19世紀後半から20世紀初頭にかけて、フランスでは移ろいゆく自然を活写した印象派、科学と美術を融合させた新印象派、平坦な色面で神秘的な世界を表したナビ派、色彩の解放を謳ったフォーヴィスム、幾何学的な図形で画面を構成したキュビズムなど、様々な芸術潮流が生じた。本展ではオーギュスト・ルノワール、モーリス・ドニ、ラウル・デュフィ、アンドレ・ロート、モーリス・ユトリロ、藤田嗣治ら38作家65点の油彩画によって、フランス近代美術の流れをたどった。

巡回先：鹿児島市立美術館、佐川美術館、郡山市立美術館、SOMPO美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、テレビ静岡、中日新聞東海本社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、在日スイス大使館、K-mix

企画協力：株式会社ホワイトインターナショナル

観覧料：一般 1,400円(1,200円)
大高生・70歳以上 1,000円(800円)
※()内は前売および20名以上の団体料金
※中学生以下無料
※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：19,755人(有料14,190人、無料5,565人、有料率71.83%)

出品点数：65点

制作物：

1)チラシ

＜仕様＞紙：OKミュージカリバーグロス(オフホワイト) 110kg
サイズ・数量：A4 60,000部

2)ポスター

＜仕様＞紙：OKミュージカリバーグロス(オフホワイト) 135kg
サイズ・数量：B1 60部、B2 2,050部、B3 2,750部(うち400部はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ裏面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>190×290mm、135頁



カタログ表紙

カラー図版65点

参考図版(カラー6点、モノクロ4点)

クロード・ゲーズ「イントロダクション」

監修、執筆：フランソワーズ・バリガン

編集：鹿児島市立美術館、郡山市立美術館、静岡市美術館、SOMPO美術館

翻訳：谷口雄三(鹿児島市立美術館)、田中有沙子(郡山市立美術館)、川上恵理(郡山市立美術館)、深尾茅奈美(静岡市美術館)

発行：ホワイトインターナショナル

発行年：2021年

普及ツール：

1)音声ガイド

2)本展オリジナルミニDMの作成・配布

ハガキサイズのミニDMを制作し、市内店舗等へ配布した。

制作物：

◆ミニDM

<仕様>紙：ジェントルフェイス 175kg

サイズ・数量：100×148mm 15,000部



ミニDM表面



ミニDM裏面

3)リピーター特典の実施

昨秋の「ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ」展で館内配布した本展の予告チラシを持参した観覧者に、当館オリジナルグッズをプレゼントした。

利用者数：601人

4)ゴールデンウィーク特典の実施

4月29日(金・祝)から5月10日(火)の計11日間、15時以降の観覧者各日先着50名に、静岡市美術館オリジナルグッズをプレゼントした。

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

2)おまち雨の日キャンペーンへの参加

I Loveしずおか協議会事務局が主催する、おまち雨の日キャンペーン(6月13日~7月31日)に参加し、雨の日の観覧者を対象に絵葉書をプレゼントした。

3)伊勢丹キルトフェスティバルとの相互特典の実施

当館でキルトフェスティバルの半券を、キルトフェスティバルで当館の半券を提示した観覧者にプレゼントを行った。

利用者数：81人

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

・「展覧会紹介」FM-Hi!『chalchalサタデー 静岡ドライブインフォメーション』、4月2日放送。

・「65作品一挙来日30年ぶり」テレビ静岡『県内ニュース』、4月9日放送。

・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ! 静岡情報館』、4月28日放送。

・「展覧会紹介」エフエムしみず『モーニングバル』、5月2日放送。

・「プチ・パレ美術館展 来場者1万人に」テレビ静岡『県内ニュース』、5月20日放送。

2)新聞

- ・佐々木勇輝「『スイスの美術館展』照明など最終調整」『中日新聞』静岡版、4月7日。
- ・佐々木勇輝「コロナ禍でも感じルノ」『中日新聞』静岡版、4月10日。
- ・深尾茅奈美「筆触分割 純色を使用 1」『中日新聞』静岡版、4月19日。
- ・深尾茅奈美「点描法 科学との融合 2」『中日新聞』静岡版、4月20日。
- ・深尾茅奈美「平面性 浮世絵の影響 3」『中日新聞』静岡版、4月21日。
- ・宮崎正嗣「美術 スイス プチ・パレ美術館展」『中日新聞』静岡版、4月22日。
- ・深尾茅奈美「鮮烈 荒々しい色使い 4」『中日新聞』静岡版、4月23日。
- ・深尾茅奈美「幾何学的な面に分割 5」『中日新聞』静岡版、4月24日。
- ・深尾茅奈美「戦間期 自由好む画家 6」『中日新聞』静岡版、4月26日。
- ・佐々木勇輝「近代の筆致変遷鮮やか」『中日新聞』静岡版、5月13日。
- ・佐々木勇輝「来場者1万人を突破」『中日新聞』静岡版、5月21日。
- ・「仏絵画展入場者1万人で記念品」『静岡新聞』5月21日。
- ・深尾茅奈美「ルノワール 画筆を握らせた容姿 上」『中日新聞』静岡版、5月24日。
- ・深尾茅奈美「ヴァラドンとユトリロ 親子画家 数奇な人生 中」『中日新聞』静岡版、5月25日。
- ・深尾茅奈美「サラ・ベルナル 60代 大女優の貫禄 下」『中日新聞』静岡版、5月26日。

3)雑誌他

- ・「珠玉の名品でたどる20世紀の絵画史」『すごい美術館 2021-2022(ぴあMOOK)』。
- ・「展覧会紹介」『美術の窓』、12月号
- ・「展覧会紹介」『美術展完全ガイド2022』。
- ・「展覧会紹介」『中日ショッパー』、年始号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、2・3月号。
- ・「あるコレクターの審美眼」『美術展ぴあ 2022(ぴあMOOK)』。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、4・5月号。
- ・「展覧会紹介」『美Premium』、3月号。
- ・「展覧会紹介」『にんぎょう日本』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『HOT PEPPER』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊なごや』、第474号。
- ・「展覧会紹介」『Kyodo Weekly』、No.16。
- ・「静岡市美術館で堪能する近代フランス絵画の名品展」『芸術新潮』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、5月号。
- ・「展覧会紹介」『富士ニュース』、22777号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、6・7月号。
- ・「展覧会紹介」『美容文化』。
- ・「展覧会紹介」『InRed』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、6月号。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「Fashion Press」,「YAHOO!JAPAN、じゃらんnet等」,「アートアジェンダ」,「ぴあポイント」,「ビズ・フランス」,「ウェブ版『美術手帖』」,「静岡信用金庫LINE配信」,「アットエス」,「静岡日仏協会 Facebookページ」,「5市2町 イベントニュース GO TO アプリ」



5月20日 来場者1万人達成

関連事業：

1)講演会「光と色彩の世紀 印象派からエコール・ド・パリへ」

概要：成城大学名誉教授・広島県立美術館館長の千足伸行氏をお招きし、19世紀後半から20世紀前半に至るフランス美術の変遷についてお話しいただいた。本展出品作の作品分析を中心に、印象派からエコール・ド・パリに至る絵画様式の変遷をご説明いただき、美術史の専門知識が無くとも分かりやすい内容であった。参加者アンケートでは「それぞれの絵のみどころとコレクションの全体像がよく分かった」等の感想が寄せられた。

日時：4月16日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：41人

講師：千足伸行氏(成城大学名誉教授・広島県立美術館館長)



2)当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：①5月1日(日) ②6月5日(日)

いずれも14:00-

会場：多目的室 参加者数：計70人

参加料：無料



1 印象派

Cat.No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材
1	アンリ・ファンタン＝ラトゥール	ヴェーヌスの身繕い	1880年	油彩・カンヴァス
2	オーギュスト・ルノワール	詩人アリス・ヴァリエール＝メルツバッハの肖像	1913年	油彩・カンヴァス
3	アルマン・ギョーマン	ボン＝マリー、パリ	1883年	油彩・カンヴァス
4	ギュスターヴ・カイユボット	子どものモーリス・ユゴの肖像	1885年	油彩・カンヴァス

2 新印象派

Cat.No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材
5	アルベール・デュボワ＝ピエ	ボニエールの近くの村	1888年	油彩・カンヴァス
6	アルベール・デュボワ＝ピエ	冬の風景	1888-89年	油彩・カンヴァス
7	シャルル・アングラン	画家の母の肖像	1885年	油彩・カンヴァス
8	シャルル・アングラン	収穫	1887年	油彩・カンヴァス
9	アンリ＝エドモン・クロス	遠出する人	1894年	油彩・カンヴァス
10	アンリ＝エドモン・クロス	糸杉のノクチューン	1896年	油彩・カンヴァス
11	マクシミリアン・リュス	若い女の肖像	1893年	油彩・カンヴァス
12	マクシミリアン・リュス	フェイノールのムーズ川	1909年	油彩・カンヴァス
13	アシール・ロージェ	花瓶の花束	1894年	油彩・カンヴァス
14	アシール・ロージェ	窓辺	1899年	油彩・カンヴァス
15	テオ・ファン・レイセルベルヘ	ファン・デ・フェルデ夫人と子どもたち	1903年	油彩・カンヴァス
16	ジョルジュ・レメン	ラ・ユルプのフルマリエの家	1888年	油彩・カンヴァス
17	ニコラス・アレクサンドロヴィッチ・タルコフ	ダンス	1904年	油彩・カンヴァス
18	ニコラス・アレクサンドロヴィッチ・タルコフ	木陰	1907年	油彩・カンヴァス

3 ナビ派とボン＝タヴァン派

Cat.No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材
19	ポール＝エリー・ランソン	海辺の風景	1895年	油彩・カンヴァス
20	エミール・ベルナール	カンカルの浜辺	1886年	油彩・カンヴァス
21	モーリス・ドニ	母子像、アンヌ＝マリーの食事	1903年	油彩・カンヴァス
22	モーリス・ドニ	休暇中の宿題	1906年	油彩・カンヴァス
23	モーリス・ドニ	ペロス＝ギレックの海水浴場	1924年	油彩・カンヴァス

4 新印象派からフォーヴィスムまで

Cat.No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材
24	ルイ・ヴァルタ	帽子を被った女の肖像	1895年	油彩・カンヴァス
25	ルイ・ヴァルタ	マキシムにて	1895年	油彩・カンヴァス
26	ルイ・ヴァルタ	ブーローニュの森の遊歩道	1898年	油彩・カンヴァス
27	アンリ・マンギャン	室内の裸婦	1905年	油彩・カンヴァス
28	アンリ・マンギャン	ヴィルフランシュの道	1913年	油彩・カンヴァス
29	モーリス・ド・ヴラマンク	7月14日 踏切、バリ祭	1925年	油彩・カンヴァス
30	ジャン・ピュイ	画家とそのモデル	1911年	油彩・カンヴァス
31	ラウル・デュフィ	マルセイユの市場	1903年	油彩・カンヴァス
32	キース・ヴァン・ドンゲン	村の広場	1906年	油彩・カンヴァス
33	シャルル・カモワン	海岸の村	1905年	油彩・カンヴァス
34	シャルル・カモワン	ナポリの若い女	1906年	油彩・カンヴァス
35	シャルル・カモワン	バラ色の布の静物	不詳	油彩・カンヴァス

5 フォーヴィズムからキュビズムまで

Cat.No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材
36	ジャンヌ・リジニルソー	白い胸あて	1911年	油彩・カンヴァス
37	マリア・ブランシャール	輪回しをする子ども	1916-18年	油彩・カンヴァス
38	マリア・ブランシャール	静物	1917年	油彩・板
39	アルベール・グレース	座る裸婦	1909年	油彩・カンヴァス
40	ジャン・メッツァンジェ	首飾りを着けた若い女	1911年	油彩・カンヴァス
41	ジャン・メッツァンジェ	風景	1913年	油彩・カンヴァス
42	ジャン・メッツァンジェ	スフィンクス	1920年	油彩・カンヴァス
43	アンリ・エダン	ラム酒のある静物	1918年	油彩・カンヴァス
44	アンドレ・ロート	バッカント(酒に酔う女)	1910年	油彩・カンヴァスに紙
45	アンドレ・ロート	クルティザンヌ	1918年	油彩・カンヴァス
46	アンドレ・ロート	ワトーへのオマージュ	1918年	油彩・カンヴァス
47	ロジェ・ピシエール	窓迎の女たち	1920年	油彩・カンヴァス
48	ロジェ・ピシエール	台所のピシエール夫人とロート夫人	1921年	油彩・カンヴァス
49	マレヴナ	静物のある大きな自画像	1917年	油彩・カンヴァス

6 ポスト印象派とエコール・ド・パリ

Cat.No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材
50	テオフィル＝アレクサンドル・スタンラン	猫と一緒に母と子	1885年	油彩・カンヴァス
51	テオフィル＝アレクサンドル・スタンラン	2人のパリジェンヌ	1902年	油彩・カンヴァス
52	テオフィル＝アレクサンドル・スタンラン	純愛	1909年	油彩・カンヴァス
53	フェリックス・ヴァロットン	身繕い	1911年	油彩・カンヴァス
54	シュザンヌ・ヴァラドン	コントラバスを弾く女	1908年	油彩・カンヴァス
55	シュザンヌ・ヴァラドン	暴かれた未来、あるいはカード占いの女	1912年	油彩・カンヴァス
56	ジョルジュ・ボッティエーニ	バーで待つサラ・ベルナルの肖像	1907年	油彩・カンヴァス
57	ジョルジュ・ボッティエーニ	フォーリー・ベルジュールのバー・カウンター	1907年	油彩・カンヴァス
58	アンドレ・ドラン	横たわる金髪の裸婦	1934-39年	油彩・カンヴァス
59	モーリス・ユトリロ	ノートル＝ダム	1917年	油彩・カンヴァス
60	モーリス・ユトリロ	ヴィルフランシュの通り	1921年	油彩・カンヴァス
61	藤田嗣治	2人の小さな友だち	1918年	油彩・カンヴァス
62	モイズ・キスリング	ルシヨンの風景	1913年	油彩・カンヴァス
63	モイズ・キスリング	緑の背景のレモンのある静物	1916年	油彩・カンヴァス
64	モイズ・キスリング	サン＝トロペのシエスタ	1916年	油彩・カンヴァス
65	モイズ・キスリング	赤毛の女	1929年	油彩・カンヴァス

2-2 ポストン美術館所蔵
THE HEROES 刀剣×浮世絵-武者たちの物語

会期：7月2日(土)～8月28日(日)

概要：アメリカ独立記念100周年にあたる1876年に開館したポストン美術館は、アメリカ合衆国における最も歴史ある美術館のひとつである。同館は10万点を超える世界最高水準の日本美術コレクションを収蔵することで知られるが、とりわけ5万点に上る浮世絵版画ならびに約600口を数える日本刀は、日本国外の収蔵品としては随一の質と量を誇る。

本展では、ポストン美術館のコレクションから『平家物語』に代表される軍記物語や武勇伝説に登場する英雄たちの華々しい活躍を描いた武者絵の優品118点を初出展し、主題や構図に共通のイメージがデザインされた罫(つば)27点とあわせて展示した。浮世絵版画の祖に位置付けられる菱川師宣を筆頭に、歌川国貞、歌川国芳、そして明治期の月岡芳年に至るまで、多くの浮世絵師たちが手掛けた武者絵が一堂に会した。

また同時に山城、大和、伯耆(ほうき)、備前など諸国の名工が生み出した平安時代中期から江戸時代後期までの名刀20口も紹介した。静岡会場限定で特別出品する国宝・重要文化財を含む国内所蔵の刀剣とともに、欧米の人々をも魅了した鉄(くろがね)の美、そして英雄たちの物語を紹介した。

巡回先：森アーツセンターギャラリー、新潟県立万代島美術館、兵庫県立美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、ポストン美術館、日本経済新聞社、Daiichi-TV

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、アメリカ大使館

協賛：大林組、DNP大日本印刷

静岡店特別協賛：セキスイハイム東海

協力：日本航空

助成：令和4年度日本博イノベーション型プロジェクト

観覧料：一般 1,500円(1,300円)
大高生・70歳以上 1,100円(900円)
※()内は前売および20名以上の団体料金
※中学生以下無料
※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：17,412人(有料12,119人、無料5,293人、有料率69.60%)

出品点数：174点

制作物：

1)チラシ

<仕様>紙：b7トラネクスト 99kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折り(仕上A4) 60,000部

2)ポスター

<仕様>紙：モンテアルバ 120.5kg

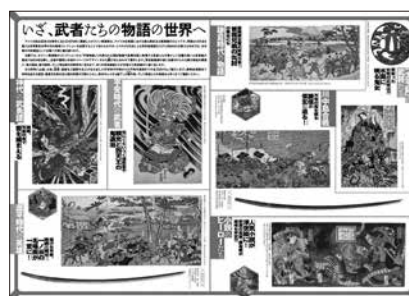
サイズ・数量：B1 60部、B2 2,000部、B3 2,750部(うち400部はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ裏面



チラシ中面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>230×302mm、272頁



カタログ表紙

カラー図版198点

参考図版(カラー82点、モノクロ7点)

原田一敏「ボストン美術館の日本刀」

岩切友里子「武者絵のイコノグラフィー」

アン・ニシムラ・モース「日本の武士文化にみる英雄のイメージ
ボストン美術館の日本刀剣と浮世絵について」

高橋哲也「コラム 銘から読み解く中世の刀剣―行年銘を中心に」

安永幸史「コラム スサノオノミコトと牛頭天王」

大石沙織「コラム 『平家物語』の浮世絵にみる義経の装束イメージ」

出品リスト／武者絵4コマ漫画

Sarah E. Thompson 「The Romance of the Sword in Ukiyo-e Prints」

Harada Kazutoshi 「Japanese Swords in the Collection of the Museum of Fine Arts, Boston」

Iwakiri Yuriko 「The Iconography of Warrior Prints」

Anne Nishimura Morse 「Heroic Visions of Japan's Warrior Past: Japanese Swords and Ukiyo-e at the Museum of Fine Arts, Boston」

監修：岩切友里子(浮世絵研究家)、原田一敏(東京藝術大学名誉教授)、アン・ニシムラ・モース(ボストン美術館 日本美術課長 ウィリアム・ヘレン・パウンズ記念席)、セーラ・E・トンプソン(ボストン美術館 日本美術課キュレーター)

編集：岩切友里子、原田一敏、アン・ニシムラ・モース、セーラ・E・トンプソン、福永愛(ボストン美術館 日本美術課研究員)、ジェニファー・スノッドグラス(ボストン美術館 出版部編集長)、日本経済新聞社 文化事業局

翻訳：板倉知美、河野哲郎、セーラ・E・トンプソン、長倉知子、ルース・S・マクレリー (ザ・ワード・ワークス)

発行：日本経済新聞社

発行年：2022年

普及ツール：

1)音声ガイド

2)鑑賞ガイド

出品作品の見どころをわかりやすく解説した鑑賞ガイドを制作し、市内中学校全生徒および県内中学校・高校美術部に配布、館内でも配架した。

制作物：

◆鑑賞ガイド

<仕様>紙：b7トラネクスト 99kg

サイズ・加工・数量：210×592mm (仕上210×148mm)、
ジャバラ三つ折り 43,000部



鑑賞ガイド表面

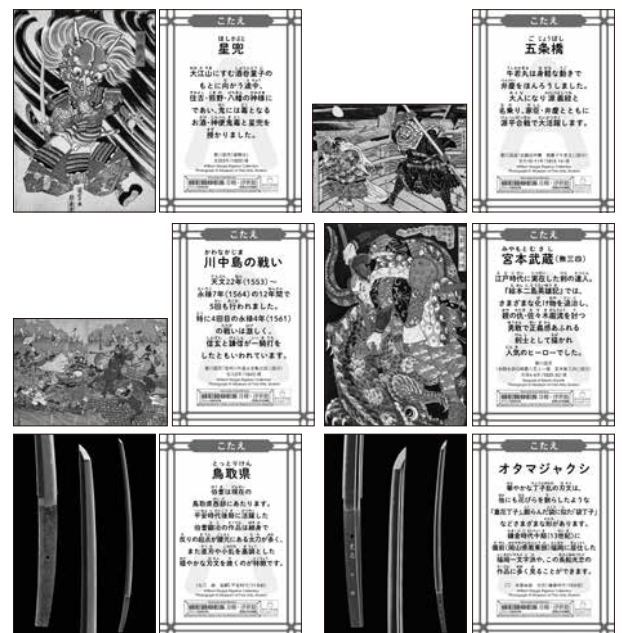


鑑賞ガイド中面

3)武者絵・刀剣カード

オリジナルデザインのカードと作品にまつわるクイズを6種制作。7、8月各3種をクイズ参加者にプレゼントする全世代向けイベントとして、リピート利用の促進を図った。

カード払出総数：21,812枚



4)オリジナル映像コンテンツの制作

出品作品の武者絵に関連する静岡県内の史跡を紹介するオリジナル映像5種類を日・英の二か国語で制作。当館HPならびにYouTubeチャンネルで公開し、展覧会の見どころだけでなく本県の文化資源の魅力も世界に向けて発信した。

5)撮影コーナーの設置

来館者のSNS等での情報発信を期待し、メインビジュアルに使用した牛若丸と弁慶の大型パネルを、エントランスホールに設置した。



6)展示室内写真撮影可能時間の設定

来館者のSNS等での情報発信を期待し、15時以降、展示室内の一部作品を除き、個人利用に限り写真撮影自由とした。

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg
サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

2)市内図書館との連携

本展にあわせ、市中央図書館では6月23日(木)から7月26日(火)まで(一部8月23日(火)まで)、特集コーナーが設置された。

3)清水文化会館マリナートとの相互特典の実施

当館で清水文化会館マリナートにて開催の「アフターマン展 未来生物図鑑」の半券を提示すると、当館オリジナルグッズをプレゼント、清水文化会館マリナートで当館の半券を提示すると、当日料金から100円引きとなる相互特典を実施した。



8月13日 来場者1万人達成

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」FM-Hil『chalchalサタデー 静岡ドライブインフォメーション』、6月25日放送。
- ・「展覧会紹介」Daichi-TV『まるごと』、7月1日放送。
- ・「ボストン美術館の浮世絵や刀剣 展示」Daichi-TV『県内ニュース』、7月2日放送。
- ・「展覧会紹介」Daichi-TV『THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語SP』、7月2日放送。
- ・「国宝も！名刀が静岡に 静岡市美術館で開催中」Daichi-TV『news every.しずおか』、8月3日放送。
- ・「ボストン美術館所蔵品が静岡に 118点 国内初出展の浮世絵」Daichi-TV『news every.しずおか』、8月11日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hil『ひるラジ！静岡情報館』、8月11日放送。
- ・「『THE HEROES展』来場1万人に」Daichi-TV『NNNストレイトニュース』、8月15日放送。
- ・「展覧会紹介」株式会社TOKAIケーブルネットワーク『トコチャンワイド』、8月23日放送。

2)新聞

- ・「いざ、武者たちの物語の世界へ『THE HEROES展』まもなく開幕！」『スポーツ報知』静岡版、6月28日。
- ・「米の美術館所蔵 浮世絵と刀展示」『静岡新聞』、7月7日。
- ・「源義経、源頼朝の名場面が浮世絵に」『スポーツ報知』静岡版、7月19日。
- ・三沢聖太郎「刀剣×浮世絵 日本史の名場面」『中日新聞』静岡版、7月21日。
- ・「鮮やか武者絵 刀とともに」『読売新聞』静岡版、8月11日。
- ・「武者絵と刀剣展 1万人」『読売新聞』静岡版、8月14日。
- ・「『THE HEROES』来場者1万人到達」『スポーツ報知』静岡版、8月14日。
- ・「武田信玄&上杉謙信の一騎打ちが浮世絵に!!」『スポーツ報知』静岡版、8月16日。

関連事業：

1)講演会①「武者絵から広がる楽しみ」

概要：本展の監修者で武者絵研究の第一人者の岩切友里子氏を講師に招き、武者絵の楽しみ方をご紹介いただいた。現代では難解である武者絵も、当時の人々にとっては身近な物語であり、その画題には描かれるべき約束事があったこと、それらは絵馬や武者絵本などを通じて人々に共通イメージを形成したことなどを解説、各物語を作品に描かれた“約束事”とともに紹介することで、作品の面白さが一層わかりやすく伝わる好事業となった。

日時：7月2日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 **参加者数：**50人

講師：岩切友里子氏(本展監修者、浮世絵研究者)

3)雑誌他

- ・「浮世絵と刀剣で勇者の歴史を紐解く」『すごい美術館 2021-2022)ぴあMOOK』。
- ・「展覧会紹介」『日経トレンディ 日経おとなのOFF 2022年絶対に見逃せない美術展』。
- ・「展覧会紹介」『美術の窓』、2021年12月号。
- ・「お江戸のスーパーヒーロー、ボストンより凱旋す!!」『芸術新潮』、2021年12月号。
- ・「目玉は刀と浮世絵。ボストン美術館の至宝」『美術展完全ガイド2022』。
- ・「デザイン力も技術力も! 鐔の中での迫力の戦い!」『和楽』、2・3月号。
- ・「日本のHEROES 見参 浮世絵×刀でいざ武者の世界へ!」『美術展ぴあ2022)ぴあMOOK』
- ・「展覧会紹介」『和楽』、6・7月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊なごや』、第474号。
- ・「展覧会紹介」『刀剣春秋』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『にんぎょう日本』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、8・9月号。
- ・「展覧会紹介」『懸賞なび』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『潮』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『小さな蕾』、9月号。
- ・「食で再現する日本人の美意識」『紺屋町倶楽部通信』、vol.49。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『富士ニュース』、22814号。
- ・「展覧会紹介」『Japan Cultural Expo Guide 2022』。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、8月号。
- ・「色鮮やかな武者絵を展示」『富士ニュース』、22851号。

4)ウェブサイト等)媒体名のみ記載)

「アートアジェンダ」、「インターネットミュージアム」、「日本博」、「日本芸術文化振興会」、「ウェブ版「美術手帖」」、「ケイティコム 今見られる全国のおすすめ展覧会」、「ぴあポイント」、「静岡信用金庫LINE配信」、「Tokyo Weekender」



2)講演会②「刀剣の見かた－HEROES展での楽しみかた－」

概要：本展の監修者で日本刀研究の第一人者である原田一敏氏を講師に招き、中世の絵巻物や近世初頭の武家肖像画などの絵画資料を例示しながら刀剣の用途について解説いただくとともに、本展出品作品を中心とした日本刀の特徴や鑑賞する上での楽しみ方についてご講演いただいた。

参加者からは「豆知識も多く、より刀剣に興味をもつことができた」と好評が得られ、刀剣ならびに展覧会に対する理解を深めることに繋がった。

日時：7月30日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：42人

講師：原田一敏氏(本展監修者、東京藝術大学名誉教授)



3)当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：①浮世絵編：7月17日(日) ②刀剣編：8月7日(日)

いずれも14:00-

会場：多目的室 参加者数：計69人

参加料：無料



4)静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業

科学教室「もっと知りたい日本刀の世界」

※67頁を参照。

出品作品リスト

- ・ 刀剣はS、浮世絵版画はU、鐙はTで始まる作品番号、ボストン美術館以外の所蔵品である出品作には、S-J、U-Jで始まる番号を付している。
- ・ 浮世絵版画的な作品名は、画中の題を用いた場合は「 」を付している。
- ・ ボストン美術館以外の所蔵品のうち、欠番は静岡会場では未出品。
 ●：国宝 ◎：重要文化財 ○：重要美術品

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
S-9			刀 金象嵌銘 光忠	鎌倉時代(13世紀)	ボストン美術館

神代の武勇譚

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
スサノオ					
U-1		歌川国芳	「武勇見立十二支 辰 素盞雄尊」	天保13年(1842)頃	ボストン美術館
U-2		歌川国輝	「本朝英雄伝 牛頭天皇 稲田姫」	弘化4～嘉永元年(1847～48)頃	ボストン美術館
U-3		月岡芳年	「大日本名將鑑 素盞烏尊 稲田姫」	明治12年(1879)2月20日	ボストン美術館
雄略天皇					
U-4		歌川国芳	「武勇見立十二支 亥 雄略天皇」	天保13年(1842)頃	ボストン美術館
小子部栖軽					
U-5		歌川国芳	「小子部栖軽豊浦里捕雷」	天保5～6年(1834～35)頃	ボストン美術館
出雲伊磨					
U-6		歌川国芳	「出雲伊磨」	天保5～6年(1834～35)頃	ボストン美術館
神我志姫					
U-7		歌川国芳	「神我志姫」	文政9～11年(1826～28)頃	ボストン美術館
S-J1			直刀 無銘	古墳時代(6世紀)	國學院大學博物館

平安時代の武者

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
藤原秀郷					
U-8		勝川春亭	藤原秀郷の百足退治	文政元～3年(1818～20)頃	ボストン美術館
U-9		歌川国芳	「龍宮城 田原藤太秀郷に三種の土産を贈」	安政5年(1858)4月	ボストン美術館
U-10		勝川春亭	「前太平記文巻川合戦」	文化8～9年(1811～12)頃	ボストン美術館
T-1			藤原秀郷図鐙 銘 生涼軒菽谷勝平(花押)	江戸～明治時代(19世紀)	ボストン美術館
S-J2			小烏丸(模作) 太刀 銘 小沢正寿作 昭和四十五年二月日 毎日新聞社賞受賞之作	昭和45年(1970)2月 [原品 平安時代(9世紀)]	個人
金太郎					
U-11		北尾重政	猿と熊の相撲の行司をする金太郎	安永元～3年(1772～74)頃	ボストン美術館
U-12		歌川芳艶	「頼光足柄山二怪童丸抱図」	安政6年(1859)2月	ボストン美術館
土蜘蛛退治					
U-13		歌川国芳	「和漢準源氏 源頼光 薄雲」	安政2年(1855)9月	ボストン美術館
U-14		歌川国貞	「渡辺ノ綱 坂田金時 平井保昌 源頼光」	文化12年(1815)頃	ボストン美術館
U-15		勝川春亭	坂田金時	寛政10年(1798)頃	ボストン美術館
U-16		北尾政美	土蜘蛛退治	天明7～寛政2年(1787～90)頃	ボストン美術館
U-17		歌川国芳	「源頼光の四天王土蜘蛛退治之図」	天保10～11年(1839～40)頃	ボストン美術館
U-18		勝川春英	「坂田金時土蜘蛛退治之図」	文化3年(1806)	ボストン美術館
T-2			土蜘蛛退治図鐙 銘 嘉永元戊申葉月応需 美も利(印)	嘉永元年(1848)	ボストン美術館
T-3			土蜘蛛退治図鐙 銘 松涛軒吾竹貞勝(花押)	明治時代(19世紀)	ボストン美術館
大江山酒呑童子					
U-19		菱川師宣	酒呑童子 首斬り	延宝8年(1680)頃	ボストン美術館
U-20		菱川師宣	酒呑童子 首飛来	延宝8年(1680)頃	ボストン美術館
U-21		菱川師宣	酒呑童子 凱旋、酒呑童子の首	延宝8年(1680)頃	ボストン美術館
U-22		歌川国芳	「源頼光」	文政3年(1820)頃	ボストン美術館
T-4			大江山図鐙(大) 銘 起龍軒美盛(花押)	明治時代(19世紀)	ボストン美術館
T-5			大江山図鐙(小) 銘 起龍軒美盛(花押)	明治時代(19世紀)	ボストン美術館
S-1			太刀 銘 安綱	平安時代(11世紀)	ボストン美術館
羅生門					
U-23		奥村政信	大和色竹 「大江山酒天とうし」	宝永2～3年(1705～6)頃	ボストン美術館
U-24		一筆斎文調	渡辺綱	明和6～安永元年(1769～72)頃	ボストン美術館
辰橋					
U-25		歌川国貞	「茨鬼 辰橋綱逢変化」	文化12年(1815)頃	ボストン美術館
平惟茂 紅葉狩					
U-26		月岡芳年	「美談武者八景 戸隠の晴嵐 平惟茂朝臣」	慶応4年(1868)1月	ボストン美術館

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
U-27		月岡芳年	「大日本名將鑑 平惟茂」	明治12年(1879)	ボストン美術館
T-6			紅葉狩図鐔 銘 生涼軒勝寿(花押)	江戸～明治時代(19世紀)	ボストン美術館
鬼童丸					
U-28		歌川国芳	「武勇見立十二支 丑 鬼童丸」	天保13年(1842)頃	ボストン美術館
U-29		歌川国芳	「耀武八景 市原野晴嵐」	天保7年(1836)頃	ボストン美術館
平井保昌・袴垂保輔					
U-30		歌川国芳	「木曾街道六十九次之内 野尻 平井保昌 袴垂保輔」	嘉永5年(1852)5月	ボストン美術館
U-31		月岡芳年	「明治十五壬午季秋絵画共進会出品画 藤原保昌月下弄笛図応需」	明治16年(1883)2月12日	ボストン美術館
源義家					
U-32		勝川春亭	「八幡太郎義家公 安倍貞任」	文化8～9年(1811～12)頃	ボストン美術館

源平時代の英雄

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
S-J4	●		太刀 銘 正恒	平安時代(11世紀)	ふくやま美術館 (小松安弘コレクション)
平忠盛					
U-33		歌川国貞	「本朝高名鑑 平忠盛」	天保10～11年(1839～40)頃	ボストン美術館
T-7			祇園社頭図鐔 銘 嘉永三庚戌歲初夏 守親(印)	嘉永3年(1850)	ボストン美術館
T-8			祇園社頭図鐔 銘 於東都忍岡邊海野盛寿作之	江戸～明治時代(19世紀)	ボストン美術館
平清盛 福原の怪異					
U-34		葛飾北為	「福原殿舎怪異之図」	弘化2～3年(1845～46)頃	ボストン美術館
悪源太義平					
U-35		歌川国芳	「布引ノ滝悪源太討難波」	天保5～6年(1834～35)頃	ボストン美術館
U-36		歌川国芳	「清盛入道布引滝遊覧悪源太義平靈討難波次郎」	天保元年(1830)頃	ボストン美術館
鶴退治					
U-37		北尾政美	鶴退治	寛政3～6年(1791～94)頃	ボストン美術館
宇治橋合戦					
U-38		鳥居清満	「一頼法師 筒井浄妙」	宝暦5～13年(1755～63)頃	ボストン美術館
U-39		北尾重政	「絵本武者鞋」 宇治橋上の筒井浄妙と一来法師	天明7年(1787)	ボストン美術館
鞍馬山					
U-40		歌川国貞	「牛若鞍馬兵術励」	文化11年(1814)頃	ボストン美術館
鬼若丸					
U-41		歌川国芳	「西塔鬼若丸」	弘化2～3年(1845～46)頃	ボストン美術館
五条橋 橋弁慶					
U-42		鳥居清長	牛若丸と弁慶	天明4年(1784)頃	ボストン美術館
U-43		歌川国貞	「武蔵坊弁慶 御曹子牛若丸」	文化10～11年(1813～14)頃	ボストン美術館
U-44		歌川国芳	天狗の加勢を得て戦う牛若丸と弁慶	嘉永3年(1850)	ボストン美術館
T-9			橋弁慶図鐔 無銘(宗典派)	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
T-10			橋弁慶図鐔 銘 連行(花押)	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
真田・俣野の組討					
U-45		歌川国芳	「真田與市宗定 俣野五郎景久」	文政11～12年(1828～29)頃	ボストン美術館
U-46		歌川国芳	「俣野五郎景久 真田与一義貞」	天保14～弘化元年(1843～44)頃	ボストン美術館
伏木隠れ					
T-11			伏木隠れ図鐔 銘 瀬尾美寿造	明治時代(19世紀)	ボストン美術館
T-12			伏木隠れ図鐔 無銘(宗典派)	江戸時代(18～19世紀)	ボストン美術館
宇治川合戦					
U-47		無款	宇治川の先陣争い	天明期(1781～88)頃	ボストン美術館
U-48		歌川国芳	「宇治川合戦之図」	嘉永2年(1849)	ボストン美術館
T-13			宇治川先陣争い図鐔 銘 江州彦根住喜多川藻柄子入道宗典行年七十一歳製	江戸時代(18世紀)	ボストン美術館
T-14			宇治川先陣争い図鐔 銘 常山宮 玉川信義(花押)	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
T-15			宇治川先陣争い図鐔 銘 林美勝(花押)	江戸～明治時代(19世紀)	ボストン美術館
T-16			宇治川先陣争い図鐔 銘 生涼軒勝平(花押)	江戸～明治時代(19世紀)	ボストン美術館
梅の制札					
U-49		田村貞信	「武者三幅対 智 源義経」	享保10～元文5年(1725～40)頃	ボストン美術館

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
U-50		魚屋北溪	「武者松竹梅番続」 弁慶	文政11～12年(1828～29)頃	ボストン美術館
籠の梅					
U-J1		歌川国芳	「生田森追手源平大合戦」	弘化2～3年(1845～46)頃	個人
T-17			籠の梅図鐔 銘 江州住美光作	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
T-18			籠の梅図鐔 無銘(宗典派)	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
鶴越の逆落とし					
U-J2		歌川国芳	義経之軍兵一ノ谷逆落シ之図	天保11～12年(1840～41)頃	個人
一ノ谷合戦					
U-51		北尾政美	一ノ谷合戦	天明7～寛政2年(1787～90)頃	ボストン美術館
U-52		勝川春亭	「一ノ谷合戦」	文化8～10年(1811～13)頃	ボストン美術館
熊谷・敦盛					
U-53		無款(奥村政信)	平敦盛と熊谷直実	正徳元～5年(1711～15)頃	ボストン美術館
扇の的					
U-54		無款(杉村治兵衛)	弓を引く那須与一	貞享元～元禄13年(1684～1700)頃	ボストン美術館
U-55		鳥橋斎栄里	扇の的を射る那須与一	寛政7～8年(1795～96)頃	ボストン美術館
牟礼高松					
U-56		勝川春章	源義経	明和5～6年(1768～69)頃	ボストン美術館
嗣信最期					
U-57		北尾政美	屋島合戦	天明7～寛政2年(1787～90)頃	ボストン美術館
しころ引き					
U-58		歌川豊国	しころ引き 「七兵衛影清 三保の谷四郎国俊」	文化10～12年(1813～15)頃	ボストン美術館
T-19			源平合戦図鐔 銘 江州住美光作	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
T-20			鍔引き図鐔 銘 高瀬栄寿	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
弓流し					
U-59		月岡芳年	「義経八島之名誉」	慶応2年(1866)4月	ボストン美術館
T-21			義経弓流し図鐔 無銘(水戸派)	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
八艘飛び					
U-60		歌川国芳	「程義経恋源一代鏡 三略伝」 能登守教経から逃れる源義経	嘉永6年(1853)1月	ボストン美術館
T-22			義経八艘飛び図鐔 銘 在川真正	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
壇ノ浦合戦					
U-61		歌川国芳	「長門国赤間の浦に於て源平大合戦平家一門悉く亡びる図」	弘化2～3年(1845～46)頃	ボストン美術館
U-62		歌川国芳	「壇浦戦之図」	弘化元年(1844)頃	ボストン美術館
堀川夜討					
U-63		勝川春亭	「堀川夜合戦」	文化11～文政2年(1814～19)頃	ボストン美術館
大物浦 船弁慶					
U-64		葛飾北為	「摂州大物浦平家怨霊顕る図」	弘化4～嘉永3年(1847～50)頃	ボストン美術館
U-65		歌川国芳	「程義経恋源一代鏡 三略伝」 大物浦	嘉永6年(1853)1月	ボストン美術館
U-66		豊原国周	「文治四年摂州大物浦難風の図」	万延元年(1860)4月	ボストン美術館
基盤忠信					
U-67		歌川国芳	佐藤忠信奮戦	弘化2年(1845)頃	ボストン美術館
U-68		歌川国芳	「佐藤忠信勇戦義時が勢を破る図」	安政2年(1855)9月	ボストン美術館
安宅関					
U-69		歌川芳虎	「加賀国安宅の関にて斎藤武蔵坊弁慶勳進帳を読む図」	弘化4～嘉永3年(1847～50)頃	ボストン美術館
U-70		歌川国芳	「加賀国安宅関弁慶主従危難救図」	安政3年(1856)2月	ボストン美術館
文覚上人					
U-71		歌川国芳	「袈裟御前 遠藤武者盛遠 渡辺渡」	弘化2年(1845)頃	ボストン美術館
U-72		歌川国貞	「本朝高名鑑 文覚上人」	天保10～11年(1839～40)頃	ボストン美術館
T-23			文覚上人荒行図鐔 銘 筑山軒元貞(花押)	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
城四郎長茂					
U-73		歌川国芳	「越後国の住人城四郎長茂平家のさいそくにしたがひ出陣なす折から空中に怪異を見る図」	嘉永2～4年(1849～51)頃	ボストン美術館
静御前					
U-74		三代歌川豊国 (歌川国貞)	源頼朝の前で舞う静御前	嘉永2～5年(1849～52)頃	ボストン美術館
巴御前					
U-75		北尾政美	巴御前	天明7～寛政2年(1787～90)頃	ボストン美術館

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
U-76		勝川春亭	「義仲北国日野川合戦」	文政元～2年(1818～19)頃	ボストン美術館
U-77		歌川国芳	「巴御前」	弘化4年(1847)頃	ボストン美術館
U-78		歌川国芳	俱利伽羅谷合戦	弘化2年(1845)頃	ボストン美術館
U-79		魚屋北溪	「武者松竹梅番続」 巴御前	文政11～12年(1828～29)頃	ボストン美術館
U-80		勝川春亭	「粟津合戦 三枚続」	文化4年(1807)10月	ボストン美術館
U-81		歌川広重	「源平盛衰記 粟津原合戦」	天保14～弘化3年(1843～46)頃	ボストン美術館

鎌倉時代の物語

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
河津・俣野の相撲					
U-82		歌川国貞	「河津三郎祐安 海老名源八弘綱 俣野五郎景久」	天保9～11年(1838～40)頃	ボストン美術館
草摺引					
U-83		歌川豊春	(新板浮絵 和田酒盛草摺引之図)	安永4～10年(1775～81)頃	ボストン美術館
U-84		勝川春亭	「春詠」 草摺引の額	文政2～3年(1819～20)頃	ボストン美術館
富士の巻狩					
U-85		北尾重政	猪をしとめる仁田四郎	宝暦10～14年(1760～64)頃	ボストン美術館
U-86		歌川国貞	「源頼朝公富士之裾野牧狩之図 三枚続」	文化10年(1813)頃	ボストン美術館
T-24			富士裾野巻狩図鐔 銘 寿親(花押)	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
曾我夜討					
U-87		歌川国芳	「建久四年五月廿八日富士之裾野曾我兄弟夜討本望之図」	天保7年(1836)頃	ボストン美術館
U-88		歌川国貞	「曾我五郎時宗 御所五郎丸重宗 十番切」	文政8年(1825)頃	ボストン美術館
北条時政					
U-89		魚屋北溪	江の島の北条時政	天保4年(1833)頃	ボストン美術館
U-90		葵岡溪栖	江の島の弁財天と北条時政	天保4年(1833)頃	ボストン美術館
朝比奈門破り					
U-J3		歌川国芳	「和田合戦 義秀惣門押破」	嘉永5年(1852)6月	個人

「太平記」の武将たち

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
S-J6	◎		太刀 銘 備州長船兼光 延文三年二月日	南北朝時代 延文3年(1358)	ふくやま美術館 (小松安弘コレクション)
赤坂城籠城					
U-91		歌川芳虎	楠正成赤坂城籠城	嘉永2年(1849)	ボストン美術館
楠多門丸					
U-92		歌川国芳	「楠多門丸正行 竹童丸」	天保14～弘化3年(1843～46)頃	ボストン美術館
桜井の別れ					
U-93		勝川春章	楠公父子桜井の別れの図	安永8～9年(1779～80)頃	ボストン美術館
大森彦七					
U-94		歌川国貞	「大森彦七」	文政11～13年(1828～30)頃	ボストン美術館
T-25			大森彦七図鐔 銘 浜野矩隋(印)	江戸時代(18世紀)	ボストン美術館
T-26			大森彦七図鐔 無銘(宗典派)	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
義貞奉剣					
U-95		歌川国芳	「勇魁三十六合戦 四」 新田義貞	嘉永4～5年(1851～52)頃	ボストン美術館
U-96		歌川重宣	新田義貞稲村ヶ崎奉剣	嘉永2～5年(1849～52)頃	ボストン美術館
T-27			新田義貞投剣図鐔 無銘(水戸派)	江戸時代(19世紀)	ボストン美術館
大塔宮					
U-97		歌川国芳	「淵部伊賀守討大塔宮」	天保5～6年(1834～35)頃	ボストン美術館
U-98		歌川国芳	「木曾街道六十九次之内 宮の越 大塔宮」	嘉永5年(1852)5月	ボストン美術館
天竜川浮橋					
U-99		歌川国芳	「太平記天龍川之浮橋図」	天保13年(1842)頃	ボストン美術館

川中島合戦

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
U-100		歌川国芳	「川中島信玄謙信旗本大合戦之図」	弘化2年(1845)頃	ボストン美術館

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
U-101		歌川国芳	「信州川中島大合戦之図」	弘化2年(1845)頃	ボストン美術館
U-102		歌川国芳	「信州川中島武田の正兵西条山を引きかへし雨宮のわたりをこへ越後方甘粕近江守と戦ふ図」	安政2年(1855)9月	ボストン美術館
U-103		二代歌川国綱	「甲越両将川中島大戦全」	安政6年(1859)5月	ボストン美術館
S-J10	○		太刀 銘 長船 長光 文永十一年十月廿五日	鎌倉時代 文永11年(1274)	米沢市上杉博物館
S-J11	◎		太刀 銘 来国長	南北朝時代(14世紀)	恵林寺(信玄公宝物館)

小説のヒーローたち

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
椿説弓張月					
U-104		歌川国芳	「為朝嘗十傑 二」 為朝と狼の子	弘化4～嘉永元年(1847～48)頃	ボストン美術館
U-105		朧楼北鷺	「椿説弓張月 巻中略図 山雄(狼ノ名也) 主のために蟒蛇を喰んで山中に骸を止む」	天保11年(1840)頃	ボストン美術館
U-106		二代歌川国貞	「弓張月振分双六」	安政2年(1855)8月	ボストン美術館
四天王剽盗異録					
U-107		歌川国芳	「鬼童丸」	天保11年(1840)頃	ボストン美術館
U-108		歌川芳艶	「破奇術頼光袴垂為彌」	安政5年(1858)4月	ボストン美術館
絵本二島英雄記					
U-109		歌川国芳	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 宮本無三四」	天保4～6年(1833～35)頃	ボストン美術館
U-110		歌川広重	「英勇五人傑 宮本無三四」	弘化4～嘉永元年(1847～48)頃	ボストン美術館
善知鳥安方忠義伝					
U-111		歌川国芳	「將軍太郎良門味方ノ勢を聚る図」	嘉永2～3年(1849～50)頃	ボストン美術館
U-112		豊原国周	「相馬良門古寺之図」	安政5年(1858)8月	ボストン美術館
U-113		歌川国芳	「伊賀寿太郎 將軍太郎良門 滝夜刃姫」	弘化元年(1844)頃	ボストン美術館
U-114		歌川芳虎	「越中立山の地獄谷に肉芝道人蛙合戦の奇をあらはし良門伊賀寿の両雄に妖術を授く」	元治元年(1864)6月	ボストン美術館
南総里見八犬伝					
U-115		歌川国芳	「里見八犬伝一覽」	嘉永5年(1852)	ボストン美術館
U-116		三代歌川豊国 (歌川国貞)	里見八犬伝 「犬田小文吾」	弘化2～3年(1845～46)頃	ボストン美術館
U-117		三代歌川豊国 (歌川国貞)	里見八犬伝 「犬阪毛野胤智」	弘化2～3年(1845～46)頃	ボストン美術館
U-118		歌川芳虎	犬飼現八庚申山中で化け猫を射る	嘉永2～3年(1849～50)頃	ボストン美術館

ボストン美術館の名刀

No.	指定	絵師名	作品タイトル	年代	所蔵
S-2			刀 無銘 伝来国光	鎌倉時代(14世紀)	ボストン美術館
S-3			短刀 無銘 伝千手院	鎌倉時代(13世紀)	ボストン美術館
S-4			短刀 銘 大和尻懸則長四十八作之 文保三年己未三月十日	鎌倉時代 文保3年(1319)	ボストン美術館
S-5			太刀 銘 重久	鎌倉時代(13世紀)	ボストン美術館
S-6			刀 無銘 伝福岡一文字	鎌倉時代(13世紀)	ボストン美術館
S-7			太刀 銘 長則造	鎌倉時代(14世紀)	ボストン美術館
S-8			短刀 銘 備前国福岡左兵衛尉長則 正安二年八月日	鎌倉時代 正安2年(1300)	ボストン美術館
S-10			刀 金象嵌銘 長光 本阿(花押)	鎌倉時代(13世紀)	ボストン美術館
S-11-1			太刀 銘 備州長船住兼光	鎌倉時代(14世紀)	ボストン美術館
S-11-2			金梨子地家紋散糸巻太刀拵	江戸時代(17世紀)	ボストン美術館
S-12			脇指 銘 来国宗	南北朝時代(14世紀)	ボストン美術館
S-13			太刀 銘 一備州長船住助重作 康永貳年十一月十二日	南北朝時代 康永2年(1343)	ボストン美術館
S-14			刀 無銘 伝長義	南北朝時代(14世紀)	ボストン美術館
S-15-1			太刀 銘 三条吉則作	室町時代(15世紀)	ボストン美術館
S-15-2		加納夏雄	蠟色塗鞘打刀拵／牡丹図鐔／牡丹図揃金具	江戸時代～明治時代(19世紀)	ボストン美術館
S-16			太刀 銘 備州長船盛重	南北朝時代～室町時代(14～15世紀)	ボストン美術館
S-17			刀 銘 洛陽住信濃守国広 慶長十五年八月日	江戸時代 慶長15年(1610)	ボストン美術館
S-18			脇指 銘 井上真改 (菊紋)延宝三年八月日	江戸時代 延宝3年(1675)	ボストン美術館
S-19			刀 銘 長曾祿興正	江戸時代(17世紀)	ボストン美術館
S-20			刀 銘 水心子正秀(花押) 寛政三年八月日	江戸時代 寛政3年(1791)	ボストン美術館

2-3 出版120周年
ピーターラビット™展

会期：9月15日(木)～11月6日(日)

概要：今なお世界中で愛されるいたずら好きなウサギ、ピーターラビット™。1902年にフレデリック・ウォーン社から刊行されたシリーズ第1作『ピーターラビットのおはなし』は、2022年に出版120周年を迎えた。本展は、そのメモリアルイヤーを祝う盛大なバースディパーティをテーマに、ピーターラビットの誕生日前夜から今日に至るまでの歩みを、貴重な原画や書籍、関連アイテムなど約170点で振り返った。なかでも物語の原点となった作者のビアトリクス・ポター™(1866-1943)の直筆の絵手紙や、『ピーターラビットのおはなし』の彩色画が、作家が当初構想した通りに公開されるのは日本初の機会となった。
なお、当初は45日間の開館予定であったが、9月24日(土)は台風による臨時休館のため44日間となった。

巡回先：世田谷美術館、あべのハルカス美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡朝日テレビ

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

企画協力：朝日新聞社、東映

協力：日本航空、ソニー・クリエイティブプロダクツ

監修：河野芳英(大東文化大学教授)

観覧料：一般 1,400円(1,200円)
大高生・70歳以上 1,000円(800円)
※()内は前売および20名以上の団体料金
※中学生以下無料
※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

観覧者数：24,780人(有料16,092人、無料8,688人、有料率64.94%)

出品点数：168点(参考出品1点を含む)

制作物：

1)チラシ

<仕様>紙：b7トラネクスト 99kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折り(仕上A4) 60,000部

2)ポスター

<仕様>紙：b7トラネクスト 99kg

サイズ・数量：B1 60部、B2 2,050部、B3 2,750部(うち400部はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ裏面



チラシ中面



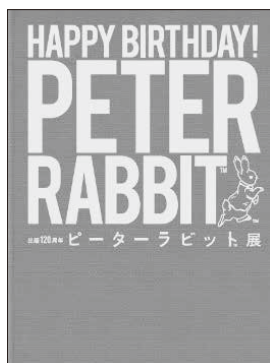
B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>152×204mm、276頁



カタログ表紙

カラー図版188点

参考図版(カラー36点、モノクロ20点)

河野芳英「ビアトリクス・ポターの人生」

サラ・グレン、スーザン・ボルソヴァー「フレデリック・ウォー
ン社とピーターラビット 120年の歩み」

河野芳英「原語で読む『ピーターラビットのおはなし』」

河野芳英「日本におけるピーターラビットの受容 松川二郎の「悪
戯な小兎」と海南の「ピーターラビット」」

林明子「ピーターラビットとビアトリクスに教えてもらったこと」
はしもとみお「“生命感”が伝わってくる絵の魅力」
平澤まりこ「作者の視点で、小さな世界をのぞいているような楽
しさ」

リズ・ハンター・マクファーレン「ピーターラビットの湖水地方」
遠藤望「日本うさぎ考」

関連年譜／主要関連文献／出品目録／所蔵館紹介

監修：河野芳英(大東文化大学 英米文学科教授)

執筆：河野芳英、リズ・ハンター・マクファーレン(ビアトリク
ス・ポター協会会長)、遠藤望(世田谷美術館学芸員)、樋口菜呂
奈(世田谷美術館学芸員)、小林和子

翻訳：ベンジャー桂、樋口菜呂奈、伊藤鮎

編集：世田谷美術館、朝日新聞社、東映

発行：朝日新聞社、東映

発行年：2022年

普及ツール：

1)音声ガイド

2)本展オリジナルミニDMの作成・配布

ハガキサイズのミニDMを制作し、市内店舗等へ配布した。

制作物：

◆ミニDM

<仕様>紙：ハイアピスNEOウルトラホワイト 215kg

サイズ・数量：110×150mm 20,000部



ミニDM表面



ミニDM裏面

3)本展オリジナル学校向けミニDMの作成・配布

ハガキサイズのミニDMを制作し、市内幼・保・こども園全児童
へ配布した。

制作物：

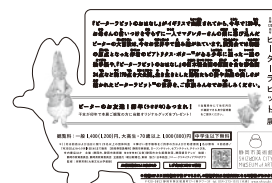
◆ミニDM

<仕様>紙：ハイアピスNEOウルトラホワイト 215kg

サイズ・加工・数量：110×150mm 型抜 45,000部



ミニDM表面



ミニDM裏面

4)本展オリジナルグッズプレゼントの実施

干支が卯年で本展ご観覧の方に、当館オリジナルグッズをプレゼ
ントした。

利用者数：1,029人

5)SNS投稿プレゼントの実施

静岡市内各所に設置した特設パネルの写真と「#ピーターラビ
ット展静岡」のハッシュタグをつけてSNSに投稿した方、先着120名
様に、当館オリジナルグッズをプレゼントした。

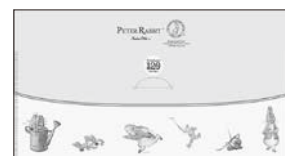
パネル設置場所：静岡市立中央図書館、日本平動物園、中島屋グ
ランドホテル、松坂屋静岡店、静岡科学館る・く・る

6)10月2日「2つのバースデー！」プレゼントの実施

『ピーターラビットのおはなし』の初版刊行日であり、当館のグラ
ンドオープン記念日でもある10月2日(日)に本展ご観覧の方先着
100名様に当館オリジナルグッズをプレゼントした。



チケットファイル表面



チケットファイル裏面

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

2)松坂屋静岡店との相互特典の実施

松坂屋静岡店にて開催の「出版120周年 ピーターラビット™ パースデーパーク」のレシートを提示すると、期間中先着120名様に、当館オリジナルグッズをプレゼント、松坂屋静岡店で当館の半券を提示し2,000円以上買い物をすると、9/23、24、25、10/1、2、8、9、10の8日間、各日先着15名様に野菜をプレゼントする相互特典を実施した。

利用者数：144件

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『いろどりナビ』、8月29日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『いろどりナビ』、9月13日放送。
- ・「静岡市美術館にていよいよきょう開幕!静岡朝日テレビ『とびっきり!しずおか』、9月15日放送。
- ・「世界中で愛されるウサギ きょうからピーターラビット展」静岡朝日テレビ『ANN 県内ニュース』、9月15日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『chalchalサタデー 静岡ドライブインフォメーション』、9月24日放送。
- ・「ピーターラビット展ただ今開催中」静岡朝日テレビ『とびっきり!しずおか 土曜版』、10月1日放送。
- ・「ピーターラビット展 1万人」静岡朝日テレビ『ANN 県内ニュース』、10月9日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ静岡情報館』、10月20日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『とびっきり!しずおか』、10月21日放送。
- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『いろどりナビ』、10月23日放送。

2)新聞

- ・宮崎正嗣「絵本展を“最初の一歩”に 公立美術館で相次ぎ企画」『中日新聞』静岡版、7月22日。
- ・「いたずらウサギ120周年」『読売新聞』静岡版、9月19日。
- ・皆川真仁「ピーターラビットの世界観を楽しんで」『毎日新聞』静岡版、9月24日。

岡版、9月24日。

- ・鈴木弘人「富士市出身の親子 観覧者1万人目」『中日新聞』静岡版、10月12日。
- ・「ピーターラビット展 静岡で」『朝日新聞』、10月26日。

3)雑誌他

- ・「展覧会紹介」『美術の窓』、2021年12月号。
- ・「展覧会紹介」『芸術新潮』、12月号。
- ・「愛すべきピーターラビット™のすべて」『美術展完全ガイド2022』。
- ・「ピーターの120回目の誕生日を祝う記念展」『美術展びあ2022(ぴあMOOK)』。
- ・「『ピーターラビットのおはなし』が世界中を虜にするわけ」『ハルメク』、3月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊MOE』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、6・7月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、8・9月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊なごや』、第478号。
- ・「展覧会紹介」『めばえ』、9月号。
- ・「展覧会紹介」『うさぎと暮らす』、2022年Autumn No.85。
- ・「展覧会紹介」『にんぎょう日本』、9月号。
- ・「展覧会紹介」『HOT PEPPER』、9月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、9月号。
- ・「展覧会紹介」『freak』、vol.144 通巻第206号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、10・11月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、10月号。
- ・「展覧会紹介」『PHOTOSAI』、Vol.38。
- ・「いたずら好きのピーターラビット™のかわいい魅力が満載」『ARE YOU HAPPY?』、11月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、12・1月号。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「Kita-Colle ART」、「Fashion Press」、「アートアジェンダ」、「日英協会Facebook」、「kodomo」、「PARIS mag」、「静岡信用金庫LINE配信」、「Living静岡web」、「アットエス」、「The Beatrix Potter Society」、「ぴあポイント」



10月9日 来場者1万人達成

関連事業：

1) 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業/静岡室内楽フェスティバル2022
ミュージアム・コンサート「朗読とリコーダー四重奏で聴くピーターラビット™」

概要：静岡音楽館AOIとの連携によりリコーダーアンサンブルによるコンサートを実施。定員60名のチケットは完売、当日は56名の参加があった。ピーターラビットの故郷イギリスの音楽のほか、『ピーターラビットのおはなし』の朗読にあわせ川村菜穂子氏作曲の楽曲を披露した。展覧会と連動したプログラムは参加者からも好評で、各館の専門性を生かした事業を行うことができた。

日時：9月18日(日)13:30開場 14:00開演

会場：多目的室 参加料：1,500円 参加者数：56人

出演：プリエ・リコーダー・アンサンブル[長瀬正典、桐畑奈央、柿本春香、徳永隆二]、川村菜穂子(朗読・作曲)

曲目：リコーダー演奏と朗読(朗読/作曲 川村菜穂子)

『ピーターラビットのおはなし』(川上未映子訳、早川書房、2022年)ほか

主要広報記録：

◆新聞

・「リコーダーで物語の世界へ」『静岡新聞』、9月19日。



2) 講演会「『ピーターラビット™』の世界へ」

概要：本展監修者で大東文化大学教授の河野芳英氏を招き、『ピーターラビットのおはなし』が誕生するまでの経緯や作者のピアトリクス・ポターの人生についてお話し頂いた。展覧会の見どころだけでなく、ピーターラビットをめぐる様々な受容や展開についても知ることができた。講師の軽妙な語り口と豊富な画像や映像資料により親しみやすい内容で、参加者からも好評を得た。

日時：9月25日(日)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：56人

講師：河野芳英氏(大東文化大学教授・本展監修者)



3) 当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：①10月10日(月・祝) ②10月29日(土)

いずれも14:00-

会場：多目的室 参加者数：計106人

参加料：無料



出品作品リスト

・作品名については、監修上の判断により適宜情報を補ったものがある。

第1章 ピーターラビット誕生以前

作品番号	作品名	作者	制作年 (発行/制作/製造年)	技法・材質	出版社/制作会社	所蔵
1	M.C.グリムストーン夫人宛て書簡	ビアトリクス・ポター	1938年2月12日付			フィラデルフィア公共図書館
2	ウサギの頭部習作	ビアトリクス・ポター	1890年	鉛筆/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
3	ウサギの頭部習作	ビアトリクス・ポター	1890年頃	鉛筆/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
4	横たわるウサギの習作	ビアトリクス・ポター	1890年頃	鉛筆/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
5	庭の野ウサギ	ビアトリクス・ポター	1892年	鉛筆、水彩、 ガッシュ/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
6	雪の中、傘をさして歩く2匹のウサギの下絵	ビアトリクス・ポター	1890年	鉛筆/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
7	雪の中、傘をさして歩く2匹のウサギ	ビアトリクス・ポター	1890年	水彩/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
8	グリーティングカード	ビアトリクス・ポター	1890年	クロモリトグラフ/ 紙	ヒルデスハイマー&フォークナー社	ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
9	詩集絵本『幸福な二人づれ』	フレデリック・ウェザリー(詩)/ ビアトリクス・ポター(画)	1890年	冊子	ヒルデスハイマー&フォークナー社	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
10	街角ですれ違う2匹のウサギの下絵	ビアトリクス・ポター	1890年	鉛筆、ペン、インク /紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
11	街角ですれ違う2匹のウサギ	ビアトリクス・ポター	1890年	ペン、インク、水彩、 メタリックカラー/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
12	グリーティングカード	ビアトリクス・ポター	1890年	クロモリトグラフ/紙	ヒルデスハイマー&フォークナー社	ビアトリクス・ポター協会
13	箱の中で眠るウサギのスケッチ	ビアトリクス・ポター	1895年頃	グラフィイト/紙		フィラデルフィア公共図書館
14	眠るウサギのスケッチ	ビアトリクス・ポター	制作年不詳	グラフィイト/紙		フィラデルフィア公共図書館
15	薪の束を背負い雪の中を歩くウサギ	ビアトリクス・ポター	1892年	鉛筆、インク、水彩 /紙		ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
16	雪の中でそり遊びをするウサギたち	ビアトリクス・ポター	1894年	グラフィイト、水彩 /紙		フィラデルフィア公共図書館
17	自転車を楽しむ4匹のウサギ	ビアトリクス・ポター	1895年	鉛筆、ペン、インク、 水彩/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
18	白ウサギ『不思議の国のアリス』より a: 手袋をはめる白ウサギ/ b: 走り去る白ウサギ	ビアトリクス・ポター	1892年	鉛筆、ペン、インク、 水彩/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
19	きつねどんとうさぎどん 『リマズじいやの物語』より	ビアトリクス・ポター	1893年	鉛筆、ペン、インク /紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
20	扉の前の馬車『シンデレラ』より	ビアトリクス・ポター	1894年	セピアペン、インク、 水彩/紙		ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
21	ピーターが見ている夢	ビアトリクス・ポター	1895年	鉛筆、ペン、インク /紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
22	横たわるウサギの習作	ビアトリクス・ポター	1899年	鉛筆/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
23	暖炉のそばで横たわるピーター	ビアトリクス・ポター	1899年	鉛筆、水彩/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
24	幼いウサギの写生	ビアトリクス・ポター	1903年	グラフィイト/紙		フィラデルフィア公共図書館
25	ウサギとネコのスケッチ	ビアトリクス・ポター	1903年頃	グラフィイト、水彩 /紙		フィラデルフィア公共図書館

第2章 ピーターラビットのおはなし

作品番号	作品名	作者	制作年 (発行/制作/製造年)	技法・材質	出版社/制作会社	所蔵
26	ノエル・ムーア宛ての絵手紙 a: 第1葉/b: 第2葉	ビアトリクス・ポター	1893年9月4日付	インク/紙		ピアソン PLC
27	『ピーターラビットのおはなし』 口絵およびウサギ頭部のデッサン	ビアトリクス・ポター	1901年頃	鉛筆/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
28	『ピーターラビットのおはなし』 モミの木のデッサン	ビアトリクス・ポター	1899年頃	鉛筆/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
29	『ピーターラビットのおはなし』 買い物に行くお母さんウサギのデッサン	ビアトリクス・ポター	1902年頃	鉛筆/紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
30	『ピーターラビットのおはなし』 モミの木の家に戻るピーターのデッサン	ビアトリクス・ポター	1901年頃	鉛筆、セピアインク /紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)

作品番号	作品名	作者	制作年 (発行/制作/製造年)	技法・材質	出版社/制作会社	所蔵
31	「ピーターラビットのおはなし」 タイトルページのデッサン a:2匹/b:3匹	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク ／紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
32	私家版「ピーターラビットのおはなし」 初刷	ピアトリクス・ポター	1901年	書籍	ストレンジウェイズ&サンズ社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
33	私家版「ピーターラビットのおはなし」 2刷	ピアトリクス・ポター	1902年	書籍	ストレンジウェイズ&サンズ社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
34	私家版「ピーターラビットのおはなし」 ファクシミリ版	ピアトリクス・ポター	1993年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
35	ピアトリクス・ポター宛て書簡(複製)	フレデリック・ウォーン社	1901年12月16日付			ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
36	「ピーターラビットのおはなし」 商業版のための草稿本	ピアトリクス・ポター	1901-1902年	手書き草稿本、 挿絵貼り込み		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
37	フレデリック・ウォーン社宛て書簡	ピアトリクス・ポター	1901年12月18日付			ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
38	フレデリック・ウォーン社宛て書簡	ピアトリクス・ポター	1902年1月19日付			ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
39	フレデリック・ウォーン社宛て書簡	ピアトリクス・ポター	1902年4月25日付			ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
40	ノーマン・ウォーン宛て書簡	ピアトリクス・ポター	1902年5月2日付			ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
41	「ピーターラビットのおはなし」 初版(濃茶色厚紙装丁版)	ピアトリクス・ポター	1902年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
42	「ピーターラビットのおはなし」 初版(黄色布装丁デラックス版)	ピアトリクス・ポター	1902年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
43	「ピーターラビットのおはなし」 表紙原画(別図)	ピアトリクス・ポター	1904年	鉛筆、インク、水彩 ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
44	「ピーターラビットのおはなし」 口絵原画	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
45	むかし、あるところに4匹の小ウサギがいました。[...]〈「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画〉	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩、ガッシュ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
46	[...]お母さんウサギは言いました。「[...]」マフレガーさんの畑には入ってはいけませんよ」〈「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画〉	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩、ガッシュ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
47	「あなたたちのお父さんは、そこで事故にあって、[...]」肉のバイにされてしまったの」〈「ピーターラビットのおはなし」挿絵再制作〉	フレデリック・ウォーン社(再制作)	2010年(再制作)	鉛筆、ペン、インク、 水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
48	「さあ、行っておいで。いたずらするんじゃないよ。[...]」〈「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画〉	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩、ガッシュ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
49	お母さんは[...]「バン」屋へ出かけました。[...]」〈「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画〉	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩、ガッシュ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
50	フロブシーとモブシーとカントレルは[...]「ブラックベリーを摘みました。」「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画〉	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
51	けれども、ピーターは[...]「マフレガーさんの畑にまっしぐら。」「ピーターラビットのおはなし」表紙および挿絵原画〉	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
52	無理やり木戸の下からもぐり込みました。」「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画〉	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩、ガッシュ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
53	[...]「ピーターは[...]」ラディッシュをいくつか食べました。」「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画〉	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
54	[...]「おなかが痛くなってきたので、バセリを探しに行きました。」「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画〉	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
55	けれども[...]「出くわしたのはマフレガーさんでした!」「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画〉	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
56	[...]「[まで泥棒!][...]」〈「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画〉	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
57	ピーターは[...]「片方の靴はキャベツ畑の中に落ちてしまい、」〈「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画〉	ピアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、 水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社

作品番号	作品名	作者	制作年 (発行/制作/製造年)	技法・材質	出版社/制作会社	所蔵
58	もう片方の靴は、ジャガイモ畑の中に落ちてしまいました。〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
59	「…」運悪く、「…」網に飛び込んで、ジャケットのボタンが引っかかってしまいました。「…」〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
60	ピーターは「…」大粒の涙をこぼしました。「…」〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
61	そこへマクレガーさんがふるいを持ってやってきて、「…」間一髪、ピーターは「…」逃げることができました。〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
62	「…」物置小屋にかけ込み、ジョウロの中に飛び込みました。「…」〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
63	マクレガーさんは「…」植木鉢をひとつずつ、ひっくり返しました。するとピーターが「…」くしゃみをしました。「…」〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩、ガッシュ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
64	「…」ピーターは植木鉢を3つひっくり返して、窓から逃げ出しました。「…」〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩、ガッシュ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
65	ピーターは座り込んで、休みました。息は切れて、こわくてぶるぶる震えていました。「…」〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
66	「…」石塙のところにドアがあることに気づきました。しかし鍵がかかっていました。「…」〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵再制作〉	フレデリック・ウォーン社(再制作)	2010年(再制作)	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
67	「…」ピーターは泣き出しました。〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
68	「…」ピーターは「…」池に出ました。白いネコが金魚をねらって、座っていました。「…」〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
69	「…」突然、「…」クワの音が聞こえてきたので、急いで小さな木の下に逃げ込みました。〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
70	「…」ピーターは「…」手押し車の上に乗る、あたりを見渡しました。「…」向こうに木戸がありました! 〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
71	ピーターは「…」木戸に向かってかけ出しました。「…」木戸の下をくぐり抜け、畑の外の森へ逃げ出しました。〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩、ガッシュ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
72	マクレガーさんは「…」 ^{カカシ} 案山子に、ピーターの小さなジャケットを着せ、靴をはかせました。〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩、ガッシュ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
73	ピーターは「…」大きなモミの木の下の家まで帰りました。〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵再制作〉	フレデリック・ウォーン社(再制作)	2010年(再制作)	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
74	ピーターはとても疲れてしまったので「…」横になると、目をつぶりました。「…」〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
75	かわいそうに、ピーターはその晩、ずっと具合が良くありませんでした。「…」〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩、ガッシュ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
76	けれども、フロプシーとモプシーとカントンネルは「…」ブラックベリーを晩ご飯にいただきました。〈『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画〉	ビアトリクス・ポター	1902年	鉛筆、ペン、インク、水彩／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社

第3章 ピーターラビットと仲間たち

作品番号	作品名	作者	制作年 (発行/制作/製造年)	技法・材質	出版社/制作会社	所蔵
77	『ベンジャミン・バニーのおはなし』草稿	ビアトリクス・ポター	1904年頃	手書き草稿/ノート、鉛筆素描貼り込み		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
78	『ベンジャミン・バニーのおはなし』初版(デラックス版)	ビアトリクス・ポター	1904年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社

作品番号	作品名	作者	制作年 (発行/制作/製造年)	技法・材質	出版社/制作会社	所蔵
79	『はりねずみティギーのおはなし』 草稿	ビアトリクス・ポター	1905年	手書き草稿ノート、 鉛筆素描貼り込み		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
80	『はりねずみティギーのおはなし』 初版	ビアトリクス・ポター	1905年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
81	『フロブシーのこどもたち』 草稿	ビアトリクス・ポター	1909年頃	手書き草稿ノート、 鉛筆素描貼り込み		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
82	『フロブシーのこどもたち』 初版	ビアトリクス・ポター	1909年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
83	『ジンジャーとピクルスのおはなし』 初版	ビアトリクス・ポター	1909年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
84	『きつねのトッドのおはなし』 スケッチ	ビアトリクス・ポター	1912年	鉛筆、セピアインク、 水彩／紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
85	『きつねのトッドのおはなし』 初版	ビアトリクス・ポター	1912年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
86	『きつねのトッドのおはなし』 見返し	ビアトリクス・ポター	1912年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
87	『ピーターラビットの塗り絵帖』 表紙のデザイン	ビアトリクス・ポター	1911年頃	インク、水彩、白色 絵具による修正 ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
88	『ピーターラビットの塗り絵帖』 ばら売り版のためのラフデザイン	ビアトリクス・ポター	1911年頃	鉛筆／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
89	『ピーターラビットの塗り絵帖』 表紙のラフデザイン	ビアトリクス・ポター／ W.J.ストーカー (彩色)	1911年頃	水彩、ガッシュ／ 紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
90	『ピーターラビットの塗り絵帖』 タイトルページのラフデザイン	ビアトリクス・ポター	1911年頃	鉛筆／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
91	『ピーターラビットの塗り絵帖』 口絵ラフデザイン	ビアトリクス・ポター	1911年頃	鉛筆、インク／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
92	『ピーターラビットの塗り絵帖』 習作	ビアトリクス・ポター	1911年	鉛筆、インク／紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
93	『ピーターラビットの塗り絵帖』 習作	ビアトリクス・ポター	1911年	鉛筆、インク／紙		ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館 (リンダー・コレクションからの寄贈)
94	『ピーターラビットの塗り絵帖』 初版	ビアトリクス・ポター	1911年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
95	『ピーターラビットの暦：1929』初版	ビアトリクス・ポター	1928年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
96	『ビエール・ラバン』 フランス語版初版	ビアトリクス・ポター／ ヴィクトリーヌ・パロン (訳)	1921年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
97	『ピーターラビットのおはなし』 ドイツ語版の試訳メモ	ビアトリクス・ポター	制作年不詳	自筆資料		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
98	『ペーターヒェン・ハーゼのおはなし』 ドイツ語ゴシック体版初版	ビアトリクス・ポター	1934年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
99	『プウタン・ア・グニンゲン』 おはなし』ウェールズ語版	ビアトリクス・ポター	1944年 (初版1932年)	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
100	『ヘトロー・クニコローのおはなし』 ラテン語版	ビアトリクス・ポター	1974年 (初版1962年)	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社

第4章 広がるピーターラビットの世界

作品番号	作品名	作者	制作年 (発行/制作/製造年)	技法・材質	出版社/制作会社	所蔵
101	ピーターラビットのぬいぐるみ特許証		1903年12月28日 登録	証書		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
102	フレデリック・ウォーン宛て書簡	ビアトリクス・ポター	1904年4月29日付			ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
103	ピーターラビットのぬいぐるみ		1905年		シュタイフ社	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
104	ピーターラビット・ゲームのデザイン案	ビアトリクス・ポター	1904年	ペン、インク、水彩 ／紙		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
105	ピーターラビット・ゲームの自筆ルール集	ビアトリクス・ポター	1904年	自筆資料		ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
106	ノーマン・ウォーン宛て書簡	ビアトリクス・ポター	1904年12月7日付			ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社

作品番号	作品名	作者	制作年 (発行/制作/製造年)	技法・材質	出版社/制作会社	所蔵
107	ピーターラビットの追いかっこゲーム a: ボード/b~e: 駒(b: ピーターラビット駒、c: 赤りすナトキン駒、d: かえるのジェレミー駒、e: あひるのジマイマ駒)		1919年頃		フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
108	「ピーターラビットのおはなし」 ステンシル・プレート用デザイン	ビアトリクス・ポター	1919年	鉛筆、インク/紙		ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
109	「ピーターラビットのおはなし」 ステンシル・プレート用デザイン	ビアトリクス・ポター	1919年	鉛筆、インク/紙		ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
110	「ベンジャミン・バニーのおはなし」 ステンシル・プレート用デザイン	ビアトリクス・ポター	1919年	鉛筆、水彩/紙		ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
111	フレデリック・ウォーン社宛て書簡	ティリヤー社	1919年8月26日付			ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
112	ICAAグリーティングカード用原画: カリフラワーを持つピーターラビット(不採用)	ビアトリクス・ポター	1925年	インク、水彩/紙		ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
113	ICAAグリーティングカード用原画: ベッドの中のピーターラビット	ビアトリクス・ポター	1927年	鉛筆、インク、水彩、 白色絵具による修正/ 紙		ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
114	ICAAグリーティングカード用原画: クリスマスツリー	ビアトリクス・ポター	1932年	鉛筆、インク、白色 絵具による修正/ 紙		ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
115	ICAAグリーティングカード用原画: ピーターラビットとあひるのジマイマ	ビアトリクス・ポター	1934年	鉛筆、インク、白色 絵具による修正/ 紙		ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
116	ICAAグリーティングカード用原画: プレゼントとウサギ	ビアトリクス・ポター	1938年	鉛筆、水彩/紙		ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
117	ICAAグリーティングカード	ビアトリクス・ポター	発行年不詳	印刷/厚紙	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
118	ディナー用席札 a[これは私のかしら?]/ b[遅刻でないといふけれど?]/c[また来たよ!] /d[僕の席はあるかな?]/e[お名前は?]	ビアトリクス・ポター	制作年不詳	鉛筆、ペン、インク、 水彩/紙		ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
119	ピーターラビットの可動式木製玩具原型		1911年		ソルジャーズ&セイラーズ: ディザ ブル協会	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
120	ピーターラビットの壁掛けカレンダー		1919年		フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
121	ピーターラビットのルームシューズ a: ルームシューズ/b: 箱		1919年		ジョイ・フットウェア社	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
122	ピーターラビットの湯たんぽ		1920年頃		ロッカバイ社	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
123	ピーターラビットのラバー人形		1923年		コーリー・ラバー社	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
124	ピーターラビットの木製ジグソーパズル		1931年		フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
125	絵付けタイル: ラディッシュを食べるピーターラビット	ポリー・ブレイス、キャサリン・ ビルズベリー (タイル装飾)	1930年頃		ダンスモア・タイルズ	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
126	絵付けタイル: 迷子になったピーターラビット	ポリー・ブレイス、キャサリン・ ビルズベリー (タイル装飾)	1930年頃		ダンスモア・タイルズ	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
127	ピーターラビットのナーサリーウェア (クイーンズウェア・コレクション): プレート		1947-1955年		ウェッジウッド社	
128	ピーターラビットのチルドレンズウェア: ジャグ		1974-1988年		ウェッジウッド社	
129	パースディプレート 1991年		1990年		ウェッジウッド社	個人蔵
130	ピーターラビット生誕100周年記念: マグカップ、プレート a: マグカップ/b: プレート		1993年		ウェッジウッド社	個人蔵
131	ピーターラビットの食器セット: マグカップ、ボウル、プレート a: マグカップ/b: ボウル/c: プレート		2013年		エマ・ブリッジウォーター社	
132	ピーターラビットのクラシック・シリーズ: カップ&ソーサー a: カップ/b: ソーサー		2015年		ストウ・グリーン社	
133	ピーターラビットのコンテンポラリーシリーズ: カップ&ソーサー a: カップ/b: ソーサー		2015年		ストウ・グリーン社	

作品番号	作品名	作者	制作年 (発行/制作/製造年)	技法・材質	出版社/制作会社	所蔵
134	ビーターラビットの竹製食器セット： コップ、ボウル、プレート、カトラリー a: コップ/ b: ボウル/ c: プレート/ d: スプーン/ e: フォーク		2016年		エネスコ	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
135	ビーターラビットのチェスセット a: ボード/ b~g: 駒 (bキング: ビーターラビット、 cクイーン: あひるのジマイマ、dビショップ: きつねのトッド、eナイト: 赤いすなトキン、 fルーク: こねこのトム、gポーン: 小ウサギ)		2008年		スタジオ・アン・カールトン	個人蔵
136	ビーターラビットひな人形 a: ビーターラビット/ b: カンテール		2011年		吉徳大光	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
137	マイ・ファースト・ビーターラビット・シリーズのぬいぐるみ		2014年		レインボー・デザインズ	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
138	ビーターラビットのぬいぐるみ		2017年		グンド	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
139	『ビーターラビットの歌』 初版	ダドリー・グラス(作曲)/ ビアトリクス・ポター (画)	1951年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
140	『ビーターラビットの料理絵本』	アーノルド・ドブリン(文)/ ビアトリクス・ポター (画)	1977年	書籍	フレデリック・ウォーン社	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
141	『ビーターラビット もうひとつのおはなし』	エマ・トンプソン(文)/ エレノア・テイラー (画)	2012年	書籍	フレデリック・ウォーン社	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館
142	『ブーツをはいたキティのおはなし』	ビアトリクス・ポター (文)/ クエンティン・ブレイク(画)	2016年	書籍	フレデリック・ウォーン社	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館
143	『赤ずきん』	ビアトリクス・ポター (文)/ ヘレン・オクセンバリー (画)	2019年	書籍	フレデリック・ウォーン社	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館
144	『ビーターラビットのおはなし』 出版100周年記念版	ビアトリクス・ポター	2002年	書籍	フレデリック・ウォーン社	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館
145	『ビーターラビットのおはなし』 出版100周年記念パービー人形		2002年		マテル・インターナショナル社	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
146	『ビーターラビットのおはなし』 出版100周年限定記念ドール: ビーターラビット	R.ジョン・ライト	2002年		R.ジョン・ライト・ドールズ	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館
147	フロプシー・モプシー・カンテール a: フロプシー/ b: モプシー/ c: カンテール	R.ジョン・ライト	2003年		R.ジョン・ライト・ドールズ	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館
148	『ビーターラビットのおはなし』 ミレニアム記念版	ビアトリクス・ポター	1999年	書籍	フレデリック・ウォーン社	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館
149	『ビーターラビットのおはなし』 ウィリアム・シェイクスピア生誕450周年記念版	ビアトリクス・ポター	2014年	書籍	フレデリック・ウォーン社	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館
150	『ビーターラビットのおはなし』 ペンギン・ブックス社創立80周年記念版	ビアトリクス・ポター	2015年	書籍	フレデリック・ウォーン社	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館
151	『ビーターラビットのおはなし』 デザイナー・エディション表紙および裏表紙 紙デザイン、ワッペン a: 表紙デザイン/ b: 裏表紙デザイン/ c: ワッペン	キャッツ・ブラザーズ	2016年			ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
152	『ビーターラビットのおはなし』 デザイナー・エディション	ビアトリクス・ポター(文・画)/ キャッツ・ブラザーズ(表紙画)	2016年	書籍	フレデリック・ウォーン社	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館
153	ビアトリクス・ポター生誕150周年記念 50ペンス色付きビーターラビットの銀貨		2016年		英国王立造幣局	
154	ビアトリクス・ポター生誕150周年記念 50ペンス色付きビーターラビットの銀貨		2017年		英国王立造幣局	
155	50ペンス硬貨付きビーターラビットの ブロンズ・フィギュア		2019年		ダンバリー・ミント社	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
156	ガールガイド 記念ワッペン		2016年		ガールガイド(イギリス本部)	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
157	ガールガイド 記念ワッペン		2016年		ガールガイド (北西イングランド支部)	ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
158	ビーターラビット ミニチュア像	マーカス・クロッカー	2016年			ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
159	映画『ビアトリクス・ポターのおはなし』より ビーターラビット衣装 a: 頭部/ b: 胴部	クリスティーン・エドワード (衣装デザイン)	1971年			ロイヤル・オペラ・ハウス
160	『日本農業雑誌』 第2巻第3号	松川二郎(文)/挿絵画家不詳	1906年11月	雑誌	日就社(現 読売新聞社)	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館
161	児童雑誌『幼年の友』 第7巻第2号	海南(文)/挿絵画家不詳	1915年2月	雑誌	実業之日本社	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館

作品番号	作品名	作者	制作年 (発行/制作/製造年)	技法・材質	出版社/制作会社	所蔵
162	紙芝居『ピーター兔』	濱田廣介(監修)／高橋五山(文) ／蛭田三郎(画)	1938年		全甲社紙芝居刊行會	大東文化大学ピアトリス・ポター資料館
163	エンゼルブック『ピーターうさぎ』 a:書籍／b:レコード	ポッター／堀尾青史(文)／ 黒柳徹子(朗読)	a:1956年、 b:1958年	書籍、レコード	エンゼル社	大東文化大学ピアトリス・ポター資料館
164	『ピーターラビットのおはなし』 手製ダミー本	石井桃子	1970—1971年頃	手製ダミー本、 挿絵貼り込み		東京子ども図書館
165	『ピーターラビット』シリーズ 翻訳のためのノート	石井桃子	1970—1973年頃	自筆資料		東京子ども図書館
166	『ピーターラビットのおはなし』 日本語版初版	ピアトリス・ポター／ 石井桃子(訳)	1971年	書籍	福音館書店	大東文化大学ピアトリス・ポター資料館
167	子どもたち宛て絵葉書	石井桃子	1972年6月8日付	葉書		東京子ども図書館
参考 出品	英国ロイヤル・バレエ団 映画『ピアトリス・ポターのおはなし』 ポスター		1971年		EMIフィルム	ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社

2-4 杉浦非水 時代をひらくデザイン

会期：11月19日(土) - 1月29日(日)

概要：愛媛県松山市出身の杉浦非水(すぎうら ひすい、1876-1965)は日本におけるモダンデザインの先駆者である。東京美術学校日本画科に学び、洋画家・黒田清輝がフランスから持ち帰ったアールヌーヴォーの図案に出会い、その道を志した。明治41年(1908)に三越呉服店に職を得ると、27年間にわたり同店のポスターやPR誌表紙などのデザインを一手に担うかたわら、三越以外にも広告やパッケージのデザイン、多くの本の装丁等を手がけ活躍した。明快で洗練されたそのデザインは今日もなお私たちをひきつけてやまない。

本展では、非水の故郷に所在する愛媛県美術館の全面的な協力を得て、ポスター、図案集、装丁といった代表的仕事に加え、彼の創作の原点となるスケッチや、写真、遺愛の品々など300点余りを紹介し、その全貌に迫った。

巡回先：島根県立石見美術館、たばこと塩の博物館、三重県立美術館、福岡県立美術館、群馬県立近代美術館

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、Daiichi-TV

共催：毎日新聞社

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

協賛：ニューカラー写真印刷株式会社

特別協力：株式会社三越伊勢丹ホールディングス、東京国立近代美術館

企画協力：愛媛県美術館

観覧料：一般 1,300円(1,100円)

大高生・70歳以上 900円(700円)

※()内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

※2回目以降、本展有料観覧券半券提示で当日券200円引きとなるリピーター割引を実施

観覧者数：11,440人(有料7,800人、無料3,640人、有料率68.18%)

出品点数：322点(参考出品4点を含む)

制作物：

1)チラシ

<仕様>紙：MTA+-FS 110kg

サイズ・数量：A4 55,000部

2)ポスター

<仕様>紙：MTA+-FS 135kg

サイズ・数量：B1 45部、B2 2,050部、B3 2,750部(うち400部はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ裏面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>200×265mm、296頁



カタログ表紙

カラー図版708点

参考図版(カラー18点、モノクロ148点)

竹内幸絵「杉浦非水が目指したもの、残したもの—揺籃期の日本の広告・グラフィックデザインと社会」

川西由里「杉浦非水の島根時代」

青木朋子「杉浦非水と同時代作家たちとの繋がり」

五味俊晶「郷土玩具と非水」

五味俊晶「『純正絵画』と『商業美術』の壁—非水と日本画」

高曾由子「中澤弘光旧蔵資料にみる杉浦非水」

高山百合「杉浦非水と岡田三郎助—アーティストコロニーとしての『渋谷の絵かき村』に着目して」

鎮目良文「杉浦非水と大蔵省専売局—非水が手がけたたばこパッケージを中心に」

長井健「雅号『非水』とサインの変遷」

略年譜／主要参考文献／作品リスト

編集：愛媛県美術館、毎日新聞社

執筆：竹内幸絵(同志社大学社会学部教授)、長井健、五味俊晶、青木朋子(以上、愛媛県美術館)、川西由里(島根県立石見美術館)、高曾由子(三重県立美術館)、鎮目良文(たばこと塩の博物館)、高山百合(福岡県立美術館)

翻訳：クリストファー・スティヴンズ

発行：毎日新聞社

発行年：2021年

普及ツール：

1)本展オリジナル名刺型DMの作成・配布

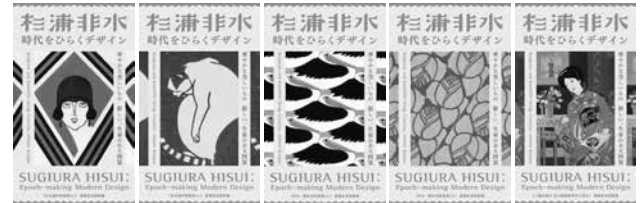
名刺サイズのミニDMを制作し、市内店舗等へ配布した。

制作物：

◆名刺型DM

<仕様>紙：MTA+-FS 200kg

サイズ・数量：55×90mm 15,000部



ミニDM表面(計5種)



ミニDM裏面(5種共通)

2)フォトスポットの設置

来館者のSNS等での情報発信を期待し、展示室出口にフォトスポットを設置した。



3)年末プレゼントウィークの実施

12月20日(火)から1月6日(金)に本展ご観覧の方に、本展オリジナルグッズをプレゼントした。

利用者数：1,228人



4) SNS投稿特典の実施

会期中、フォトスポットの投稿画面を提示した方に、当館オリジナルグッズをプレゼントした。

利用者数：176人

5) きもの特典の実施

会期中、きもので本展ご観覧の方に、当館オリジナルグッズをプレゼントした。

利用者数：173人

各種連携：

1) 近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

＜仕様＞紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

主要広報記録：

1) テレビ・ラジオ

- ・「あすから開催！杉浦非水展」Daiichi-TV『まるごと』、11月18日放送。
- ・「モダンデザインのパイオニア 杉浦非水展 静岡市美術館で始まる」Daiichi-TV『県内ニュース』、11月19日放送。
- ・「展覧会紹介」Daiichi-TV『Dstyle』、12月2日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ！静岡情報館』、1月5日放送。

2) 新聞

- ・「展覧会紹介」『スポーツ報知』静岡版、11月8日。
- ・「展覧会紹介」『スポーツ報知』静岡版、11月15日。
- ・深野麟之介「杉浦非水の足跡たどる 静岡市美術館 企画展きょう開幕」『毎日新聞』静岡版、11月19日。
- ・「商業デザインの先駆け紹介」『読売新聞』静岡版、11月20日。
- ・山本香瑠子「大胆な単純化 欧風に 作品紹介 上」『毎日新聞』静岡版、12月15日。
- ・山本香瑠子「自然の造形から図案 作品紹介 中」『毎日新聞』静岡版、12月16日。
- ・山本香瑠子「洋行で見聞広め 成果 作品紹介 下」『毎日新聞』静岡版、12月17日。
- ・「展覧会紹介」『スポーツ報知』静岡版、1月12日。
- ・「杉浦非水の展覧会絶賛公開中」『スポーツ報知』静岡版、1月22日。

3) 雑誌他

- ・「展覧会紹介」『美術展完全ガイド2022』。
- ・「杉浦非水の全容を紹介」『美術展びあ2022(びあMOOK)』。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、8・9月号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、10・11月号。
- ・「展覧会紹介」『PHOTOSAI』、Vol.38。
- ・「展覧会紹介」『にぎょう日本』、11月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊なごや』、第481号。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、12・1月号。
- ・「展覧会紹介」『ar』、12月号。
- ・「展覧会紹介」『てんとう虫』、12月号。
- ・「展覧会紹介」『美術の杜』、Vol.60。
- ・竹内幸絵「ポスターと芸術 「日常」に新しい芸術をもたらす「窓」としての広告の起源」『アートコレクターズ』、12月号。
- ・「静岡県内初の個展！杉浦非水が切り拓いた日本のモダンデザイン」『美術展完全ガイド2023』。
- ・「展覧会紹介」『日本近代文学館』、No.311。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、2・3月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、11月号。
- ・「展覧会紹介」『ボトス』、2022秋 特別増刊号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、12月号。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、1月号。

4) ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「JDN」、「WOMO」、「稲沢ケーブルテレビ公式Twitter」、「ライブアートジャパン アートブログ」、「WOMO 公式インスタグラム(ストーリー)」、「サライ.jp」、「びあポイント」、「全日本写真連盟 静岡県本部HP」、「WOMO 公式インスタグラム(フィード)」、「週刊じゃらん」、「ウェブ版「美術手帖」」



関連事業：

1)講演会①「杉浦非水が目指したもの、残したもの：揺籃期の日本の広告・グラフィックデザインと社会」

概要：同志社大学社会学部メディア学科教授の竹内幸絵氏を講師に招き、印刷メディアが拡大した時代に杉浦非水がどのように自らの作風を展開させていったのかを、作品と発言の両面からお話しいただいた。アンケートでも「『時代をひらくデザイン』の『時代』がどのようなものであったのか、興味・理解が深まった」「展覧会だけでは見ることが出来ないスライドも多く興味深かった」と好評を得た。

日時：11月26日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：44人

講師：竹内幸絵氏(同志社大学社会学部教授)



2)講演会②「杉浦非水 その生涯と仕事」

概要：愛媛県美術館専門学芸員長井健氏に杉浦非水の人生と作品についてお話し頂いた。非水の制作の根幹には写生があること、時代の要請に応じながら和洋混交の独自のスタイルを生み出したことなどが解説され、作品や展覧会への理解を深める機会となった。アンケートでも「非水の仕事、経歴を深く知ることができよかった。現在のブランディングに通じる意志を強く感じた」等の声が寄せられ好評を得た。

日時：12月18日(日)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：47人

講師：長井健氏(愛媛県美術館専門学芸員)



3)当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：①12月17日(土) ②1月14日(土)

いずれも14:00-

会場：多目的室 参加者数：計53人

参加料：無料



出品作品リスト

- ・ 作者が杉浦非水の場合は省略している
- ・ 初版でない書籍の発行年は、初版年／発行年の順に記している。
- ・ 展示期間の記載のない作品は通期展示。
- ・ 欠番は当館には出品されなかった。

第1章 図案との出会い

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	前期	後期
[1]日本画を学ぶ								
1-1		日本画科写生教室 五月三日		明治30-34年(1897-1901)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館		
1-2a		象 三月九日上野動物園			墨・紙	愛媛県美術館		
1-2b		模本〔人物〕		1890年代	墨、水彩・紙	愛媛県美術館		
1-2c		模本〔正倉院宝物〕		1890年代	墨、水彩・紙	愛媛県美術館		
1-2d		松村呉春先生野菜之巻		明治30-34年(1897-1901)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館		後
1-3		臨模帖〔縮図 芳章〕		明治31年(1898)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館		
1-4		画帖〔寝ている男他〕		明治32年(1899)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館		
1-5		孔雀		明治34年(1901)	絹本着色	東京藝術大学		前
[2]図案へのめざめ								
1-6	アルフォンス・ミュシャ	ジョブ		1898年	カラーリトグラフ・紙	三重県立美術館		後
1-7	黒田清輝	杉浦非水像		大正4年(1915)	鉛筆・紙	東京国立近代美術館		前
1-7	黒田清輝	杉浦非水像(複製)		昭和56年(1981)	印刷・紙	愛媛県美術館		後
1-8a	黒田清輝	富士之図		明治31年(1898)	油彩・板	静岡県立美術館		
1-9	杉浦非水編	『黒田清輝先生 遺作展覧会目録』		大正13年(1924)	印刷・紙	三重県立美術館		
1-10	中澤弘光監督	白馬会絵画研究所 仏語ノ部出席簿			墨・紙	三重県立美術館		
1-12	岡田三郎助	スフィンクス ([『中央新聞』8000号記念挿絵原画])		明治40年(1907)	鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館		前
1-13	中澤弘光	非水像		明治34年(1901)	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館		
1-14a	杉浦朝武、 中澤弘光	みだれ髪歌がるた		明治34年(1901)	墨、水彩・紙、千代紙	個人蔵		入替
1-14b	杉浦朝武、 中澤弘光	みだれ髪歌がるた		明治34年(1901)	墨、水彩・紙、千代紙	三重県立美術館		前
1-15		『明星』辰歳第一号		明治37年(1904)	雑誌	三重県立美術館		
1-16		中澤弘光宛葉書 明治36年11月3日付		明治36年(1903)	葉書	個人蔵		
1-17		画帖〔大阪時代〕		明治35-37年(1902-04)	墨、鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館		
1-18		『三十六年』第五号	六々社	明治35年(1902)9月	印刷・紙(表紙校正刷?)	東京国立近代美術館		前
1-19		大阪商船株式会社絵葉書		明治35年(1902)頃	葉書	三重県立美術館		
1-20		画帖〔島根時代〕		明治37-38年(1904-05)	鉛筆、色鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館		
1-21a	杉浦朝武実写、 小林習古写	露兵の漂着の実況(一) [『軍国画報』第二年第八号]	富山房	明治38年(1905)7月	石版・紙	島根県立石見美術館		
1-22	森脇 忠	〔裸婦〕			油彩・板	愛媛県美術館		
1-23		『中央新聞週報 ホーム』第二十一号	中央新聞社	明治40年(1907)3月	新聞付録冊子(表紙)	宇都宮美術館		
1-24		『中央新聞週報 ホーム』第二十五号	中央新聞社	明治40年(1907)4月	新聞付録冊子(表紙)	宇都宮美術館		
1-25		画帖〔富士山他〕		明治40年(1907)	鉛筆、色鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館		
1-26		『富士山スケッチ』	金尾文淵堂	明治40年(1907)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		

第2章 図案の開拓者

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	前期	後期
[1]ブックデザイナー・非水								
2-1		饗庭篁村著『文学叢書 巢林子撰註』	東京専門学校 出版部	明治35年(1902)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
2-2		あやめ会著『あやめ草』	如山堂書店	明治39年(1906)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
2-3		与謝野晶子著『夢の華』	金尾文淵堂	明治39年(1906)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
2-4		巖谷小波著『小波お伽百話』	博文館	大正13年(1924)(13版) 初版:明治44年(1911)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-5		河岡潮風著『五五の春』	博文館	明治45年(1912)(7版) 初版:同年	書籍(装丁)	個人蔵		
2-6		川崎克編『木堂政論集』	文会堂書店	大正2年(1913)(2版) 初版:同年	書籍(装丁)	個人蔵		
2-7		巖谷小波編『日本一ノ画噺』(復刻)	ほるぷ出版 (原品:中西 屋書店)	昭和53年(1978) 原品:明治44年- 大正4年(1911-15)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	前期	後期
2-8		『タングラム』	平安堂書店	大正2年(1913)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
2-9		渋沢栄一著『縮刷 青淵百話』	同文社	大正2年(1913)(6版) 初版:同年	書籍(装丁)	個人蔵		
2-10		徳富蘆花著(アーサー・ロイド、フォン・ファーロット、小野秀太郎英訳)『NATURE AND MAN 英訳 自然と人生』	弘学館書店	大正2年(1913)(3版) 初版:同年	書籍(装丁)	個人蔵		
2-11		シュニツレル著(森鷗外訳)『近代脚本叢書第一編 恋愛三昧』	現代社	大正2年(1913)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-12		ホフマンスタール著(松居松葉訳)『エレクトラ』	鈴木書店	大正2年(1913)(2版) 初版:同年	書籍(装丁)	個人蔵		
2-13		柳川春葉著『生さぬなか』中・下	金尾文淵堂	中巻 大正2年(1913)(2版) 初版:同年 下巻 大正2年(1913)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
2-14		菊池幽芳著『百合子』上・中・下	金尾文淵堂	大正2年(1913)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
2-15		菊池幽芳、錦木清方著『百合子画集』上	金尾文淵堂	大正3年(1914)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
2-16		湯浅観明著『通人物語 趣味の東京』	鈴木書店	大正2年(1913)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-17		菊池幽芳著『うき世』一・二	至誠堂	一卷 大正4年(1915)(3版) 初版:同年 二巻 大正5年(1916)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-18		渡邊霞亭著『小説 渦巻』上・中	隆文堂	上巻 大正3年(1914)(31版) 初版:大正2年(1913) 中巻 大正3年(1914)(18版) 初版:大正2年(1913)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-19		黒田朋信著『趣味叢書 第二編 趣味雑話』	趣味叢書 発行所	大正3年(1914)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-20		ヘスタロッツ著(野田豊実訳)『教育小説 愛と探』上	隆文堂	大正3年(1914)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-21		モーパッサン著(小野秀雄訳)『ヘラミー』	以文館	大正3年(1914)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-22		北原鉄雄著『次の一戦』	金尾文淵堂	大正3年(1914)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-23		高峰博著『夢学』	有文堂書店	大正6年(1917)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
2-24		尾崎徳太郎原著(アーサー・ロイド英訳)『合本 英訳金色夜叉』	誠文館	大正7年(1918)(4版) 初版:大正6年(1917)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-25		桜井忠温著『十字路』	新橋堂	大正4年(1915)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
2-26		村松梢風著『梢風物語』	天佑社	大正8年(1919)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-27		池田林儀著『改造の独逸より』	東京堂書店	大正11年(1922)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-28		佐佐木信綱著『常盤木』	東京堂書店	大正11年(1922)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-29		黒田駒心著『人生と趣味』	誠文堂書店	大正9年(1920)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-30		吉丸一昌作『新作唱歌』第六集	敬文館	大正7年(1918)(5版) 初版:大正2年(1913)	楽譜(表紙)	個人蔵		
2-31		『中学世界』第十五巻第七号	博文館	明治45年(1912)6月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館	前	
2-32		『中学世界』第十七巻第三号	博文館	大正3年(1914)3月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-33		『お伽世界』第一巻第一号(原画)	博文館		着色・紙	愛媛県美術館		
2-34		『日曜画報』第一巻第一号	博文館	明治43年(1910)12月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-35		『日曜画報』第一巻第三十九号	博文館	明治44年(1911)9月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-36		『少年世界』第十八巻第十号	博文館	明治45年(1912)7月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		後
2-37		『少年世界 競争双六』	博文館	大正8年(1919)	オフセット・紙	島根県立石見美術館		
2-38		『リーガルタイムス』第一巻第二号		明治42年(1909)3月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館	前	
2-39		『劇と詩』第七号	劇と詩社	明治43年(1910)10月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館	前	
2-40		『実業倶楽部』第一巻第八号	博文館	明治44年(1911)7月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館		後
2-41		『台湾愛国婦人』第四十五巻	愛国婦人 台湾支部	明治45年(1912)8月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-42		『文章世界』三月号	博文館	大正2年(1913)3月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-43		『演芸画報』第七年第一号	東京演劇画報社	大正2年(1913)1月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-44		『女子文壇』第十巻第六号	夫人文藝社	大正3年(1914)6月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-45		『ダイヤモンド』第三巻第八号	ダイヤモンド社	大正4年(1915)8月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-46		『家庭と玩具』第二巻第一号	家庭倶楽部	大正5年(1916)1月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-47		『家庭』二月号	家庭社	大正6年(1917)2月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-48a		『月刊楽譜』第七巻第一号	山野楽器店	大正7年(1918)1月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		

No	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	前期	後期
2-49a		『新女界』第十巻第七号	新人社	大正7年(1918)7月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-50		『婦人倶楽部』第二巻第九号	大日本雄弁会	大正10年(1921)9月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-51		『現代』第二巻第四号	大日本雄弁会	大正10年(1921)4月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-52		『現代』第二巻第六号	大日本雄弁会	大正10年(1921)6月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
[2]三越での活動 I								
2-53		三越呉服店 春の新柄陳列会	三越呉服店	大正3年(1914)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館		
2-54	岡田三郎助	三越呉服店(むらさきしらべ)	三越呉服店	明治42年(1909)	リトグラフ・紙	アドミュージアム東京		
2-56		三越呉服店 新館落成	三越呉服店	大正3年(1914)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館		
2-57		三越呉服店(エンゼル)	三越呉服店	大正4年(1915)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館		
2-58		『三越』	三越呉服店、 三越	明治-大正時代	雑誌(表紙)	愛媛県美術館、 株式会社三越伊勢丹		
		第一巻六号				株式会社三越伊勢丹	前	
		第二巻四号				株式会社三越伊勢丹	前	
		第三巻八号				株式会社三越伊勢丹	前	
		第五巻二号				株式会社三越伊勢丹		後
		第八巻六号				株式会社三越伊勢丹	前	
		第九巻六号				株式会社三越伊勢丹		後
		第十二巻七号				株式会社三越伊勢丹		後
		第二巻二号				愛媛県美術館		
		第七巻二号				愛媛県美術館		後
2-64		『みつこタイムス』	三越呉服店	明治-大正時代	雑誌(表紙)	愛媛県美術館、 株式会社三越伊勢丹		
		第八巻第九号				株式会社三越伊勢丹	前	
		第八巻第十二号				株式会社三越伊勢丹		後
		第九巻第十一号				株式会社三越伊勢丹	前	
		第十巻第十号				株式会社三越伊勢丹		後
		第十一巻第六号				株式会社三越伊勢丹		後
		第十二巻第四号				株式会社三越伊勢丹	前	
		第七巻第七号				愛媛県美術館	前	
		第八巻第五号				愛媛県美術館		後
		第九巻第四号				愛媛県美術館	前	
		第九巻第八号				愛媛県美術館		後
2-65		新案家庭衣裳あはせ (『みつこタイムス』附録)	三越呉服店	明治43年(1910)	雑誌(表紙)	株式会社三越伊勢丹		後
2-66		『ごちうもの菜』 (『みつこタイムス』臨時増刊 第十巻第五号)	三越呉服店	明治45年(1912)4月	パンフレット	個人蔵		
2-67		『三越のショール』	三越呉服店	大正初期(1910年代)	パンフレット	愛媛県美術館		
2-68		巖谷季雄編『子宝』	三越呉服店	明治45年(1912)(2版) 初版:明治42年(1909)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
2-69a		第二回児童博覧会	三越呉服店	明治43年(1910)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館		
[3]多様な活動								
2-70		光風会洋画函授展覧会	光風会	明治45年(1912)	木版・紙	愛媛県美術館		
2-71		光風会第二回絵画展覧会	光風会	大正2年(1913)	木版・紙	愛媛県美術館		
2-73		南満州鉄道株式会社	南満州鉄道	大正6年(1917)頃	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館		
2-74a		星製菓	星製菓株式会社	大正3年(1914)	リトグラフ、オフセット・紙	アドミュージアム東京		
2-75		勸業債券売出し 九月一日より十日まで	日本勸業銀行	大正4年(1915)頃	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館		
2-76		勸業債券売だし 十一月廿日より十二月五日まで	日本勸業銀行	大正9年(1920)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館		
2-77		『ツーリスト』第十八号	ジャパン・ツーリス ト・ビューロー	大正5年(1916)	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-78		『THE TOURIST』Vol.XII No.3	ジャパン・ツーリス ト・ビューロー	大正13年(1924)5月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
2-79		Guide to Kongo-San	ジャパン・ツーリス ト・ビューロー	大正4年(1915)	パンフレット	東京国立近代美術館		後

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	前期	後期
2-80		SHANTUNG RAILWAY	ジャパン・ツーリスト・ビューロー	1910-20年代	パンフレット	東京国立近代美術館		後
2-81		MAP OF KEIJYŌ	ジャパン・ツーリスト・ビューロー	大正2年(1913)	パンフレット	東京国立近代美術館		前
トピック展示[1]【妻・翠子】								
2-83		翠子宛書簡 明治36年11月28日-12月3日付		明治36年(1903)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館		
2-85		スケッチ			水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館		
2-86		杉浦翠子著『寒紅集』	平安堂書店	大正6年(1917)	書籍(装丁)	三重県立美術館		
2-87		杉浦翠子著『愛しき歌人の群』	福永書店	昭和2年(1927)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
2-88		杉浦翠子著『朝の呼吸』	福永書店	昭和3年(1928)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-89		杉浦翠子著『浅間の表情』	藤浪会	昭和12年(1937)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-90		杉浦朝武編『行雲流水 追悼歌文集』	藤浪短歌会	昭和36年(1961)	書籍(装丁)	個人蔵		
2-91		婦人帯(翠子所用)		大正-昭和初期	絹	株式会社三越伊勢丹		
2-93	杉浦非水、翠子	合作色紙		昭和時代	紙本着色	愛媛県美術館		
2-94		非水図案年賀状		明治-昭和時代	葉書	愛媛県美術館		

第3章 自然に学ぶー写生と図案

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	前期	後期
[1] 写生のやしない								
3-1		植物写生帖 春之部一			墨、水彩、鉛筆・紙	東京国立近代美術館		前
3-3		鳥類写生帖			墨、水彩、鉛筆・紙	東京国立近代美術館		後
3-5		スケッチ			水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館		
3-6		貯蓄は根の如く 平和は花の如し	逓信省	大正6年(1917)頃	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館		
3-7		貯蓄は根の如く 平和は花の如し(原画)		大正6年(1917)頃	着色・紙	愛媛県美術館		
3-8		美味滋強飲料 カルピス	ラクトー株式会社	大正8-12年(1919-23)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館		
3-9		星名刺	櫻井大二郎商店	昭和4年(1929)頃	リトグラフ・紙	愛媛県美術館		
3-10		柳川春葉著『かたおもひ』一・二・三巻	金尾文淵堂	大正3年(1914)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
3-11		田口掬丁著『ふたおもて』前	新潮社	大正4年(1915)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
3-12		『三越』第一巻第十号	三越呉服店	明治44年(1911)11月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
3-13		『雄弁』第十五巻第五号	大日本雄弁会	大正13年(1924)5月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
3-14		金井紫雲著『花と芸術』	芸艸堂	昭和9年(1934)(2版) 初版:昭和4年(1929)	書籍(装丁)	個人蔵		
3-15		桜井忠温著『大将白川』	松獄会	昭和8年(1933)	書籍(装丁)	個人蔵		
3-16		グノー作曲『夜のしらべ』	セノオ音楽出版	大正5年(1916)(2版) 初版:大正4年(1915)	楽譜(表紙)	個人蔵		
3-17		『たかね』第十九号	少女読書会	大正7年(1918)4月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
3-18		『たかね』第十九号(原画)		大正7年(1918)	着色・紙	愛媛県美術館		
[2] 図案集と『非水百花譜』								
3-19		非水図案絵葉書	上方屋平和堂 ほか	大正4-5年(1915-16)頃	葉書	愛媛県美術館		
3-20		『非水図案集 第一輯』	金尾文淵堂	大正4年(1915)	印刷・紙	宇都宮美術館		入替
3-21		『非水の図案』	星文館	大正5年(1916)	印刷・紙	愛媛県美術館		
3-22		『非水一般応用図案集』	平安堂書店	大正10年(1921)	印刷・紙	愛媛県美術館		
3-23		『非水百花譜』(大正版)	春陽堂	大正9-11年(1920-22)	木版・紙	島根県立石見美術館		
3-24		『非水百花譜』(昭和版)	春陽堂	昭和4-9年(1929-34)	木版・紙	愛媛県美術館		
3-25		スケッチ〔『非水百花譜』関連下絵〕		大正-昭和時代	鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館		入替
3-26		スケッチ〔植物〕		大正-昭和時代	鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館		
トピック展示[2]【写真と小型映画】								
3-27		『アマチュア』第一巻第一号	金星堂	大正11年(1922)7月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
3-28		熱砂(『芸術写真選集』第一輯所収)	上方屋出版部	大正12年(1923)	印刷・紙	愛媛県美術館		
3-29		絵本(『芸術写真選集』第一輯所収)	上方屋出版部	大正12年(1923)	印刷・紙	愛媛県美術館		

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	前期	後期
3-30		二月堂(『芸術写真選集』第一輯所収)	上方屋出版部	大正12年(1923)	印刷・紙	愛媛県美術館		
3-31		『家の光』第三巻第五号	産業組合中央会	昭和2年(1927)5月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
3-32		『写真機が旅をする』 (『新家庭』夏季臨時増刊)	玄文社	大正11年(1922)7月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
3-33		〔水景〕			写真	愛媛県美術館		
3-34		〔川〕			写真	愛媛県美術館	前	
3-35		奥多摩一景		昭和9年(1934)	写真	愛媛県美術館		後
3-36		土管の雪		昭和9年(1934)	写真	愛媛県美術館		
3-37		大仏		昭和9年(1934)	写真	愛媛県美術館	前	
3-38		ベットのまどゐ		昭和9年(1934)	写真	愛媛県美術館		後
3-39		〔くらげ〕			写真	愛媛県美術館		
3-40		〔樹氷〕			写真	愛媛県美術館		
3-41		旧蔵フィルム		1920年代後半	9.5ミリ・16ミリフィルム、 白黒、無声	国立映画アーカイブ		
3-42		日立電気冷蔵庫	日立製作所	昭和8年(1933)	パンフレット	愛媛県美術館		
3-43		〔浅間山噴火〕		昭和34年(1959)	写真	愛媛県美術館		
3-44		昭和九年十一月廿四日 新雪の浅間		昭和9年(1934)	水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館		
3-45		昭和二十二年八月十四日 十二時二十五分位噴火		昭和22年(1947)	水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館		
3-46		杉浦翠子著『生命の波動』	藤浪会	昭和27年(1952)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
3-47		『短歌至上主義』第三巻第二号	藤浪会	昭和10年(1935)2月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
3-48		〔潮干狩り〕			写真	愛媛県美術館		
3-49		『非水図按集 第一輯』より〔潮干狩り〕	金尾文淵堂	大正4年(1915)	印刷・紙	宇都宮美術館		
3-51		岐阜長良川鵜飼と納涼	岐阜市、 名古屋鉄道局	昭和4年(1929)	オフセット・紙	愛媛県美術館		
3-52		佐渡まで海上二時間	佐渡汽船	昭和9年(1934)	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館		
3-53		『家の光』第二巻第八号	産業組合中央会	大正15年(1926)8月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
3-54		『現代』第八巻第十二号	大日本雄弁会 講談社	昭和2年(1927)12月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
3-55		『科学知識』第十三巻第六号	科学知識 普及会	昭和8年(1933)6月	印刷・紙	愛媛県美術館		
3-56		『科学知識』第十五巻第四号	科学知識 普及会	昭和10年(1935)4月	印刷・紙	愛媛県美術館		
3-57		湊邦三著『距離零』	輝文堂書房	昭和19年(1944)	書籍(装丁)	個人蔵		

第4章 非水が目指したもの、のこしたもの

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	前期	後期
[1]ヨーロッパ遊学								
4-1		爽快美味滋強飲料 カルピス	カルピス製造 株式会社	大正15年(1926)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館		
4-2		『カルピス』徳用壘包紙(青、赤)	カルピス製造 株式会社	大正11年(1922)(商品発売年)	印刷・紙	愛媛県美術館		
4-3		『カルピス』壘ラベル	ラクトー株式会社		印刷・紙	愛媛県美術館		
4-4		『カルピス』発売70周年記念復刻版 化粧箱付壘		平成元年(1989) (1919年発売当時のデザインがモデル)	パッケージ	アサヒ飲料株式会社		
4-5	藤田嗣治	自画像		昭和4年(1929)	墨・絹	愛媛県美術館		
4-7		藤田嗣治肖像写真		撮影：昭和2年(1927)	印刷、墨・紙	愛媛県美術館		
4-8		旅行鞆			木 ほか	愛媛県美術館		
4-9		ヨーロッパ日記		大正11-13年(1922-24)	ノート	愛媛県美術館		
4-10		フランス語ノート		大正11-13年(1922-24)	ノート	愛媛県美術館		
4-11		スケッチ		大正11-13年(1922-24)	水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館		
4-12		アルバム(フランス留学時代)		大正11-13年(1922-24)	アルバム	愛媛県美術館		
4-13		ヨーロッパ遊学中に撮影した写真		大正11-13年(1922-24)	写真	愛媛県美術館		

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	前期	後期
トピック展示[3]【コレクター／アーキストとしての非水】								
4-14		非水アルバム帖		明治-昭和時代	アルバム	愛媛県美術館		
4-15		アルバム			アルバム	愛媛県美術館		
4-16		蔵書票(人魚・飛天)(原画)			鉛筆、インク、ホワイトによる修正・紙	愛媛県美術館		
4-17		収集物(工芸品、郷土玩具他)				愛媛県美術館		
4-18		『外国文字集』			スクラップブック	愛媛県美術館		
4-19		『名物控帳』		昭和12-28年(1937-53)頃	スクラップブック	愛媛県美術館		
4-20		スクラップブック(招待券、入場券他)		明治-昭和時代	スクラップブック	愛媛県美術館		
4-21		スクラップ			封筒、冊子	東京国立近代美術館		入替
4-22		メニュー			印刷・紙	愛媛県美術館		
4-23		ホテルラベル			印刷・紙	愛媛県美術館		
4-24		非水宛年賀状		明治-昭和時代	葉書	愛媛県美術館		
[2]三越での活動Ⅱ								
4-26		銀座三越 四月十日開店	三越	昭和5年(1930)	オフセット・紙	愛媛県美術館		
4-27		新宿三越落成 十月十日開店	三越	昭和5年(1930)	オフセット・紙	愛媛県美術館		
4-29		『三越』	三越呉服店、三越	大正-昭和時代	雑誌(表紙)	愛媛県美術館、株式会社三越伊勢丹		
		第十六巻一号				株式会社三越伊勢丹		前
		第十六巻七号				株式会社三越伊勢丹		後
		第十七巻十一号				株式会社三越伊勢丹		後
		第十五巻第五号				愛媛県美術館		前
		第十五巻第六号				愛媛県美術館		後
		第十七巻第七号				愛媛県美術館		前
		第十八巻第四号				愛媛県美術館		前
		第二十二巻第五号				愛媛県美術館		後
		第二十二巻第七号				愛媛県美術館		
		第二十二巻十一号				愛媛県美術館		
4-33		『大阪の三越』	三越大阪本店	大正-昭和時代	雑誌(表紙)	愛媛県美術館、株式会社三越伊勢丹、島田安彦コレクションアーカイブ		
		第二年第七号				株式会社三越伊勢丹		前
		第二年第十号				株式会社三越伊勢丹		後
		第五年第一号				島田安彦コレクションアーカイブ		
		第四年第一号				愛媛県美術館		
		第五年第五号				愛媛県美術館		
		第六年第五号				愛媛県美術館		
		第六年十一号				愛媛県美術館		
4-34		LETTER TABLET (孔雀)	三越	1920年代	便箋(表紙)	愛媛県美術館		後
4-35		LETTER TABLET (女性)	三越	1920年代	便箋(表紙)	東京国立近代美術館		前
4-36		団扇〔青い花〕	三越		印刷・紙	愛媛県美術館		
4-37		団扇〔海景〕	三越		印刷・紙	愛媛県美術館		
4-38		大阪子ども研究会編『わが子の歴史』	三越大阪支店	昭和3年(1928)	書籍(装丁)	個人蔵		
参考		『三越』第十五巻第十号	三越呉服店	大正14年(1925)	雑誌(表紙)	島田安彦コレクションアーカイブ		後
参考		『MITSUKOSHI DEPARTMENT STORE』	三越呉服店	1920年代	パンフレット	島田安彦コレクションアーカイブ		
参考		『中元御贈答用品案内』	三越呉服店	大正15年(1926)	パンフレット	島田安彦コレクションアーカイブ		
参考		三越広告(帝国劇場プログラム)	帝国劇場	昭和3年(1928)	パンフレット	島田安彦コレクションアーカイブ		

No	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	前期	後期
[3] 図案を普及する								
4-41		七人社第二回創作ポスター展覧会	七人社	昭和2年(1927)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館		
4-42		七人社第三回創作ポスター展覧会	七人社	昭和3年(1928)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館		
4-43		SHICHININSHA		昭和8年(1933)	水彩・紙	愛媛県美術館		
4-45		『アフイッシュ』第一年第一号	七人社	昭和2年(1927)7月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
4-46		『アフイッシュ』第一年第二号	七人社	昭和2年(1927)8月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館	前	
4-46a		『アフイッシュ』第一年第二号	七人社	昭和2年(1927)8月	雑誌(表紙)	アドミュージアム東京		後
4-47		『アフイッシュ』第一年第三号	七人社	昭和2年(1927)9月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館		後
4-48		『アフイッシュ』第一年第四号	七人社	昭和2年(1927)10月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館	前	
4-48a		『アフイッシュ』第一年第四号	七人社	昭和2年(1927)10月	雑誌(表紙)	アドミュージアム東京		後
4-49		杉浦非水図案生活三十年記念聯合展覧会	七人社	昭和11年(1936)	オフセット・紙	愛媛県美術館		
4-50	野村 昇	七人社第十回創作図案展	七人社	昭和11年(1936)	オフセット・紙	愛媛県美術館		
4-51	青井辰雄	多摩帝国美術学校第I回図案科会展覧会	七人社	昭和11年(1936)	オフセット・紙	愛媛県美術館		
4-52		『デセグノ』1	多摩帝国美術学校図案科会	昭和11年(1936)	雑誌	愛媛県美術館		
4-53	濱田増治、渡邊素舟、田附興一郎、仲田定之助、宮下孝雄、杉浦非水編	『現代商業美術全集 1 世界各国ポスター集』	アルス	昭和4年(1929)	書籍	個人蔵		
4-54	濱田増治、渡邊素舟、田附興一郎、仲田定之助、宮下孝雄、杉浦非水編	『現代商業美術全集 2 実用ポスター図案集』	アルス	昭和3年(1928)	書籍	個人蔵		
4-55	杉浦非水、渡邊素舟 共著	『図案の美学』	アトリエ社	昭和8年(1933)	書籍	愛媛県美術館		
4-56	杉浦非水、渡邊素舟編	『実用図案資料大成 植物資料図案集』上巻	アトリエ社	昭和8年(1933)	書籍	愛媛県美術館		
4-57	杉浦非水、渡邊素舟編	『世界植物図案資料集成』	技報社	昭和34年(1959)	書籍	愛媛県美術館		
4-58	杉浦非水、渡邊素舟編	『世界人物図案資料集成』	技報社	昭和32年(1957)	書籍	愛媛県美術館		
4-59		巻一男女共通 幾何学的単独充墳模様(原画)			鉛筆、着色・紙	愛媛県美術館		
4-60		巻三男子巻四女子 風景の図案的表現(原画)			鉛筆、着色・紙	愛媛県美術館		
[4] モダンデザインの花—ヨーロッパ遊学後の仕事								
4-62		ヤマサ醤油	ヤマサ醤油株式会社、濱口儀兵衛商店	1920年代	オフセット・紙	愛媛県美術館		
4-63		銅化塗料ノーワン	東亜ペイント製造	1920年代	リトグラフ、オフセット・紙	鳥根県立石見美術館		
4-64		古河コッパーペイント	東亜ペイント製造	1920年代	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館		
4-65		東洋唯一の地下鉄道上野浅草間開通	東京地下鉄道株式会社	昭和2年(1927)	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館		
4-66a		東洋唯一の地下鉄道上野浅草間開通(原画)		昭和2年(1927)	着色・紙	地下鉄博物館		
4-67		科学の粋をあつめた地下鉄道上野浅草間開通	東京地下鉄道株式会社	昭和2年(1927)	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館		
4-68		萬世橋まで延長開通 東京地下鉄道	東京地下鉄道株式会社	昭和4年(1929)頃	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館		
4-69		『上野浅草間建設工事概要』	東京地下鉄道株式会社	昭和2年(1927)	パンフレット	東京国立近代美術館		後
4-69a		『上野浅草間建設工事概要』	東京地下鉄道株式会社	昭和2年(1927)	パンフレット	地下鉄博物館	前	
4-69b		『上野浅草間開通記念』	東京地下鉄道株式会社	昭和2年(1927)	アルバム	地下鉄博物館		
4-70		『東京地下鉄道広告案内』	アングラ社	昭和3年(1928)	パンフレット	愛媛県美術館		
4-71		アサヒグラフ臨時増刊 明治大正名作展号	朝日新聞社	昭和2年(1927)	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館		

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	前期	後期
4-72		明治大正名作展覧会	東京府美術館、 東京朝日新聞社	昭和2年(1927)	印刷・紙	東京国立近代美術館	前	
4-74		科学の力に魂の叫び	産業組合中央会	昭和2年(1927)	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館		
4-75		第二次産業組合拡充三ヶ年計画	産業組合中央会	昭和12年(1937)	リトグラフ、オフセット・紙	鳥根県立石見美術館		
4-76		国の文化は道路から	東京市道路祭	昭和3年(1928)頃	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館		
4-77		画帖〔ポスターラフスケッチ他〕		昭和3年(1928)頃	鉛筆・紙	愛媛県美術館		後
4-78		日向の早熟蔬菜と果実	宮崎県	昭和3年(1928)頃	オフセット・紙	鳥根県立石見美術館		
4-79		〔非水創作図案集〕	文雅堂	大正15年(1926)	印刷・紙	愛媛県美術館		
4-80		アグネス・アルウィン著 〔美味しい洋食の搾しらへ方〕	実業之日本社	大正13年(1924)	書籍(装丁)	個人蔵		
4-81		フェレンク・モルナー著(鈴木善太郎訳) 〔白鳥〕	金星堂	大正13年(1924)	書籍(装丁)	個人蔵		
4-82		佐藤紅緑著〔第一步〕	大日本雄弁会	昭和2年(1927)(9版) 初版:大正15年(1926)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
4-83		エクトル・マロー著(片岡鉄平訳) 〔あゝ故郷〕	文洋社	昭和2年(1927)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
4-84		菊池寛編〔小学生全集 2 太閤記物語〕	興文社	昭和5年(1930)	書籍(装丁)	個人蔵		
4-85		〔現代日本文学全集 第十一編 正岡子規集〕(並装版)	改造社	昭和3年(1928)	書籍(装丁)	個人蔵		
4-86		〔現代日本文学全集 第一編 明治開化期文学集〕(布装版)	改造社	昭和6年(1931)	書籍(装丁)	個人蔵		
4-87		〔英文世界名著全集 第二十五卷 天路歷程〕	英文学社	昭和3年(1928)	書籍(装丁)	個人蔵		
4-88		高田義一郎著〔世相表裏の医学的研究〕	実業之日本社	昭和4年(1929)(2版) 初版:昭和3年(1928)	書籍(装丁)	個人蔵		
4-89		〔嫁入叢書 婦人衛生編〕	実業之日本社	昭和4年(1929)	書籍(装丁)	個人蔵		
4-90		麴町幸二編〔モダン用語辞典〕	実業之日本社	昭和5年(1930)(11版) 初版:同年	書籍(装丁)	個人蔵		
4-91		沖野岩三郎著〔赦し得ぬ悩み〕	福永書店	昭和3年(1928)	書籍(装丁)	愛媛県美術館		
4-92		伊藤重治郎著〔新会社員学〕	実業之日本社	昭和5年(1930)	書籍(装丁)	個人蔵		
4-93		原田三夫、松山思水著〔世界探検全集 第5巻 アフリカ探検 上〕	萬里閣書房	昭和5年(1930)	書籍(装丁)	個人蔵		
4-94		仁科春彦著〔人を笑はせる小話集〕	実業之日本社	昭和8年(1933)	書籍(装丁)	個人蔵		
4-95		宮寺俊雄著〔財界の鬼才 福澤桃介の生涯〕	四季社	昭和28年(1953)	書籍(装丁)	個人蔵		
4-96		〔新曲童謡 大風小風〕	京文社	大正14年(1925)	楽譜(表紙)	愛媛県美術館		
4-97		〔現代〕第六巻第六号	大日本雄弁 会講談社	大正14年(1925)6月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
4-99		〔科学〕創刊号	成海堂	大正13年(1924)11月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館		後
4-100		〔科学〕第二巻第三号	成海堂	大正14年(1925)3月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		前
4-101		〔雄弁〕第十五巻第十号	大日本雄弁会	大正13年(1924)10月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
4-102		〔東京〕第一巻第二号	実業之日本社	大正13年(1924)10月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
4-103		〔東京〕第二巻第一号	実業之日本社	大正14年(1925)1月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
4-104		〔実業界〕第三十四巻第四号	実業界社	昭和2年(1927)4月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
4-105		〔処女の友〕第十巻第五号	財団法人 社会教育協会	昭和2年(1927)5月	雑誌(表紙)	愛媛県美術館		
4-106		〔街〕第一巻第二号(原画)		昭和2年(1927)	着色・紙	愛媛県美術館		
4-107		〔むれ星〕第八巻第七号	むれ星会	昭和10年(1935)7月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館		前
4-108		〔むれ星〕第十三巻第八号	むれ星会	昭和15年(1940)8月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館		後
4-109		〔図画と手工〕第一五三号	錦巷会	昭和7年(1932)1月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館		後
4-110		〔科学知識〕第十一巻第七号	科学知識普及会	昭和6年(1931)7月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館		前
4-111		〔科学知識〕第十二巻第十二号	科学知識普及会	昭和7年(1932)12月	雑誌(表紙)	東京国立近代美術館		後
4-112		新製口付 紙巻煙草みのり	専売局	昭和5年(1930)	リトグラフ、オフセット・紙	たばこと塩の博物館		
4-113		響	専売局	昭和7年(1932)(商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の博物館		

No.	作家名	作品名	発行者等	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵	前 期	後 期
4-114		PALOMA	専売局	昭和8年(1933)(商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の博物館		
4-115		Momoyama	専売局	昭和9年(1934)(商品発売年)	印刷・紙、金属	たばこと塩の博物館		
4-116		光	専売局	昭和11年(1936)(商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の博物館		
4-117		扶桑	専売局	昭和13年(1938)(商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の博物館		
4-118		NIKKO	専売局	昭和24年(1949)(商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の博物館		
4-119		エスケーコナ石鯨	倉橋三平商会		印刷・紙	愛媛県美術館		
4-120		「琥珀ワニス」ラベル	日本琥珀工業所		印刷・紙	愛媛県美術館		
4-121		FORMOSA TAIWAN	ジャパン・ツーリスト・ビューロー	昭和3年(1928)	パンフレット	東京国立近代美術館		後
4-122		THE TRAVEL BULLETIN	N.Y.K. LINE	昭和10年(1935)	パンフレット	東京国立近代美術館		前
4-123		台湾	台湾総督府 交通局鉄道部	1920-30年代	パンフレット	東京国立近代美術館		後
4-124		電話番号簿		1920-30年代	印刷・紙	東京国立近代美術館		入替
4-127		黎明無風 浅間連作の内		昭和34年(1959)	水彩・紙	愛媛県美術館		
4-128		雨		昭和40年(1965)	絹本着色	愛媛県美術館		

2-5 東海道之美 駿河への旅

会期：2月11日(土・祝)～3月26日(日)

概要：慶長六(1601)年、徳川家康は江戸と京都を結ぶ東海道の五十三の宿駅を設置する。古来、東海道の名所は多く絵画化されていたが、参勤交代や物資輸送などで街道が整備されると、庶民も旅に出るようになり、やがて東海道そのものを主題にした絵画が広く普及していった。

また、東海道は詩書を好む駿河の文化人たちと上方や江戸の絵師たちとの交友も可能にした。とりわけ江戸時代中期以降、京都の円山応挙一門や江戸の司馬江漢などによる新しい傾向の絵画は、駿河の人々に歓迎され、街道を通じて人や作品の往来がさかに行われた。こうして東海道の間にある駿河でも江戸と上方双方の文化の影響を受け、多様な表現が展開することになる。

本展では、描かれた東海道と街道をめぐる絵師たちの往来に注目し、東海道が育んだ駿河の美術や文化を紹介した。

※本展は2020年開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本会期へ延期した。

巡回先：なし(自主企画展)

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

特別協賛：清水銀行

助成：芸術文化振興基金

観覧料：一般 1,300円(1,100円)

大高生・70歳以上 900円(700円)

※()内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

※2回目以降、本展有料観覧券半券提示で当日券200円引きとなるリピーター割引を実施

観覧者数：6,895人(有料4,160人、無料2,735人、有料率60.33%)

出品点数：85点

制作物：

1)チラシ

<仕様>紙：MTA+-FS 110kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折り(仕上A4) 65,000部

2)ポスター

<仕様>紙：MTA+-FS 135kg

サイズ・数量：B1 55部、B2 2,050部、B3 2,750部(うち400部はJR帯つき)



チラシ表面



チラシ裏面



チラシ中面



B1・B2ポスター



B3ポスター

カタログ：

<仕様>225×300mm、131頁



カタログ表紙

カラー図版143点

参考図版(カラー65点、モノクロ76点)

日比野秀男「描かれた東海道の名所と宿場」

大高洋司「十団子」は食物か」

吉田恵理「コラム 金有声筆《山水花鳥図押絵貼屏風》(清見寺蔵)に思う」

大石沙織「東海道図屏風におけるマッケンジー本の位置付け」

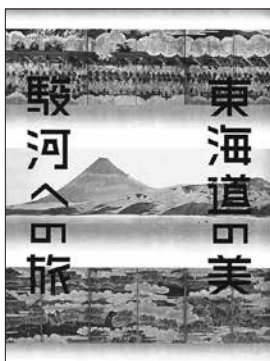
作品解説／署名・印章／関連年表／絵師生没年表／出品目録

編集・発行：静岡市美術館

発行年：2020年

別冊図録：

<仕様>225×297mm、14頁



別冊図録表紙

カラー図版9点

大石沙織「研究ノート 東海道図屏風に描かれたもの—系統の類別と宿場のイメージ」

作品解説／出品目録

編集・発行：静岡市美術館

発行年：2023年

普及ツール：

1)富士山の日特典の実施

2月23日に本展を観覧した先着100名に、歌川広重のポストカードを進呈した。

各種連携：

1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗で、展覧会入場者への優待サービスの実施、本展に合わせた特別メニューの提供を行った。

制作物：

◆チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 4,000部



協賛チラシ表面



協賛チラシ裏面

2)静岡市東海道広重美術館との相互特典の実施

当館で広重美術館の半券を提示すると、広重グッズをプレゼント、広重美術館で当館の半券を提示すると入館料を割引する相互特典を会期中実施した。

利用者数：38人

3)市内図書館との連携

本展にあわせ、市中央図書館では1月6日(金)から2月21日(火)まで、特集コーナーが設置された。



主要広報記録：

1) テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」SBSテレビ『BUZZ』、1月13日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSテレビ『BUZZ』、1月20日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSラジオ『IPPO』、1月30日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSテレビ『Soleいいね!』、2月3日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『chalchalサタデー 静岡ドライブインフォーメーション』、2月4日放送。
- ・「静岡市美術館で開催「東海道的美 駿河への旅」」SBSテレビ『県内ニュース』、2月17日放送。
- ・「展覧会紹介」NHK Eテレ『日曜美術館アートシーン』、2月26日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ静岡情報館』、3月2日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSテレビ『ヨエロスン』、3月3日放送。
- ・「展覧会紹介」SBSラジオ『スパイス スクーピー』、3月15日放送。

2) 新聞

- ・大石沙織「魅力あふれる“家康の遺産”」『静岡新聞』、2月1日。
- ・鈴木美晴「東海道的美」絵画一堂に」『静岡新聞』、2月11日。
- ・橋爪充「東海道的美」屏風や絵画で 日比野氏が記念講演」『静岡新聞』、2月12日。
- ・須藤久貴「東海道的美 一堂に」『中外日報』、2月17日。
- ・「大自在」『静岡新聞』、2月25日。
- ・「舌で愉しむ“東海道”静岡のホテル特別メニュー」『静岡新聞』、3月10日。
- ・「東海道図屏風 魅力は 学芸員が美術と歴史解説」『静岡新聞』、3月15日。
- ・鈴木弘人「東海道スポット江戸気分浸って」『中日新聞』静岡版、3月21日。

3) 雑誌他

- ・「展覧会紹介」『びあMOOK 美術展びあ2022』。
- ・「東海道に花開いた美術」『美術の窓』、12月号。
- ・「東海道と街道をめぐる絵師たちの往来」『美術展完全ガイド2023』。
- ・「展覧会紹介」『和楽』、2・3月号。
- ・「展覧会紹介」『墨』、1・2月号。
- ・「展覧会紹介」『美術の窓』、2月号。
- ・「展覧会紹介」『プレーン』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『隆泉』、2023年冬号vol.75。
- ・「展覧会紹介」『中島屋ホテルズ』。
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、2月号。
- ・「展覧会紹介」『SBSテレビ・ラジオ番組表』、2023 WINTER。
- ・「展覧会紹介」『アステル』、2月号。
- ・「展覧会紹介」『富士ニュース』、22984号。
- ・「展覧会紹介」『紺屋町倶楽部通信』、2023.3-5 vol.52 春号
- ・「展覧会紹介」『すろ〜かる』、3月号。

4) ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「アートアジェンダ」、「Fashion Press」、「アダチ版画研究所「北斎今昔」」、「Live Art Japan アートブログ」、「ウェブ版「美術手帖」」、「アットエス」、「美術屋・百兵衛ONLINE」、「Sfumart」、「MIRAI」、「WOMO」、「びあポイント」、「ケイティコム 今見られる全国のおすすめ展覧会」、「美術展ナビ」



関連事業：

1)講演会①「描かれた東海道の名所と美術」

概要：静岡県内の美術研究・文化財保護に長年携わった日比野秀男氏(掛川市二の丸美術館美術館長)を講師に招き、東海道図屏風や富士山の風景、駿河の文化人と東西の絵師たちの交流など展覧会内容を一層深める内容で、作品や文化人たちの解説をいただいた。県内の文化財調査を数多く行った氏ならではの知られざるエピソードも交えた充実した内容で、参加者からは「勉強になった」など好評な意見が多かった。

日時：2月11日(土・祝)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：59人

講師：日比野秀男氏(掛川市二の丸美術館館長)



2)講演会②「マッケンジー本と駿河の文芸」

概要：東海道図屏風(マッケンジー本)のモチーフを文学の視点から解説した。はじめに本作に描かれた十団子(丸子)から『東海道名所記』の影響を示したうえで、同書や浮世草子「蚤の駕籠ぬけ」など同時代の資料から宮宿に描かれた乱闘が慶安4年(1651)の由井正雪の乱(慶安事件)の影響を受けた可能性に触れ、本作が17世紀半ばの空気を反映したものでと指摘した。分野を問わず多角的な視点で作品を見る重要性を説く質の高い講演であった。

日時：3月4日(土)14:00-15:30

会場：多目的室 参加者数：52人

講師：大高洋司氏(国文学研究資料館名誉教授)



3)美術×歴史 東海道図屏風を語る

概要：静岡市歴史博物館との初の連携事業。制作時期、享受層、目的等謎多き東海道図屏風を歴史と美術双方の視点から読み解くトークイベント。東海道の歴史に始まり、現在見つかっている東海道図屏風の種類や内容、時代背景などを紹介し、その中のマッケンジー本の位置付けや東海道図屏風の今後の研究課題などを述べた。作品への関心は高く、終了後質問が相次ぐなど好評であった。

日時：3月11日(土)14:00-

会場：多目的室 参加者数：44人



4)当館学芸員によるスライドトーク

概要：展覧会に対する理解を深めるため、当館学芸員によるスライドトークを会期中実施した。

日時：2月25日(土)14:00-

会場：多目的室 参加者数：31人

参加料：無料



出品作品リスト

- ・欠番は未出品作品。
- ・展示期間に記載のない作品は通期展示。
- ・指定品のうち、「県」は県指定文化財、「市」は市指定文化財。

第一章 描かれた東海道

作品No.	指定	作者名	作品名	時代	形状／員数	所蔵	前期	後期
第一節 東海道図屏風の世界								
1			東海道往来図屏風	室町～桃山時代(16世紀)	紙本着色 六曲一隻	奈良県立美術館		後
2			三保松原図屏風 (三保松原・蔵島図屏風のうち)	江戸時代(17世紀)	紙本着色 六曲一双のうち右隻	静岡県立美術館		後
3			駿府城下行列図屏風	元和～寛永年間(1615～44)頃	紙本着色 六曲一双	千葉市美術館		
追加1		狩野宗信	東海道五十三次図屏風	寛文年間(1661～73)頃	紙本着色 六曲一双	東京都江戸東京博物館		前
4	県		東海道図屏風(マッケンジー本)	江戸時代(17世紀)	紙本着色 六曲一双	静岡市		
5	市		伝馬朱印状 江尻宿(寺尾家文書)	慶長六(1601)年	紙本墨書 一枚	静岡市		
6		菱川師宣	東海道綱目分間之図(東海道分間絵図) 三巻	元禄三(1690)年序	紙本墨摺(筆彩後世) 一帖	静岡市東海道広重美術館		
8			東海道図屏風	江戸時代(17世紀)	紙本着色 六曲一双	大津市歴史博物館		
9			東海道図屏風	江戸時代(18世紀)	紙本着色 六曲一双	神奈川県立歴史博物館		前
10		狩野永隆	東海道図屏風	享保年間(1716～36)頃	紙本着色 六曲一双	神奈川県立歴史博物館		後
11			東海道図屏風	江戸時代(17世紀)	紙本着色 四曲一隻	個人蔵		
12	市	土佐光成	駿府鳥瞰図	宝暦四～七(1707～10)年頃	紙本着色 一面	駿府博物館		
13	市	小沼満英	三嶋宿風俗絵屏風	天保年間(1830～44)頃	紙本着色 六曲一双	三島信用金庫		
第二節 東海道の中の駿河								
15		杉谷行直筆 深田正韶賛	富士三保清見寺図	弘化三(1846)年賛	紙本墨画 一幅	清見寺		
16	県	金有声	山水花鳥図押絵貼屏風	宝暦十四(1764)年	紙本墨画 四曲一隻	清見寺		
17	県		清見寺第十一世関根主忍書簡	宝暦十四(1764)年	紙本墨書 一枚	清見寺		
18		原在正	富士山図巻 四巻	寛政八(1796)年頃	紙本着色 十四巻のうち一巻	個人蔵		前
追加2		原在正	富士山図巻 十三巻	寛政八(1796)年頃	紙本着色 十四巻のうち一巻	個人蔵		後
19	県	村松以弘	白糸瀑図	江戸時代(18～19世紀)	紙本淡彩 一幅	掛川市二の丸美術館		
20		平井顕斎	白糸瀑布真景図	天保十四(1843)年	絹本着色 一幅	浜松市美術館		前
21		渡辺華山	富峰驟雨図	天保五(1834)年	絹本墨画 一幅	学校法人 常葉大学		後
22	市	桑原黙斎	駿州用宗城墟眺望図	文化十(1813)年	絹本着色 一幅	誓願寺		
23		神戸麗山	富士図	嘉永二(1849)年	絹本淡彩 一幅	個人蔵		
24		高力猿猴庵	東街便覧図略 三～五巻	寛政七(1795)年序	紙本着色 三冊	名古屋市博物館		頁替
25		貴志忠美	寿留嘉土産	嘉永六～安政三(1853～56)年	紙本着色 三巻	西尾市岩瀬文庫		巻替
26		河村岷雪	百富士	明和八(1771)年 ※初版：明和四年	紙本墨摺 四冊	静岡県立中央図書館		
27		秋里籬庵編	東海道名所図会 三～五巻	初版：寛政九(1797)年序 ※江戸後期再版	紙本墨摺 三冊	静岡市		
28		十返舎一九	東海道中膝栗毛 二巻下、三巻上・中	享和二(1802)年序	紙本墨摺 三冊	静岡市		
29		三代歌川豊国	東海道五十三次之内 江尻 弥次良兵衛	嘉永五(1852)年	大判錦絵	静岡市		
30		三代歌川豊国	東海道五十三次之内 府中 喜多八	嘉永五(1852)年	大判錦絵	静岡市		
31		歌川国芳	見立東海道五拾三次 岡部 猫石の由来	弘化四(1847)年頃	大判錦絵三枚続	名古屋市博物館		
32		葛飾北斎	東海道五十三次 十三 沼津	文化年間(1804～18)初中期	中判錦絵	名古屋市博物館		前
33		葛飾北斎	東海道五十三次 十四 原	文化年間(1804～18)初中期	中判錦絵	名古屋市博物館		前

作品No.	指定	作者名	作品名	時代	形状/員数	所蔵	前期	後期
34		葛飾北斎	東海道五十三次 十五 吉原	文化年間(1804～18)初中期	中判錦絵	名古屋市博物館	前	
35		葛飾北斎	東海道五十三次 十六 蒲原	文化年間(1804～18)初中期	中判錦絵	名古屋市博物館	前	
36		葛飾北斎	東海道五十三次 十七 由井	文化年間(1804～18)初中期	中判錦絵	名古屋市博物館	前	
37		葛飾北斎	東海道五十三次 十八 興津	文化年間(1804～18)初中期	中判錦絵	名古屋市博物館	前	
38		葛飾北斎	東海道五十三次 十九 江尻	文化年間(1804～18)初中期	中判錦絵	名古屋市博物館		後
39		葛飾北斎	東海道五十三次 廿 府中	文化年間(1804～18)初中期	中判錦絵	名古屋市博物館		後
40		葛飾北斎	東海道五十三次 二十一 鞠子	文化年間(1804～18)初中期	中判錦絵	名古屋市博物館		後
41		葛飾北斎	東海道五十三次 二十二 岡部	文化年間(1804～18)初中期	中判錦絵	名古屋市博物館		後
42		葛飾北斎	東海道五十三次 二十三 藤枝	文化年間(1804～18)初中期	中判錦絵	名古屋市博物館		後
43		葛飾北斎	東海道五十三次 二十四 嶋田	文化年間(1804～18)初中期	中判錦絵	名古屋市博物館		後
44		歌川広重	東海道五拾三次之内 沼津 黄昏図	天保五～七(1834～36)年頃	大判錦絵	神奈川県立歴史博物館	前	
45		歌川広重	東海道五拾三次之内 原 朝之富士	天保五～七(1834～36)年頃	大判錦絵	神奈川県立歴史博物館	前	
46		歌川広重	東海道五拾三次之内 吉原 左富士	天保五～七(1834～36)年頃	大判錦絵	神奈川県立歴史博物館	前	
47		歌川広重	東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪	天保五～七(1834～36)年頃	大判錦絵	神奈川県立歴史博物館	前	
48		歌川広重	東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺	天保五～七(1834～36)年頃	大判錦絵	神奈川県立歴史博物館	前	
49		歌川広重	東海道五拾三次之内 興津 興津川	天保五～七(1834～36)年頃	大判錦絵	神奈川県立歴史博物館	前	
50		歌川広重	東海道五拾三次之内 江尻 三保遠望	天保五～七(1834～36)年頃	大判錦絵	神奈川県立歴史博物館		後
51		歌川広重	東海道五拾三次之内 府中 安部川	天保五～七(1834～36)年頃	大判錦絵	神奈川県立歴史博物館		後
52		歌川広重	東海道五拾三次之内 鞠子 名物茶店	天保五～七(1834～36)年頃	大判錦絵	神奈川県立歴史博物館		後
53		歌川広重	東海道五拾三次之内 岡部 宇津之山	天保五～七(1834～36)年頃	大判錦絵	神奈川県立歴史博物館		後
54		歌川広重	東海道五拾三次之内 藤枝 人馬継立	天保五～七(1834～36)年頃	大判錦絵	神奈川県立歴史博物館		後
55		歌川広重	東海道五拾三次之内 嶋田 大井川駿岸	天保五～七(1834～36)年頃	大判錦絵	神奈川県立歴史博物館		後

第二章 東海道が育んだ美術

作品No.	指定	作者名	作品名	時代	形状/員数	所蔵	前期	後期
56		円山応瑞	植松蘭溪像	文化七(1810)年頃	絹本着色 一幅	個人蔵		
57		白隠慧鶴	曲馬図	延享～宝暦前期(1744～53)頃	紙本着色 一幅	東京国立博物館		
58		池玉瀾筆 池大雅賛	梅花図	明和年間(1764～72)頃	紙本墨画 一幅	個人蔵		
追加3		狩野山雪	猿猴図	江戸時代(17世紀)	紙本着色 一幅	東京国立博物館		
59		曾我蕭白	山水図	安永年間(1772～81)頃	紙本墨画 二幅	東京国立博物館		
60		狩野栄信	琴棋書画図屏風	文化十三～文政九(1816～26)年	紙本着色 六曲一双	東京国立博物館	前	
追加4		円山応挙	双鶴図	天明六(1786)年	紙本着色 一幅	東京国立博物館		
追加5		円山応挙	郭子儀携小童図	寛政四(1792)年	絹本着色 一幅	東京国立博物館		後
61		円山応挙	山水図小携	寛政六(1794)年	紙本墨画 四面	東京国立博物館		
62		円山応挙	四季花鳥図	江戸時代(18世紀)	紙本着色 一幅(四面)	個人蔵		
63		呉春	山水人物図襖	寛政年間(1789～1801)後期頃	紙本着色 四面	東京国立博物館		後
64		長沢芦雪	截竹図	寛政九～十一(1797～99)年頃	紙本墨画淡彩 一幅	東京国立博物館		後
65		円山応瑞	花鳥図(藤、朝顔に小禽)	文化元(1804)年	絹本着色 一幅	個人蔵		

作品No.	指定	作者名	作品名	時代	形状/員数	所蔵	前 期	後 期
66		植松応令	西王母図	寛政九(1797)年	絹本着色 一幅	個人蔵		
67		植松応令	松群鶴図(海浜群鶴図)	寛政九(1797)年	絹本着色 一幅	個人蔵		
追加6			円山派画材		二箱	個人蔵		
68		歌川広重	東海道五十三対 原(変わり図)	弘化元~四(1844~47)年頃	大判錦絵	個人蔵		
69		岸岱	鵝図	嘉永二(1849)年	絹本着色 一幅	静岡市立蒲原図書館		
70		長沢芦洲	渡邊周珙翁夫婦之像	文政十(1827)年	絹本着色 一幅	渡邊俊介氏蔵		
71		渡邊守亮	守亮日記	天保九~十四(1838~43)年	紙本墨書 一冊	渡邊俊介氏蔵		
72		岸派	粉本	江戸時代(19世紀)	紙本墨画 三枚	渡邊俊介氏蔵		
73		白隠慧鶴	龍杖図	宝暦前期(1751~56)頃	紙本墨画 一幅	個人蔵		
74		白隠慧鶴	重離六爻	明和四(1767)年	紙本墨書 一幅	個人蔵		
75		岸岱	虎図	天保十二(1841)年	紙本墨画 一幅	個人蔵		
76		山梨鶴山	山梨稲川画像	文政九(1826)年	絹本着色 一幅	静岡県立中央図書館		
77		山梨鶴山	溪山秋色図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画淡彩 一幅	個人蔵		
78		司馬江漢	長沼村富士眺望図	文化年間(1804~18)	絹本淡彩 一幅	静岡県立美術館		
79		浦上玉堂	山水図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画淡彩 一卷	学校法人 常葉大学		
80		大塚荷溪	豆州名勝図巻	天保九(1838)年頃	紙本着色 一卷(十一図)	藤枝市郷土博物館		巻替
81		福田半香	皆梅園図屏風	江戸時代(19世紀)	紙本墨画淡彩 二曲一隻	藤枝市郷土博物館		

3. 交流事業(教育普及事業)目次

3-1 交流事業

1) Shizubi Project 8「世界は生きている 松藤孝一」	56
2) 参加型公開制作「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう！」	57
3) Shizubi シネマアワー	58
4) しずびオープンアトリエ	59
5) しずびチビッコプログラム	60
6) 暦とあそぶワークショップ	61
7) プレゼントワークショップ	62
8) 夜店市	63

3-2 連携事業

1) ミュージアム教室・展示解説	64
2) 生涯学習センター・静岡市美術館連携事業「しずび出前講座」	65
3) 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業(三館共同事業)	67
4) その他施設との連携	67

3. 交流事業(教育普及事業)

3-1 交流事業

1) Shizubi Project 8「世界は生きている 松藤孝一」

概要：多くの人が行きかうエントランスホールの開放的な空間で、現代のさまざまな美術の姿を紹介してきたShizubi Project。第8回は、ガラスを素材に人間と自然環境の関係性を見つめてきた松藤孝一(1973-)の作品を展示した。

溶解炉のなかで変幻自在に形を変えるガラスに魅せられた松藤は、2011年の東日本大震災で発生した原発事故をきっかけにウランガラスを扱うようになった。大小様々な形の集合体は、ビルが整然と立ち並ぶ都市を思わせ、穏やかな佇まいをみせる。しかしそこにUVライトを当てると一転、怪しく蛍光色に発光する。相反するその表情や、行き過ぎた力が加わると割れてしまうガラスの脆さはそのまま、人間の関わり方次第で恩恵にも脅威にもなりうるウランそのものの危うさへとつながる。

本展では、松藤の代表作であるウランガラスによるインスタレーション《世界の終わりの始まり》や、希ガスを閉じ込めたガラス作品、さらに気泡ガラスをレンズに使った写真や静岡の波の音とガラスを組み合わせた新作も発表した。人間よりも遙かに長い歴史を持つ元素や自然と関わり合いながら世界の深遠さに迫り、自らの立脚地を探し求める作家の試みを紹介した。

会期：1月17日(火) - 3月5日(日)

観覧者数：21,818人

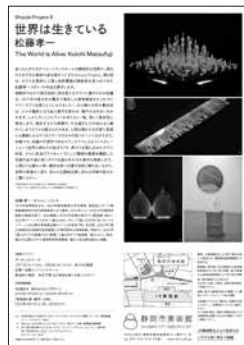
制作物

◆チラシ

＜仕様＞紙：モフル ミルク 90kg
サイズ・数量：A4 13,000部



チラシ表面



チラシ裏面

作品リスト：

1. 《世界の終わりの始まり》2023年、ウランガラス、ギフトチョウ(1970-80年代の標本)、テーブル
2. 《世界の終わりの始まり》2023年、ウランガラス
3. 《僕は昔、美しいガラスだった。》2017年、ガラス、希ガス、水銀、無電極放電
4. 《風が波を奏でる》2022年、ガラス、コンクリートブロック、スピーカー、アンプ、デバイス、録音場所：三保内浜、静岡市
5. 《空を旅する》2022年、フォトアクリルマウント
 - 5-1 撮影場所：茶畑、掛川市
 - 5-2 撮影場所：静岡駅付近、静岡市
 - 5-3 撮影場所：浜岡砂丘、御前崎市
 - 5-4 撮影場所：静岡駅付近、静岡市
 - 5-5 撮影場所：岩淵史跡公園、富士市

※すべて作家蔵

主要広報記録：

◆新聞

- ・橋爪充「生」と「もろさ」ガラスで表現『静岡新聞』(夕刊)、1月31日。
- ・福本真理「ガラスで描く環境とのかかわり」『佐賀新聞』、1月31日。

◆雑誌他

- ・「展覧会紹介」『和楽』、2・3月号。
- ・「展覧会紹介」『炎芸術』、No.153。

◆ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「ウェブ版」美術手帖」

カタログ：

＜仕様＞150×205mm、63頁



カタログ表紙

カラー図版25点

参考図版(モノクロ)20点)

榎木野衣「息吹と風読み—松藤孝一と世界の終わりの始まりをめぐるって」

松藤孝一「世界は生きている」

伊藤 鮎「世界をうつすガラス／松藤孝一の作品について」

出品リスト／略歴／展覧会概要

執筆：松藤孝一、榎木野衣(美術批評家)、伊藤鮎(静岡市美術館学芸員)

翻訳：パメラ・ミキ・アソシエイツ

編集・発行：静岡市美術館

発行：2023年

関連事業：

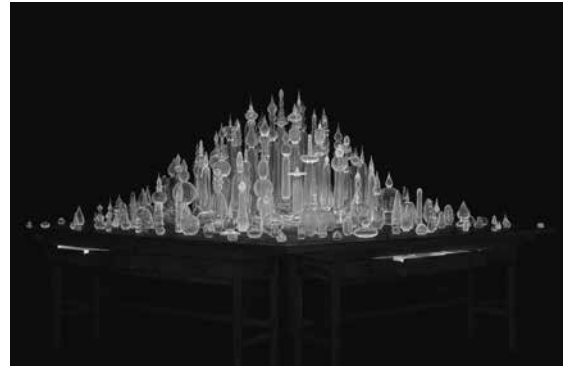
◆アーティストトーク

概要：初日と最終日に作家によるアーティストトークを開催した。1回目は平日午前の実施にも関わらず20人、最終日は35人の参加があった。作品のコンセプトやガラスの制作方法について直接作家から話が聞ける機会に参加者は熱心に耳を傾け、多くの質疑が交わされた。初日は静岡新聞の取材も入り、1月31日の夕刊で大きく取り上げられた。

日時：①1月17日(火)11:00-、②3月5日(日)14:00-

会場：エントランスホール 参加者数：計55人





2)参加型公開制作「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう！」

概要：本事業は開館10周年を記念し実施する予定だったが、感染拡大の影響で中止となり2年越しに開催した。参加者は1cm角のモザイクタイルに家族の顔を描き、講師の柿木原氏がそれを土台に配置し貼り付けた。当日は113名が参加し845枚のタイルが集まった。タイルに皆で顔を描くという柿木原氏ならではの発想と、当館の特色である手作りの案内サインを融合したオリジナリティ溢れる事業となった。なお、作品は完成後館内に展示した。

日時：10月2日(日)13:00-16:00

講師：柿木原政広氏(アートディレクター)

会場：多目的室

対象・参加者数：どなたでも 113人

参加料：無料



3)Shizubi シネマアワー

(1)Shizubi シネマアワー vol.29

「タイムトラベル、美しき時代のパリへ！」

概要：「スイス プチ・パレ美術館展 花ひらくフランス絵画」にあわせ、ベル・エポックのパリを舞台に繰り広げられる2本の映画を上映した。

日時：①5月7日(土) ②5月8日(日)
いずれも14:00- (開場13:30)

上映内容：

①『シラノ・ド・ベルジュラックに会いたい!』(アレクシス・ミシャリク監督/2018年/フランス/112分)

②『ディリリとパリの時間旅行(字幕版)』(ミッシェル・オスロ監督/2018年/フランス、ベルギー、ドイツ/94分)

会場：多目的室 参加者数：①46人 ②43人

参加料：いずれも500円

企画協力：(株)サールナートホール



告知チラシ(当館作成)

(2)Shizubi シネマアワー vol.30

「チェコのアニメーション」

概要：新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった第26回のプログラム、チェコのアニメーションをオムニバス上映した。

日時：3月21日(火・祝)

①11:00- (開場10:30) ②14:00- (開場13:30)

上映内容：

①「極上の人形アニメの世界」(計61分)

『真夜中の大冒険』(監督 ブジェチスラフ・ポヤル/美術 イジー・トルンカ/1960年/13分)

『小さな道化師ファンファロン』(監督 ブジェチスラフ・ポヤル/美術 K・クレイチャー /1968年/16分)

『リトルアンブレラ』(監督 ブジェチスラフ・ポヤル/美術/イジー・トルンカ/1957年/18分)

『りんごのお姫様』(監督 ブジェチスラフ・ポヤル/美術 ミロスラフ・シュチェパーネク/1973年/14分)

②「かわいいチェコアニメの世界」(計74分)

『ちびとらちゃん』(美術 ヨゼフ・パレチェク/1976年/12分)

『けしのみ太郎〜ハチミツとりの名人はだれ?〜』(美術 ヨゼフ・パレチェク/1982年/7分)

『けしのみ太郎〜キノコとりの名人はだれ?〜』(美術 ヨゼフ・パレチェク/1982年/7分)

『ネコの学校』(監督 ブジェチスラフ・ポヤル/美術 ミロスラフ・シュチェパーネク/1961年/15分)

『知りたがりワンちゃんと水』(監督・美術 ズデニェック・ミレル/1960年/9分)

『アオネコとともだち』(監督・美術 ズデニェック・ミレル/1959年/14分)

『コロロギくんとバイオリン』(監督・美術 ズデニェック・ミレル/1978年/5分)

『アマルカ〜冬を迎えた日〜』(監督・美術 ヴァーツラフ・ベドジフ/1973年/7分)

会場：多目的室 参加者数：①55人 ②62人

参加料：いずれも500円

企画協力：(株)サールナートホール



告知チラシ(当館作成)

4)しずびオープンアトリエ

概要：春・夏の年2回、開催中の展示会にあわせて実施する、鑑賞と創作が一体となったオリジナルワークショップ。地元の大学生による「学生ボランティア」が制作をサポートする。

※コロナ対策のため学生ボランティアの導入は取り止め

(1)「粘土で刀の鐔形(つばがた)コースターをつくろう」

概要：コロナ感染者の爆発的な増加を受け感染症対策をより強化して実施。初日より参加希望者が開館前より並んだことから急遽整理券配布を導入。ほぼ全日が早い段階で完売となり関心度の高さが窺えた。鐔形を粘土で制作するにあたり、茎穴・小柄櫃穴・笄櫃穴といったオリジナルの抜型を軸に、既存抜型のほか、様々な鐔を参考に作成した型紙を用いるなどして鐔ならではの透かしを表現。自由度の高い内容で好評を得た。

日時：8月12日(金)～21日(日)

いずれも ①13:30～ ②15:00～

(各回約1時間、計10日間・20回実施)

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上 計153人(各回定員10人)

参加料：200円(材料費含む)

主要広報記録：

◆新聞

・島田莉菜「刀の鐔”でお茶飲もう 粘土でコースター作り」『静岡新聞』、8月13日。



(2)「纏網彩色(うんげんさいしき)に挑戦!色鮮やかな文様を描こう」

概要：大人を中心に計102人の参加があった。アンケートからは「無心になり集中して制作できて楽しかった」など、本シリーズ初の試みとなる「彩色」が好評であったことが窺えた。また、これまで制作工程の説明には紙の「作り方ガイド」を用意してきたが、今回よりスタートした配信用動画を聞いたところ「わかりやすかった」という意見が多く寄せられ、同時に事業のスムーズな進行為可能となった。

日時：2月25日(土)～3月19日(日)の毎週土曜・日曜日

いずれも ①13:30～ ②15:00～

(各回約1時間、計8日間・16回実施)

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上 計102人(各回定員10人)

参加料：200円(材料費含む)

主要広報記録：

◆ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「静岡信用金庫LINE配信」



(3)「おうちで!しずびオープンアトリエ(動画配信+貸出キット)「纏網彩色に挑戦!色鮮やかな文様を描こう」

概要：当館初の試みとなる動画配信をスタートした。今回の内容を体験するためには道具や絵の具を指定する必要があり「貸出キット」を用意した。利用者にはワークショップ参加者の他、放課後等デイサービスなども見られ手ごたえを感じている。また、ワークショップで「もっと時間が欲しかった」という参加者には動画配信を案内し、時間を気にせず制作したい利用者の要望に応えることができた。

開始日時：2月25日(土)10:00

参加者数：41人

貸出キット価格：1作品につき200円



5)しずびちピッコプログラム

概要：2歳以上の未就学児を対象とした、鑑賞に基づく制作プログラム。保護者は展覧会を見学する。展覧会毎に様々なアプローチで未就学児の表現の可能性を引き出している。市内保育支援団体の協力を得て実施。(保護者は要観覧券)

(1)「スイス プチ・パレ美術館展 花ひらくフランス絵画」

5月28日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

(2)「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語」

概要：コロナ感染者の爆発的な増加を受け感染症対策をより強化して実施。同時期に開催したオープンアトリエの内容を踏襲し粘土で鐺形のコースターを制作した。鐺ならでの透かしの表現に主眼を置き、アルミ板で事前に作成した鐺を象徴する3つの穴、茎穴・小柄櫃穴・笄櫃穴の抜型を軸に、丸、三角、四角や花びら形などの大きささまざまな既存抜型を使って粘土を切抜き、模様を描いたり様々な道具を押し当てるなどして自由にデザインした。

日時：8月27日(土)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計15人

参加料：子ども1人につき500円



(3)「出版120周年 ピーターラビット™展」

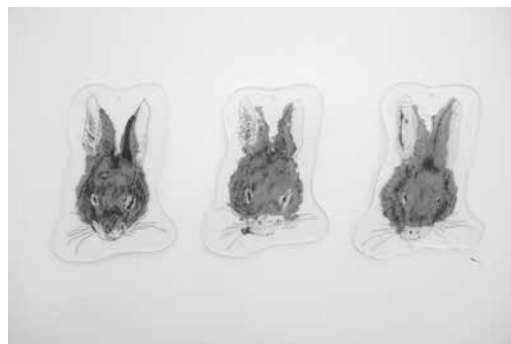
概要：前回に引き続き、定員の削減、消毒可能なマットや飛沫防止シールドの導入など様々な対策を講じて実施した。プログラムは「出版120周年 ピーターラビット™展」に合わせ、ビアトリクス・ポターの《ウサギの頭部習作》を油性ペンでプラバンに模写してウサギの描き方を体験し、アクリル絵の具で着色後、焼成して仕上げた。

日時：10月23日(日)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計14人

参加料：子ども1人につき500円



(4)「杉浦非水 時代をひらくデザイン」

概要：「杉浦非水 時代をひらくデザイン」展に合わせ、非水が装丁を手がけた『子宝』(巖谷季雄編、明治42年初版)を参考に製本・ブックデザインに挑戦した。本書の表紙デザインには、縦糸と横糸が交差してできたマス目を塗りつぶしタイトルを表した意匠が見られる。これを参考に、参加者も1マスずつペンで塗りつぶし表紙に各々の名前を描き入れた。見返しには消しゴムハンコで色とりどりの模様をあしらひ、最後に製本して仕上げた。

日時：1月7日(土)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計13人

参加料：子ども1人につき500円



(5)「東海道之美 駿河への旅」

概要：東海道展に合わせて、エントランスに常設している漆工芸作品「東海道五十三次ひとめ図」を取り上げた。本作にみられる伝統工芸の技法を子どもでも安心して体験できるよう材料や道具に工夫を凝らし、螺鈿と蒔絵の技法を追体験した。参加者はモニターでひとめ図や出品作品の富士山を鑑賞した後、貝の真珠層をシート状にしたものをハサミで切り富士山を表現した。その周りには専用のペンで駿河湾などを描き、金色の粉末を蒔き付け仕上げた。

日時：3月25日(土)①10:30-12:00 ②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計17人

参加料：子ども1人につき500円

主要広報記録：

◆新聞

・白鳥孝暉「螺鈿細工 上手にできた」『静岡新聞』、3月26日。



6) 暦とあそぶワークショップ

概要：祭事や年中行事を通して季節を感じ、それをかたちにするワークショップシリーズ。暦の本来の意味や歴史を学びながら制作する。

(1) 暦とあそぶワークショップvol.22

「七夕の準備をしよう！」

概要：

子ども編：冒頭のレクチャーでは、モニターで七夕を描いた様々な絵画を鑑賞しながら、地域や時代によって異なる七夕の風習や飾り物の変遷を紹介した。その後、梶の葉形の和紙に5色の紙と紐を掛けた「梶の葉飾り」と、和紙で小さな着物を形作った「七夕紙衣」を制作した。紙衣には17種類の柄の友禅和紙を用意した。アンケートには「毎回家に帰って制作物を自慢気に解説してくれるので参加してよかったと思う」等の意見が見られた。

大人編：子ども編同様に、梶の葉の形に切り抜いた和紙に5色の色紙と紐を施した「梶の葉飾り」と、和紙で小さな着物を形作った「七夕紙衣」を制作した。参加者には13歳から82歳まで幅広い年齢層の姿が見られ、皆黙々と制作に没頭する姿が印象的であった。アンケートの参加理由の欄を見ると、制作物の内容にちなみ和裁士を目指す方や、梶の木の渡来経路に関する解析の仕事をしている方など、さまざまな視点から本事業に興味関心を持った参加者がいたことが窺えた。

日時：①子ども編 7月3日(日) 10:30-12:00

②大人編 7月3日(日) 14:00-15:30

会場：いずれもワークショップ室

対象・参加者数：①小学生13人 ②中学生以上12人

参加料：いずれも1人につき500円(材料費含む)

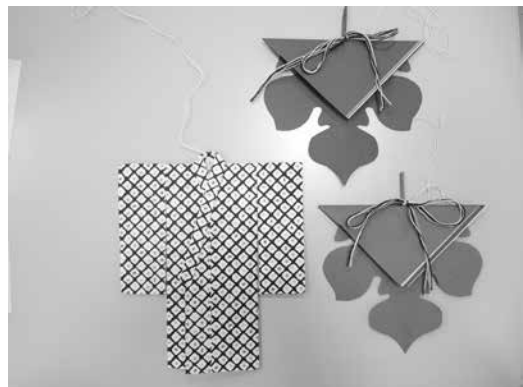
主要広報記録：

◆新聞

・沢口翔斗「七夕飾り 和紙で挑戦」『静岡新聞』、7月4日。



子ども編



大人編

(2) 暦とあそぶワークショップvol.23

「節分の準備をしよう！」

概要：導入のレクチャーでは節分の由来や鬼の特徴を紹介した。その後賤機焼による鬼福を皆で鑑賞し、外側は鬼面の形をし、内側にはお多福が描き込まれたその特徴的な造形を確認した。内側には粘土と水を混ぜ合わせた「どべ」を用い、鬼面とのギャップを楽しみながら柔和な表情のお多福を描いた。本事業には小学校低学年から年配層まで幅広い世代の参加があり、互いの作品を見比べ意見交換するなど、終始和やかな雰囲気となった。

日時：1月21日(土) 13:00-16:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上 10人

参加料：1人につき500円(材料費含む)



(3) 暦とあそぶワークショップvol.24

「ひな祭りの準備をしよう！」

概要：今回は兄弟や親子、夫婦などの同世代2人1組での参加とし、男雛、女雛のいずれかを制作した後、屏風や台座も含めた合作による立雛づくりを行った。松や藤、鶴といった吉祥文様を参考に着物をデザインし、絵の具やペンで描いた。屏風や台座は和の色や柄のマスキングテープで装飾した。小学生らは屏風に鶴や富士山といった着物のデザインと呼応するモチーフを大胆に描き加えるなど、各組のアイデアや個性が光る立雛一対が完成した。

日時：2月18日(土) 13:00-16:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上の親子または夫婦など 14人

参加料：1人につき500円(材料費含む)



7) プレゼントワークショップ

概要：子どもたちの創作意欲の原点である、家族や大切な人への想いをかたちにするという行為に焦点を当て、記念日にあわせて実施。プレゼントを「つくって、贈る」ことから生まれるコミュニケーションに主眼を置く。

(1) プレゼントワークショップvol.36

「母の日だ！親子でプレゼントをつくろう」

概要：今回はお母さんとの思い出をシルクスクリーンで表現した。子どもたちの描いた下絵をもとに親子で協力しながら製版し、配色やレイアウトを考えながらプリントした。今回は薬剤を使用せず、切ったりちぎったりした薄紙をそのまま版に使用方法を採用。これにより低学年の参加者でも安全に、かつ限られた時間の中で3版摺り重ねることができた。アンケートには「子どもの発想が膨らんでいく様子が、自分の子だけでなく周りの子どもたちにも見られとても楽しかった」等の意見が寄せられた。

日時：5月8日(日)13:00-16:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上の親子 7組15人

参加料：1人につき500円(材料費含む)

主要広報記録：

◆テレビ

・「母の日」親子ワークショップ」Daichi-TV『県内ニュース』、5月8日放送。

◆新聞

・伊豆田有希「母の日エコバッグ手作り」『静岡新聞』、5月10日。



(2)プレゼントワークショップvol.37

「父の日だ！親子でプレゼントをつくろう」

概要：今回はお父さんとの思い出をシルクスクリーンで表現した。母の日を上回る28組64人の申込みがあり8組17人が参加した。今回は全体的に凝った図案が多く製版に手間取ったが、分版の考え方を一組ずつに図解しながら伝えることでそれぞれの下絵や色味のこだわりを最大限生かせるよう配慮した。参加者アンケートには「子どもメインでと思っていたが、気づいたら親も夢中になって楽しんでた」等の意見が寄せられた。

日時：6月19日(日)13:00-16:30

会場：ワークショップ室

対象・参加者数：小学生以上の親子 8組17人

参加料：1人につき500円(材料費含む)



(3)プレゼントワークショップvol.38

「クリスマスの小さな妖精“トムテ”をつくろう！」

概要：

子ども編：トムテの登場する絵本をいくつか鑑賞しイメージを膨らませてから制作に入った。トムテは農場に住み家畜の世話をすることから材料には羊の毛(羊毛)を使用し、全長25cm程度の人形を1人2体制作した。参加者は色とりどりの羊毛の中から好きな色を選んでフェルト化し、トムテのトレードマークであるとんがり帽子や洋服を形作った。フェルトの色合いや顔のパーツの位置で一体一体表情が変わり、個性豊かなトムテが完成した。

大人編：大人編のワークショップでは過去最多となる79名の申し込みがあり、近年日本でも目にする機会の増えたトムテへの関心の高さが窺えた。導入のレクチャーではスウェーデン、デンマーク、フィンランド等のトムテにまつわる絵本を鑑賞し、地域によって異なるその呼び名や特徴などを紹介した。本事業には14歳から81歳と幅広い世代が参加し、細部にまでこだわった大人編ならではの質の高い作品が完成した。

日時：①子ども編 12月10日(土)

②大人編 12月11日(日)

いずれも 13:00-16:30

会場：いずれも ワークショップ室

対象・参加者数：①小学生11人 ②中学生以上13人

参加料：いずれも 1人につき500円(材料費含む)



子ども編



大人編

8)夜店市

概要：中央商店街恒例のイベント「夜店市」へは、新型コロナウイルス感染症流行状況を鑑み、不参加とした。

3-2 連携事業

1)ミュージアム教室・展示解説

概要：当館では、学校や生涯学習センター等からの団体を対象にして、展覧会担当学芸員が直接解説する鑑賞教室に力を入れている。幼稚園・保育園児～高校生については、子どもたちと当館学芸員等が対話形式で展覧会鑑賞を行う「ミュージアム教室」として実施。子どもたち自身が作品の魅力を発見し、考えるよう促すことで、美術を身近で楽しいものと感じることを目指すとともに、美術館でのマナーも学習することを目的とする。大学・専門学校生、および生涯学習センター・生涯学習交流館等の事業参加者については、展覧会の見どころを中心とした「展示解説」として実施している。

対象：＜ミュージアム教室＞幼稚園・保育園児～高校生
 ＜展示解説＞大学生・専門学校生～一般

実施内容・所要時間(共通)：

スタッフの解説30分+自由鑑賞30分 計60分



利用状況：

◆ミュージアム教室利用状況

	幼稚園・保育園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校 特別支援学級		児童クラブ等		展覧会合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
スイス プチ・バレ美術館展 花ひらくフランス絵画	0	0	0	0	8	258	9	216	0	0	0	0	17	474
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵-武者たちの物語	0	0	0	0	7	168	8	105	0	0	0	0	15	273
出版120周年 ピーターラビット™展	2	97	2	56	6	119	5	145	0	0	3	33	18	450
杉浦非水 時代をひらくデザイン	0	0	0	0	4	53	3	18	0	0	0	0	7	71
東海道の美 駿河への旅	0	0	0	0	2	136	1	7	0	0	0	0	3	143
計	2	97	2	56	27	734	26	491	0	0	3	33	60	1,411

計 60団体 1,411人

◆展示解説利用状況

	大学・専門学校		生涯学習センター 生涯学習交流館		その他		展覧会合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
スイス プチ・バレ美術館展 花ひらくフランス絵画	1	29	0	0	0	0	1	29
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵-武者たちの物語	1	42	2	40	1	75	4	157
出版120周年 ピーターラビット™展	1	11	4	79	2	123	7	213
杉浦非水 時代をひらくデザイン	1	22	1	6	0	0	2	28
東海道の美 駿河への旅	0	0	0	0	2	46	2	46
計	4	104	7	125	5	244	16	473

計 16団体 473人

2)生涯学習センター・静岡市美術館連携事業

「しずび出前講座」

概要：「しずび出前講座」は、開催中の展覧会にかかわらず、生涯学習センターに当館学芸員を講師として派遣し、座学やワークショップを実施する連携講座。本年度は15講座を実施した。

①南部生涯学習センター

「絵本の絵を読む」

概要：絵本の絵の魅力について、ロングセラー絵本を例に多角的に紹介した。登場人物の心理描写や細部に描かれたサイドストーリー、独特の色合いや画材の質感など、絵本の絵には物語を視覚化しただけではないたくさんの魅力がある。その具体例を絵本の細部を見せつつ解説できるよう、スクリーンに絵本を大写しにし、読み聞かせを交えながら紹介した。アンケートには続編を望むことが複数寄せられ、高い満足度を得ることができた。

日時：6月4日(土)10:00-11:30

会場：南部生涯学習センター 参加者数：29人

講師：安岡真理

②高齢者学級みのり大学 城内学級での講義

「フランス風景画の歴史」

概要：17世紀から19世紀のフランスにおける風景画の変遷を取り上げた講座。古典主義から印象派に至る西洋美術史の流れの中で、風景画ジャンルが発展していく過程をたどりつつ、ニコラ・プッサンやピエール＝アンリ・ド・ヴァランシエンヌ、クロード・モネといった重要な画家を紹介した。また、個々の風景表現の特性や制作方法についても解説した。

日時：7月14日(木)9:30-11:45

会場：葵生涯学習センター 参加者数：34人

講師：深尾茅奈美

③高齢者学級みのり大学 草深学級での講義

「フランス風景画の歴史」

概要：17世紀から19世紀のフランスにおける風景画の変遷を取り上げた講座。古典主義から印象派に至る西洋美術史の流れの中で、風景画ジャンルが発展していく過程をたどりつつ、ニコラ・プッサンやピエール＝アンリ・ド・ヴァランシエンヌ、クロード・モネといった重要な画家を紹介した。また、個々の風景表現の特性や制作方法についても解説した。

日時：7月19日(火)13:15-15:30

会場：葵生涯学習センター 参加者数：51人

講師：深尾茅奈美

④葵生涯学習センター

「武者絵の魅力」

概要：静岡市美術館の学芸員によるしずび出前講座。展覧会「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵」にあわせ、1回目は生涯学習センターで武者絵をテーマに座学を、2回目は美術館で刀剣を中心に解説と美術館賞を行った。

日時：①7月22日(金) ②7月29日(金)

いずれも10:30-12:00

会場：①葵生涯学習センター ②当館 参加者数：計45人

講師：①大石沙織、②高橋哲也

⑤高齢者学級みのり大学 東部学級での講義

「日本画と写生―竹内栖鳳を中心に」

概要：竹内栖鳳が得意とした動物画に着目し、虎、獅子、猫を主題とする作品を取り上げ、写生という観点からその革新性や伝統との繋がりを解説した。

日時：7月26日(金)10:00-11:30

会場：東部生涯学習センター 参加者数：49人

講師：山本香瑞子

⑥西部生涯学習センター

「ボストン美術館の名刀」

概要：1回目の座学では、ボストン美術館に日本美術コレクションが形成された背景について説明するとともに、同館が所蔵する日本刀の名品の見どころを解説した。2回目は美術館で武者絵の歴史や各作品の物語について解説した後、各自展覧会を鑑賞していただいた。

日時：①8月2日(火) ②8月9日(火)

いずれも13:30-15:30

会場：①西部生涯学習センター ②当館 参加者数：計30人

講師：①高橋哲也、②大石沙織

⑦高齢者学級みのり大学 青葉学級での講義

「フランス絵画の歴史」

概要：17世紀から19世紀のフランスにおける風景画の変遷を取り上げた講座。古典主義から印象派に至る西洋美術史の流れの中で、風景画ジャンルが発展していく過程をたどりつつ、ニコラ・プッサンやピエール＝アンリ・ド・ヴァランシエンヌ、クロード・モネといった重要な画家を紹介した。また、個々の風景表現の特性や制作方法についても解説した。

日時：8月4日(木)13:15-15:30

会場：葵生涯学習センター 参加者数：36人

講師：深尾茅奈美

⑧北部生涯学習センター

「絵本の絵を読む」

概要：絵本の絵の魅力について、ロングセラー絵本を例に多角的に紹介した。登場人物の心理描写や細部に描かれたサイドストーリー、独特の色合いや画材の質感など、絵本の絵には物語を視覚化しただけではないたくさんの魅力がある。その具体例を絵本の細部を見せつつ解説できるよう、スクリーンに絵本を大写しにし、読み聞かせを交えながら紹介した。アンケートには続編を望むことが複数寄せられ、高い満足度を得ることができた。

日時：9月14日(水)14:00-15:30

会場：北部生涯学習センター 参加者数：20人

講師：安岡真理

⑨長田生涯学習センター

「『ピーターラビットのおはなし』の世界」

概要：「出版120周年 ピーターラビット™展」にあわせ実施。1回目の座学では、『ピーターラビットのおはなし』が生まれるまでの秘話や出版後の版による違い、作者ビアトリクス・ポターが愛した湖水地方について紹介した。2回目は、多様に広がるピーターラビットの世界とその魅力について紹介した後、各自展覧会を鑑賞した。今なお愛される絵本にまつわる様々な側面が紹介でき、参加者からも熱心な感想をもらった。

日時：①9月29日(木) ②10月6日(木)

いずれも14:00-15:30

会場：①長田生涯学習センター ②当館 参加者数：計15人

講師：伊藤結

⑩高齢者学級みのり大学 大里学級での講義

「日本画と写生-竹内栖鳳を中心に」

概要：竹内栖鳳が得意とした動物画に着目し、虎、獅子、猫を主題とする作品を取り上げ、写生という観点からその革新性や伝統との繋がりを解説した。

日時：10月6日(木)13:30-15:30

会場：大里生涯学習センター 参加者数：21人

講師：山本香瑞子

⑪西奈生涯学習センター

「『ピーターラビットのおはなし』の世界」

概要：「出版120周年 ピーターラビット™展」にあわせ実施。1回目の座学では、『ピーターラビットのおはなし』誕生までの道のりを、作者ビアトリクス・ポターが生きた時代背景とともに紹介した。2日目では、商才に長け、その収益を自然保護活動に捧げたビアトリクスのもう一つの側面などを紹介した後、各自展覧会を鑑賞した。「講義を受けることで展示物についてより深く知れ楽しめた」等の感想が寄せられた。

日時：①10月7日(金) ②10月14日(金)

いずれも14:00-15:30

会場：①西奈生涯学習センター ②当館 参加者数：計35人

講師：伊藤鮎

⑫大里生涯学習センター

「彩色木彫家・平野富山ー知られざるその全容」

概要：日本近代彫刻史の中であまり知られていない、静岡市出身の彩色木彫家・平野富山を取り上げ、その仕事の全容に触れた。約半世紀にわたった平櫛田中の彩色パートナーとしての関係性を軸に、自身の彩色木彫や西洋彫刻など、多岐にわたる作品を紹介し、静岡ゆかりの作家の紹介に努めた。

日時：10月12日(水)19:00-21:00

会場：大里生涯学習センター 参加者数：31人

講師：太田紗世

⑬高齢者学級みのり大学 西奈学級での講義

「彩色木彫家・平野富山ー知られざるその全容」

概要：日本近代彫刻史の中であまり知られていない、静岡市出身の彩色木彫家・平野富山を取り上げ、その仕事の全容に触れた。約半世紀にわたった平櫛田中の彩色パートナーとしての関係性を軸に、自身の彩色木彫や西洋彫刻など、多岐にわたる作品を紹介し、静岡ゆかりの作家の紹介に努めた。

日時：11月30日(水)13:30-15:30

会場：西奈生涯学習センター 参加者数：35人

講師：太田紗世

⑭高齢者学級みのり大学 藁科学級での講義

「彩色木彫家・平野富山ー知られざるその全容」

概要：日本近代彫刻史の中であまり知られていない、静岡市出身の彩色木彫家・平野富山を取り上げ、その仕事の全容に触れた。約半世紀にわたった平櫛田中の彩色パートナーとしての関係性を軸に、自身の彩色木彫や西洋彫刻など、多岐にわたる作品を紹介し、静岡ゆかりの作家の紹介に努めた。

日時：12月8日(木)9:30-11:15

会場：藁科生涯学習センター 参加者数：40人

講師：太田紗世

⑮藁科生涯学習センター

「グラフィックデザインの先駆者・杉浦非水」

概要：杉浦非水展の開催にちなんだ2回講座。1回目は非水の略歴と時代背景を中心に講義し、2回目は展覧会の構成と出品作品の見どころを解説した。

日時：①12月9日(金) ②12月16日(金)

いずれも10:00-11:30

会場：①藁科生涯学習センター ②当館 参加者数：計9人

講師：山本香瑞子

3)静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業(三館共同事業)

概要：JR静岡駅前に位置する静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・る、静岡市美術館が特徴を活かして、音楽、科学、美術の境界を越え、総合的な文化空間の創造を目指して連携実施する事業。本年度は2事業を実施した。

(1)静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業

科学教室「もっと知りたい日本刀の世界」

概要：美術品としての刀だけでなく、刀の原料や製作工程、保存方法など科学的な側面を取り上げて紹介した。刀の手入れ、保管方法の実演は、普段は近くで見ることができない刀を間近に見ることができ、参加者の関心が高く大変好評だった。合わせて鉄はなぜ錆びるのか実験を行い、大人から子供まで興味を持って熱心に講座に参加する様子が見られた。連携事業ならではの科学館と美術館の専門性を活かした講座を展開することができた。

日時：7月23日(土)10:00-12:00

会場：静岡科学館る・く・る **参加者数：**17人

講師：当館学芸員、静岡科学館企画担当

(2)静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業/静岡室内楽フェスティバル2022

ミュージアム・コンサート「朗読とリコーダー四重奏で聴くピーターラビット™」

※26頁を参照

4)その他施設との連携

(1)Kids Art Project Shizuoka

概要：令和4年4月～令和5年3月末まで、「Kids Art Project Shizuoka 実行委員会」に参画、県内の小学生全児童に参加各館のオリジナルスタンプを集めるスタンプラリー付の「しずおかミュージアムパスポート」を配布した。

実施期間：4月1日(金)～3月31日(金)

対象：静岡県内の全小学生(530校・約17万人)

加盟館：静岡県内の美術館・博物館 計41館

利用者数(当館分のみ)：612人



4. 受託事業等

4-1 受託事業等

1) 特集展示 竹久夢二展

概要: 静岡市美術館が所蔵する竹久夢二作品(志田コレクション)を、蒲原の旧五十嵐歯科医院(旧五十嵐邸)を会場に公開してきたが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策の観点から当館多目的室にて開催した。本年は、夢二と同時代に活躍した杉浦非水の展覧会と会期を重ね、夢二のデザイナー的な側面に焦点をあてた。志田コレクションの装丁本や楽譜などに加え、夢二と非水が同時に掲載されている雑誌等も個人コレクターの協力を仰ぎ紹介した。アンケートに「杉浦非水展と対比して見ることで勉強になった」との声が寄せられるなど、関心層を意識した会期により好評を得た。

会期: 11月29日(火) - 12月4日(日)

会場: 多目的室

来場者数: 3,204人

展示内容: 志田コレクションより

I. イントロダクション—セノオ楽譜と日本画

1. 竹久夢二装画、ビゼー作曲、堀内敬三訳詞《セノオ楽譜28番「歌劇カルメン ハバナラの歌」》昭和2年7版(大正6年初版)、紙・石版
2. 竹久夢二装画、ヂョール・マスナー作曲、二見孝平訳詞《セノオ楽譜56番「汝が碧き眼を開け」》大正14年6版(大正6年初版)、紙・石版
3. 竹久夢二装画、藤井清水作曲、永田龍雄作詞《セノオ楽譜192番「月ぞけぶれる」》大正9年初版、紙・石版
4. 竹久夢二装画、藤井清水作曲、尾山篤太郎作詞《セノオ楽譜238番「たそがれの歌」》大正10年初版、紙・石版
5. 竹久夢二装画、クラーク作曲、柴田柴庵訳解《セノオ楽譜294番「流行歌 スワニイ河の月」》発行年不詳、紙・石版
6. 竹久夢二装画、ビショップ作曲、二見孝平訳詞《セノオ楽譜319番「見よ優しき雲雀を」》大正13年初版、紙・石版
7. 竹久夢二装画・詩、榊原直作曲《セノオ楽譜338番「草の夢」》大正13年初版、紙・石版
8. 竹久夢二装画、奥好義作曲、山田耕作編曲《セノオ楽譜355番「歌唱 金剛石」》大正13年初版、紙・石版
9. 竹久夢二装画、山田耕作作曲、北原白秋作歌《セノオ楽譜402番「明治天皇頌歌」》大正14年初版、紙・石版
10. 竹久夢二装画、リスト作曲、近藤朔風作詞《セノオ楽譜416番「花かそもなれ」》大正15年初版、紙・石版
11. 竹久夢二《草に憩う女》大正初期、絹本着色
12. 竹久夢二《荒野の楽人》大正中期、紙本着色
13. 竹久夢二《鴨東夜花》大正後期、絹本着色
14. 竹久夢二《春浅き》昭和初期、絹本墨書

II. 夢二のデザイナー—装丁を中心に

15. 竹久夢二著・装丁『夢二画集 秋の巻』明治43年2版(同年初版)、書籍
16. 竹久夢二著・装丁『夢二画集 都会の巻』明治44年初版、書籍
17. 竹久夢二著・装丁『縮刷夢二画集』大正5年5版(大正3年初版)、書籍
18. 竹久夢二著・装丁『絵入歌集』大正4年初版、書籍
19. 竹久夢二著・装丁『三味線草』大正4年初版、書籍
20. 竹久夢二著・装丁『夜の露台』大正5年初版、書籍
21. 竹久夢二著・装丁『山へよする』大正8年初版、書籍
22. 竹久夢二著・装丁『恋愛秘語』大正13年3版(同年初版)、書籍
23. 竹久夢二装画《中山晋平作曲全集 目次(七夕)》昭和5年、紙・石版

24. 竹久夢二装画《中山晋平作曲全集「椿」》昭和5年、紙・石版
 25. 竹久夢二装画《中山晋平作曲全集「東京行進曲」》昭和5年、紙・石版
 26. 竹久夢二装画《中山晋平作曲全集「愛して頂戴」》昭和5年、紙・石版
- 特別出品 杉浦非水(表紙)、竹久夢二(挿画、裏表紙)《『三越』第5巻第10号》大正14年、雑誌、島田安彦コレクションアーカイブ
特別出品 竹久夢二《便箋(大阪、柳屋)》発行年不詳、紙・木版、島田安彦コレクションアーカイブ

III. 子どもの世界

27. 竹久夢二著・装丁『コドモのスケッチ帖 活動写真にて』明治44年初版、書籍
28. 竹久夢二著・装丁『草の実』大正3年初版、書籍
29. 竹久夢二著・装丁『ねむの木』大正5年3版(同年初版)、書籍
30. 竹久夢二著・装丁『あやとりかけとり』大正11年初版、書籍
31. 竹久夢二著・装丁『夢二画手本 一』大正12年初版、書籍
32. 竹久夢二著・装丁『夢二画手本 二』大正12年初版、書籍
33. 竹久夢二著・装丁『夢二画手本 三』大正12年初版、書籍
34. 竹久夢二著・装丁『夢二画手本 四』大正12年初版、書籍
35. 竹久夢二著・装丁『春のおくりもの』昭和3年初版、書籍

計37点

* 所蔵表記のないものはすべて静岡市美術館蔵

主要広報記録:

◆新聞

・「美と快と 県内館 収蔵品物語46」『静岡新聞』、11月28日。

◆雑誌

・「展覧会紹介」『和楽』、10・11月号。

・「展覧会紹介」『和楽』、12・1月号。



2) 静岡市清水文化会館マリナート常設展示

「平野富山ー清水が生んだ彩色木彫の名匠」

概要：今年度で11年目となる静岡市清水文化会館マリナートにおける、彩色木彫家・平野富山の常設展示。静岡市が収蔵する富山作品(彩色木彫35点、塑像等約35点、書2点)と富山の収集品454件を活用し、各期テーマを設けて年3回の展示を行った。また、それに係る保存管理、調査研究もあわせて実施した。

テーマおよび会期：

【第1期】平野富山と池野哲仙 7月-10月

【第2期】平野富山のお雛様 11月-2月

【第3期】平野富山の初期の動向 3月-6月

会場：静岡市清水文化会館マリナート 1階ギャラリー隣
平野富山常設展示コーナー



第2期



第1期



第3期

作品リスト：

【第1期】テーマ：平野富山と池野哲仙

第1期は、平野富山の最初の師である人形師・池野哲仙の作品を一堂で紹介した。あわせて平野富山の初期作品より、人形の芸術的発展を目指した創作人形団体「日本人形社」に所属した頃の意欲作《八重垣姫》なども紹介し、人形作家らと関わり研鑽を積んだ時期の富山の動向に注目したほか、哲仙と富山の影響関係を探った。

1. 平野富山《八重垣姫》木彫彩色、静岡市
2. 平野富山《韋駄天童子》木彫彩色、静岡市
3. 平野富山《マフラーの女》昭和59年、木彫彩色、静岡市
4. 池野哲仙《蘭陵王舞》木彫彩色、静岡市/平野富山コレクション
5. 池野哲仙《蘭陵王面》木彫彩色、静岡市/平野富山コレクション
6. 池野哲仙《白武悪》木彫彩色、静岡市/平野富山コレクション
7. 池野哲仙《模刻隆慶作百人一衆》木彫彩色、静岡市/平野富山コレクション
8. 平野富山(敬吉)《静災》※第13回日彫展出品、昭和40年、FRP、静岡市

【第2期】テーマ：平野富山のお雛様

第2期は、市が収蔵する平野富山の雛人形を一堂に集めその魅力を紹介した。富山が初期に名乗った「鍔国」時代から繰り返し手がけた《稚児雛》をはじめ、女雛に桜花文様が彩色された《吉野雛》、有職故実に基づいた装束の《親王雛》まで、生涯にわたり制作した様々な雛人形を展示した。

1. 平野富山《稚児雛》木彫彩色、静岡市
2. 平野富山《吉野雛》木彫彩色、静岡市
3. 平野富山《三輪雛》木彫彩色、静岡市

4. 平野富山《親王雛》木彫彩色、静岡市
5. 平野富山(敬吉)《裸婦》※第2回新日展出品、昭和34年、FRP、静岡市
6. 平野富山(敬吉)《莫》※第7回改組日展出品、昭和49年、FRP、静岡市
7. 《青花花唐草文皿》清代後期、徳化窯、磁器、静岡市/平野富山コレクション
8. 《染付花卉文蕎麦猪口》江戸中期、有田、磁器、静岡市/平野富山コレクション
9. 《青花山水鳥図輪花碗》清代後期、中国南部、磁器、静岡市/平野富山コレクション

【第3期】テーマ：平野富山の初期の動向

第3期は、市が収蔵する平野富山の初期作品を中心に紹介した。初期作品には様々な作風が見られるが、その中より伝統的な人形表現の《粧》のほか、地元清水にゆかりのある能楽「羽衣」を主題とした《羽衣》も展示し、その魅力を伝えた。あわせて、四季折々の花々が描かれたレリーフ状の《欄間扇面散らし》なども展示し、富山の初期の動向を探った。

1. 平野富山《粧》木彫彩色、静岡市
2. 平野富山《おぼろ夜》木彫彩色、静岡市
3. 平野富山《羽衣》木彫彩色、静岡市
4. 平野富山《欄間扇面散らし》木彫彩色、静岡市
5. 平野富山(敬吉)《斜光》※第5回新日展出品、昭和37年、FRP、静岡市
6. 平野富山(敬吉)《黙視》※第63回太平洋展出品、昭和40年、FRP、静岡市

5. 調査研究・研修受入等

5-1 調査研究

令和4年度中に当館職員が行った、館外での主な活動および執筆・寄稿等は下記のとおりである。

●田中豊稲

<館外での活動>

- ・静岡市文化振興審議会委員
- ・文化庁美術品国家補償制度部会会長

●高市純行

<館外での活動>

- ・静岡文化芸術大学「博物館学芸員課程：博物館経営論」講師(7月5日)
- <その他>
- ・文化庁ミュージアム・トップマネジメント研修受講(10月5日～7日)

●山本香瑞子

<研究発表・論文等>

- ・「富田溪仙とポール・クローデル」『美術フォーラム21』(46号)、醍醐書房、2022年12月、22-27頁。

<館外での活動>

- ・東海大学海洋学部環境社会学科「美術・デザイン史」非常勤講師(4月-7月)
- ・静岡文化芸術大学「芸術特論D」講師(11月2日)
- <雑誌・新聞等寄稿>
- ・山本香瑞子「大胆な単純化 欧風に 作品紹介 上」『毎日新聞』静岡版、12月15日。
- ・山本香瑞子「自然の造形から図案 作品紹介 中」『毎日新聞』静岡版、12月16日。
- ・山本香瑞子「洋行で見聞広め 成果 作品紹介 下」『毎日新聞』静岡版、12月17日。

●高橋哲也

<館外での活動>

- ・科学教室「もっと知りたい日本刀の世界」講師、静岡科学館る・く・る(7月23日)
- ・磐田市芸術祭工芸部門審査(10月25日)
- <展覧会カタログ等編集・執筆>
- ・「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語」カタログ、コラム「銘から読み解く中世の刀剣－行年銘を中心に」執筆。

●伊藤鮎

<展覧会カタログ等編集・執筆>

- ・「出版120周年 ピーターラビット™展」メッセージ、『ピーターラビットの湖水地方』翻訳。
- ・「Shizubi Project 8 世界は生きている 松藤孝一」カタログ編集、『世界をうつすガラス／松藤孝一の作品について』執筆。

●大石沙織

<館外での活動>

- ・静岡市歴史博物館展示資料収集等に係る資料評価(6月10日)
- ・静岡市歴史博物館個人宅作品調査への協力(11月19日)
- ・SBS学苑講座「日本人の美意識 東海道をめぐる美術」(2月22日)
- <展覧会カタログ等編集・執筆>
- ・「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語」カタログ、コラム「『平家物語』の浮世絵にみる義経の装束イメージ」執筆。
- ・「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語」鑑賞ガイド、武者絵カード作成。
- ・「東海道的美 駿河への旅」別冊カタログ編集、作品解説、研究ノート「東海道図屏風に描かれたもの一系統の類別と宿場のイメージ」執筆。
- <雑誌・新聞等寄稿>
- ・大石沙織「魅力あふれる“家康の遺産”」『静岡新聞』、2月1日。

●安岡真理

<館外での活動>

- ・静岡大学教育学部美術教育専修「中等美術科教育法Ⅰ」(前期)講師(7月26日)
- ・安倍口中央こども園自主研修「絵本の絵を読む」講師(9月9日)

●深尾茅奈美

<研究発表・論文等>

- ・「カミーユ・ピサロと世紀末のパリー「テアトル・フランセ広場連作」に見る都市のユートピア」『鹿島美術財団年報』38号、2022年、58-68頁。

<館外での活動>

- ・静岡県立美術館所蔵品展「絶景考 第Ⅱ部」関連美術講座講師(11月6日)
- <展覧会カタログ等編集・執筆>
- ・「スイス プチ・パレ美術館展 花ひらくフランス絵画」カタログ編集、翻訳。
- <雑誌・新聞等寄稿>
- ・深尾茅奈美「筆触分割 純色を使用 1」『中日新聞』静岡版、4月19日。
- ・深尾茅奈美「点描法 科学との融合 2」『中日新聞』静岡版、4月20日。
- ・深尾茅奈美「平面性 浮世絵の影響 3」『中日新聞』静岡版、4月21日。
- ・深尾茅奈美「鮮烈 荒々しい色使い 4」『中日新聞』静岡版、4月23日。
- ・深尾茅奈美「幾何学的な面に分割 5」『中日新聞』静岡版、4月24日。
- ・深尾茅奈美「戦間期 自由好む画家 6」『中日新聞』静岡版、4月26日。
- ・深尾茅奈美「ルノワール 画筆を握らせた容姿 上」『中日新聞』静岡版、5月24日。
- ・深尾茅奈美「ヴァラドンとユトリロ 親子画家 数奇な人生 中」『中日新聞』静岡版、5月25日。
- ・深尾茅奈美「サラ・ベルナール 60代 大女優の貫禄 下」『中日新聞』静岡版、5月26日。

◆教育普及プログラム企画・制作(担当：太田・安岡)
 ・「しずびチビッコプログラム」オリジナルプログラム(計4種)
 ・「しずびオープンアトリエ」オリジナルプログラム(計3種)
 夏：「粘土で刀の鐔形(つばがた)コースターをつくろう」
 春：「縹緗彩色(うんげんさいしき)に挑戦！色鮮やかな文様を描こう」
 「おうちで！しずびオープンアトリエ(動画配信+貸出キット)」

・「プレゼントワークショップ」(計3種)
 vol.36「母の日だ！親子でプレゼントをつくろう」
 vol.37「父の日だ！親子でプレゼントをつくろう」
 vol.38「クリスマスの小さな妖精“トムテ”をつくろう！」
 ・「暦とあそぶワークショップ」
 vol.22「七夕の準備をしよう！」
 vol.23「節分の準備をしよう！」
 vol.24「ひな祭りの準備をしよう！」

5-2 博物館実習

以下の要領で学芸員資格取得を目指す学生を対象に博物館実習を行った。

対象：博物館法施行規則第一条に定められた博物館に関する科目の単位を履修済みまたは履修中で、以下の要件を満たす者。ただし学芸員資格を既に取得済みの者は除く。

- ①美学・美術史または美術教育専攻であること。(美術館で研修する理由がある者)
- ②静岡県内在学者もしくは県内に帰省先があること。 ③パソコンのメールアドレスを持っていること。(携帯メールは不可)
- ④学部3年生以上であること。(4年生を優先する)

実習期間：8月9日(火)～13日(土) 計5日間

実習場所：当館、清水文化会館マリナート

受入大学・人数：京都美術工芸大学、静岡文化芸術大学、公立大学法人都留文科大学 計3大学3人

実習日	時間	実施内容
9日(火)	10:10～11:00 11:10～12:00 13:00～13:50 14:00～15:50	ガイダンス・職員紹介・施設案内 静岡市美術館の特色について(講義) 美術品の展示・保存環境について(講義) 開催中の展覧会について<展示演出、関連事業の立案など>(講義) 開催中展覧会の見学(実習)
10日(水)	9:30～12:00 13:00～13:50 14:00～14:50	自記温湿度計の取り扱い・収蔵庫内の清掃・虫菌害防除について(実習) 展覧会の組み立て方<展覧会ができるまでの流れ、現代美術の展示など>(講義) 日本美術の調査と展示<作品調査の実際、日本美術の展示>(講義)
11日(木)	9:10～12:00 13:00～13:50 14:00～14:50	収蔵庫整理・清掃(実習)※於：清水文化会館マリナート 静岡市美術館の教育普及活動について(講義) 図書整理作業(実習)
12日(金)	13:00～14:50 15:00～15:50 16:00～17:50	作品(掛軸・卷子)の取扱いと点検・調書作成について(実習) オープンアトリエ体験(実習) 開催中展覧会の見学(実習)
13日(土)	10:10～11:00 11:10～12:00 13:00～13:50 15:00～15:50	静岡市美術館の広報活動について(講義) 美術館とメディアについて(講義) 館長講話(講義) 「これまでの実習で学んだこと」(実習生による発表)

5-3 視察等受入

令和4年度受入分は下記のとおりである。

	日付	視察団体名	人数
1	8月3日(水)	日本博	3人
2	2月5日(日)	名古屋市立博物館	3人

(※外部施設との連携事業における展示解説分は除く。)

計 2件 6人

6. 収蔵品・図書等

6-1 収蔵品・画像貸出

1) (株)鈴与 2023年度カレンダー ※静岡市からの受託事業の一環として実施

貸出画像：平野富山《福寿大黒天尊像》、《吉祥天》、《親王雛》、《鏡獅子》計4点
(いずれも2012年開催『竹久夢二と静岡ゆかりの美術』展図録所収作品画像)

発行者：(株)鈴与

体裁：カレンダー（4切・10,000部）

発行日：令和4(2022年)11月

6-2 図書等

令和4年度図書等受入数

	購入	寄贈	合計
カタログ	8冊	229冊	237冊
雑誌	23冊	76冊	99冊
一般図書・その他	14冊	333冊	347冊
合計	45冊	638冊	683冊

7. 広報活動

7-1 広報制作物

1)年間スケジュール

令和4(2022)年度展覧会スケジュールを下記のとおり制作し、ウェブサイトに掲載した。

<仕様>紙：A2 マット 110kg

サイズ・数量：210×396mm（仕上 210×99mm） 45,000部(日本語版)、500部(英語版)

加工：観音折り(四つ折り)加工

印刷：オフセット印刷(日本語版)、オンデマンド印刷(英語版)

◆日本語版年間スケジュール



表紙

表面

中面

◆英語版年間スケジュール



表紙

表面

中面

2)ワークショップシリーズ年間スケジュール

令和4(2022)年度ワークショップシリーズ年間スケジュールを下記のとおり制作した。

<仕様>紙：片艶晒クラフト(キャピタルラップ) 86kg

サイズ・数量：A4(仕上A5) 20,000部

加工：二つ折り加工



表紙

表面

中面

7-2 ウェブサイト

展覧会情報を中心に、関連イベントの情報や施設概要、ショップ情報についても掲載。ブログ、Twitter、Instagram、YouTubeも開設し、常にタイムリーな情報発信を行っている。

ウェブサイト構成：(<https://www.shizubi.jp>)

- 展覧会
 - ・開催中の展覧会 ・これからの展覧会
 - ・年間スケジュール ・展覧会アーカイブ
- イベント
 - ・これからのイベント
 - ・ワークショップシリーズ年間スケジュール
 - ・イベントアーカイブ
- 来館案内
 - ・基本情報・開館カレンダー ・アクセス
 - ・駐車場 ・ご来館のお客様へ/Q&A
 - ・ショップ&カフェ ・学校・団体鑑賞
- 美術館概要
 - ・静岡市美術館について
 - ・館長挨拶 ・施設概要 ・ロゴについて
 - ・活動記録 ・静岡市美術館運営協議会
- その他(リンク)
 - ・ブログ(<https://www.shizubi.jp/blog>)
 - ・Twitter (https://twitter.com/shizubi_jp)
 - ・Instagram (https://instagram.com/shizubi_jp)
 - ・YouTube (<https://www.youtube.com/channel/UCDprmpLHarg33-WQNvyZPAg>)

アクセス数：493,657件(1日平均 約1,352件)



パソコン版
ホームページ



スマートフォン版
ホームページ

7-3 施設広報記録

展覧会事業・交流事業以外の美術館施設に関する主な取材記録は下記のとおりである。

1)雑誌等

- ・「施設紹介」『こどもの図書館』、6月10日。
- ・「施設紹介」『静岡駅周辺のご案内』、7月1日。
- ・「施設紹介」『共済だより Harmony』、10月3日。
- ・「施設紹介」『KAKEHASHI』、1月1日。

2)ウェブサイト(媒体名のみ記載)

「SUUMO」、「ナビタイムジャパン観光ガイド」

8. 管理運営

8-1 利用者数

1)利用者数(月別) (単位:人)

	展覧会 観覧者	展覧会関連事業 参加者	交流事業 参加者	連携事業・その他 の事業 参加者	事業参加者 計	総入館者
4月	4,580	205	0	26	4,811	13,956
5月	8,170	215	104	55	8,544	18,803
6月	7,005	194	17	70	7,286	17,771
7月	7,263	368	25	220	7,876	17,775
8月	10,149	223	168	145	10,685	22,567
9月	5,851	260	0	74	6,185	16,255
10月	14,187	504	127	249	15,067	27,627
11月	6,719	161	0	1,053	7,933	17,169
12月	3,318	135	24	2,307	5,784	10,303
1月	6,145	64	8,863	28	15,100	14,623
2月	2,342	131	10,337	5	12,815	10,291
3月	4,553	244	2,987	20	7,804	14,996
計	80,282	2,704	22,652	4,252	109,890	202,136
月平均	6,690	225	1,888	354	9,158	16,845

2)利用者数 事業別

展覧会名	実施期間	入場者等
スイス プチ・バレ美術館展 花ひらくフランス絵画	4月9日－6月19日 (開館63日間)	19,755人 (314人/日)
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語	7月2日－8月28日 (開館51日間)	17,412人 (341人/日)
出版120周年 ピーターラビット™展	9月15日－11月6日 (開館44日間)	24,780人 (563人/日)
杉浦非水 時代をひらくデザイン	11月19日－1月29日 (開館55日間)	11,440人 (208人/日)
東海道の美 駿河への旅	2月11日－3月26日 (開館38日間)	6,895人 (181人/日)
展覧会 観覧者 計		80,282人
普及事業参加者 (展覧会関連事業参加者＋交流事業参加者＋連携事業・その他事業参加者)		29,608人
事業参加者 総計 (展覧会観覧者＋普及事業参加者)		109,890人
総入館者数 (エントランス入口自動カウンター集計数)	4月1日－3月31日	202,136人

3)利用者数(事業別詳細)

事業区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
展覧会事業	展覧会		計5本 80,282人		
	スイス プチ・パレ美術館展 花ひらくフランス絵画	4/9-6/19 (計63日間)	23,000	19,755	85.9%
	ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵-武者たちの物語	7/2-8/28 (計51日間)	30,000	17,412	58.0%
	出版120周年 ピーターラビット™展	9/15-11/6 (計44日間)	30,000	24,780	82.6%
	杉浦非水 時代をひらくデザイン	11/19-1/29 (計55日間)	15,000	11,440	76.3%
	東海道の美 駿河への旅	2/11-3/26 (計38日間)	13,000	6,895	53.0%
展覧会関連事業	ミュージアム教室		計1,411人(60団体/60回)		
	ミュージアム教室(プチ・パレ展)	4/9-6/19 (全17回)	474(17団体/17回)		
	ミュージアム教室(THE HEROES展)	7/2-8/28 (全15回)	273(15団体/15回)		
	ミュージアム教室(ピーターラビット™展)	9/15-11/6 (全18回)	450(18団体/18回)		
	ミュージアム教室(杉浦非水展)	11/19-1/29 (全7回)	71(7団体/7回)		
	ミュージアム教室(東海道展)	2/11-3/26 (全3回)	143(3団体/3回)		
	その他展示解説		計473人(16団体/16回)		
	展示解説(プチ・パレ展)	4/9-6/19 (全1回)	29(1団体/1回)		
	展示解説(THE HEROES展)	7/2-8/28 (全4回)	157(4団体/4回)		
	展示解説(ピーターラビット™展)	9/15-11/6 (全7回)	213(7団体/7回)		
	展示解説(杉浦非水展)	11/19-1/29 (全2回)	28(2団体/2回)		
	展示解説(東海道展)	2/11-3/26 (全2回)	46(2団体/2回)		
	スイス プチ・パレ美術館展 花ひらくフランス絵画		計2本 111人		
	講演会「光と色彩の世紀 印象派からエコール・ド・パリへ」	4/16	50	41	82.0%
	当館学芸員によるスライドトーク	5/1、6/5	-	70	-
	ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵-武者たちの物語		計4本 161人		
	講演会①「武者絵から広がる楽しみ」	7/2	50	50	100.0%
	講演会②「刀剣の見かた- HEROES展での楽しみかた-」	7/30	50	42	84.0%
	当館学芸員によるスライドトーク	7/17、8/7	-	69	-
	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 科学教室「もっと知りたい日本刀の世界」	7/23	※静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業に記載		
	出版120周年 ピーターラビット™展		計3本 218人		
	講演会「ピーターラビット™の世界へ」	9/25	60	56	93.3%
	当館学芸員によるスライドトーク	10/10、29	-	106	-
	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 静岡・室内楽フェスティバル2022 ミュージアム・コンサート「朗読とリコーダー四重奏で聴くピーターラビット™」	9/18	60	56	93.3%
	杉浦非水 時代をひらくデザイン		計3本 144人		
	講演会①「杉浦非水が目指したもの、残したもの 揺籃期の日本の広告・グラフィックデザインと社会」	11/26	60	44	73.3%
	講演会②「杉浦非水 その生涯と仕事」	12/18	60	47	78.3%
	当館学芸員によるスライドトーク	12/17、1/14	-	53	-
	東海道の美 駿河への旅		計4本 186人		
	講演会①「描かれた東海道の名所と美術」	2/11	60	59	98.3%
講演会②「マッケンジー本と駿河の文芸」	3/4	60	52	86.7%	

事業区分	事業名	実施時期	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
関連事業 展覧会	当館学芸員によるスライドトーク	2/25	-	31	-
	歴史×美術 東海道函屏風を語る	3/11	60	44	73.3%
交流事業	Shizubi Project		計2本 21,873人		
	Shizubi Project 8「世界は生きている 松藤孝一」	1/17-3/15 (計20日間)	-	21,818	-
	アーティストトーク	1/17、3/5	-	55	-
			計1本 113人		
	参加型公開制作 「柿木原さんとタイルで美術館のロゴマークをつくろう!」	10/2	-	113	-
	Shizubiシネマアワー				
	Shizubiシネマアワー vol.29「タイムトラベル、美しき時代のパリへ」 ①『シラノ・ド・ベルジュラックに会いたい』	5/7	50	46	92.0%
	Shizubiシネマアワー vol.29「タイムトラベル、美しき時代のパリへ」 ②『ディリリとパリの時間旅行(字幕版)』	5/8	50	43	86.0%
	Shizubiシネマアワー vol.30「チェコのアニメーション」 ①『極上の人形アニメの世界(計61分)』	3/21	60	55	91.7%
	Shizubiシネマアワー vol.30「チェコのアニメーション」 ②『かわいいチェコアニメの世界(計74分)』	3/21	60	62	103.3%
	しずびオープンアトリエ		計3本 296人		
	粘土で刀の鐔形コースターをつくろう	8/12-8/21 (計10日間・全20回)	120	153	127.5%
	縹緗彩色に挑戦!色鮮やかな文様を描こう	2/25-3/19 (計8日間・全16回)	96	102	106.3%
	縹緗彩色に挑戦!色鮮やかな文様を描こう (動画配信+貸出キット)	2/25-3/31	30	41	136.7%
	しずびチビッコプログラム		計4本 59人		
	「プチ・パレ展」	5/28 (中止)	16	中止	-
	「THE HEROES展」	8/27 (全2回)	16	15	93.8%
	「ピーターラビット™展」	10/23 (全2回)	16	14	87.5%
	「杉浦非水展」	1/7 (全2回)	16	13	81.3%
	「東海道展」	3/25 (全2回)	16	17	106.3%
	暦とあそぶワークショップ		計4本 49人		
	vol.22「七夕の準備をしよう!」子ども編	7/3	12	13	108.3%
	vol.22「七夕の準備をしよう!」大人編	7/3	12	12	100.0%
	vol.23「節分の準備をしよう!」	1/21	12	10	83.3%
	vol.24「ひな祭りの準備をしよう!」	2/18	14	14	100.0%
	プレゼントワークショップ		計4本 56人		
	vol.36「母の日だ!親子でプレゼントをつくろう」	5/8	14	15	107.1%
	vol.37「父の日だ!親子でプレゼントをつくろう」	6/19	14	17	121.4%
	vol.38「クリスマスの小さな妖精“トムテ”をつくろう!」子ども編	12/10	12	11	91.7%
	vol.38「クリスマスの小さな妖精“トムテ”をつくろう!」大人編	12/11	12	13	108.3%
	その他交流事業				
	夜店市	8/12-8/14	-	不参加	-
連携事業	■生涯学習センターとの連携事業				
	しずび出前講座(講義)※当館学芸員が講師として参画		計16本 416人		
	南部生涯学習センター 「絵本の絵を読む」	6/4	-	29	-
高齢者学級みのり大学城内学級 「フランス風景画の歴史」	7/14	-	34	-	

事業区分	事業名	実施時期	入場者等			
			目標値	実績値	達成率	
			(人)	(人)	(%)	
連携事業	高齢者学級みのり大学草深学級 「フランス風景画の歴史」	7/19	-	51	-	
	葵生涯学習センター 「武者絵の魅力」	7/22、7/29	-	23	- ※7/29実施分はその他展示解説に含む	
	高齢者学級みのり大学東部学級 「日本画と写生-竹内栖鳳を中心に」	7/26	-	49	-	
	西部生涯学習センター 「ポストン美術館の名刀」	8/2、8/9	-	16	- ※8/9実施分はその他展示解説に含む	
	高齢者学級みのり大学青葉学級 「フランス風景画の歴史」	8/4	-	36	-	
	北部生涯学習センター 「絵本の絵を読む」	9/14	20	20	100.0%	
	長田生涯学習センター 「『ピーターラビットのおはなし』の世界」	9/29、10/6	20	8	75.0% ※10/6実施分はその他展示解説に含む	
	高齢者学級みのり大学美和学級 ピーターラビット展鑑賞	10/5	※その他展示解説に含む			
	高齢者学級みのり大学大里学級 「日本画と写生-竹内栖鳳を中心に」	10/6	-	21	-	
	西奈生涯学習センター 「『ピーターラビットのおはなし』の世界」	10/7、10/14	-	18	- ※10/14実施分はその他展示解説に含む	
	大里生涯学習センター 大里心の乙女塾 「彩色木彫家・平野富山-知られざるその全容」	10/12	-	31	-	
	高齢者学級みのり大学西奈学級 「彩色木彫家・平野富山-知られざるその全容」	11/30	-	35	-	
	高齢者学級みのり大学薬科学級 「彩色木彫家・平野富山-知られざるその全容」	12/8	-	40	-	
	薬科生涯学習センター 「グラフィックデザインの先駆者・杉浦非水」	12/9、12/16	-	5	- ※12/16実施分はその他展示解説に含む	
	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業(三館共同事業)			計2本 17人		
	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 科学教室「もっと知りたい日本刀の世界」	7/23	24	17	70.8%	
	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業/静岡・室内楽フェスティバル2022 ミュージアム・コンサート 「朗読とリコーダー四重奏で聴くピーターラビット™」	9/18	※展覧会関連事業に記載			
その他連携事業			計1本 612人			
Kids Art Project Shizuoka	4/1-3/31	-	612	-		
その他事業	その他事業		計3本 3,207人			
	静岡市文化活動振興事業 特集展示 竹久夢二展	11/29-12/4 (計6日間)	2,400	3,204	133.5%	
	静岡市文化活動振興事業 静岡市清水文化会館マリナート常設展示 「平野富山-清水が生んだ彩色木彫の名匠」 【第1期】平野富山と池野哲仙 【第2期】平野富山のお雛様 【第3期】平野富山の初期の動向	【第1期】7月-10月 【第2期】11月-2月 【第3期】3月-6月	-	-	-	
	博物館実習	8/9-8/13 (計5日間)	-	3	-	
計			114,682	109,890	95.8%	

8-2 過去展覧会一覧

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成22(2010)年度			計3本 132日 93,654人
1	開館記念展<Ⅰ> ポーラ美術館コレクション展 印象派とエコール・ド・パリ	10月2日(土)～11月28日(日) <開館51日間>	38,695人 (759人/日)
2	開館記念展<Ⅱ>・NHK静岡放送局開局80周年記念 家康と慶喜-徳川家と静岡	12月11日(土)～1月30日(日) <開館42日間>	34,424人 (820人/日)
3	開館記念展<Ⅲ> 棟方志功 祈りと旅	2月11日(金・祝)～3月27日(日) <開館39日間>	20,535人 (527人/日)
●平成23(2011)年度			計5本 261日 131,904人
1	ハンス・コパー展-20世紀陶芸の革新	4月9日(土)～6月26日(日) <開館69日間>	16,395人 (238人/日)
2	没後150年 歌川国芳展	7月9日(土)～8月21日(日) <開館38日間> ※前期:7月9日(土)～31日(日) 後期:8月2日(火)～21日(日)	30,404人 (801人/日)
3	開館1周年記念展<Ⅰ>・NHK静岡放送局開局80周年記念 アルプスの画家 セガントーニ -光と山-	9月3日(土)～10月23日(日) <開館44日間>	17,806人 (405人/日)
4	開館1周年記念展<Ⅱ> レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想	11月3日(木・祝)～12月25日(日) <開館46日間>	53,136人 (1,156人/日)
5	竹久夢二と静岡ゆかりの美術 (前期:中川雄太郎と静岡の創作版画の世界 後期:平野富山“彩色木彫”の美)	1月7日(土)～3月25日(日) <開館64日間> ※前期:1月7日(土)～2月12日(日) 後期:2月18日(土)～3月25日(日)	14,163人 (222人/日)
●平成24(2012)年度			計6本 258日 100,862人
1	森村泰昌モリエナーレ まねぶ美術史	4月7日(土)～6月10日(日) <開館57日間>	7,976人 (140人/日)
2	静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館共同事業 七夕の美術-日本近世・近代の美術工芸にみる	6月23日(土)～8月19日(日) <開館51日間> ※前期:6月23日(土)～7月22日(日) 後期:7月24日(火)～8月19日(日)	10,929人 (214人/日)
3	フィンランドのくらしとデザイン-ムーミンが住む森の生活	9月1日(土)～10月8日(月・祝) <開館38日間>	41,258人 (1,086人/日)
4	ストラスブル美術館展 モダンアートへの招待	10月27日(土)～12月16日(日) <開館44日間>	12,016人 (273人/日)
5	滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展	1月2日(水)～2月11日(月・祝) <開館36日間> ※前期:1月2日(水)～1月20日(日) 後期:1月22日(火)～2月11日(月・祝)	11,256人 (313人/日)
6	新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界	2月23日(土)～3月31日(日) <開館32日間>	17,427人 (545人/日)
●平成25(2013)年度			計5本 260日 156,594人
1	藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ	4月20日(土)～6月23日(日) <開館57日間>	22,451人 (393人/日)
2	静岡朝日テレビ 開局35周年記念 オディロン・ルドン 夢の起源 幻想のふるさと、ボルドーから	6月29日(土)～8月25日(日) <開館51日間>	16,907人 (332人/日)
3	はじめての美術 絵本原画の世界2013	9月14日(土)～10月27日(日) <開館38日間>	44,385人 (1,168人/日)
4	徳川家康公顕彰四百年記念事業 没後100年 徳川慶喜	11月2日(土)～12月15日(日) <開館38日間> ※前期:11月2日(土)～11月24日(日) 後期:11月26日(火)～12月15日(日)	15,260人 (402人/日)
5	テレビ静岡開局45周年記念 シャガール展	1月2日(木)～3月30日(日) <開館76日間>	57,591人 (758人/日)

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成26(2014)年度			計6本 254日 155,028人
1	巨匠の眼 川端康成と東山魁夷	4月12日(土)～6月1日(日) ＜開館44日間＞	15,475人 (352人/日)
2	読売新聞創刊140周年記念・静岡第一テレビ開局35周年 法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－	6月14日(土)～7月27日(日) ＜開館38日間＞	26,566人 (699人/日)
3	日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展 ～天空の城、火垂るの墓、時をかける少女～	8月4日(月)～9月23日(火・祝) ＜開館48日間＞	66,773人 (1,391人/日)
4	徳川家康公顕彰四百年記念事業・静岡市文化振興財団設立20周年事業 国宝・久能山東照宮展－家康と静岡ゆかりの名宝	10月4日(土)～11月24日(月・祝) ＜開館45日間＞	20,353人 (452人/日)
5	ロイヤル・アカデミー展 イギリス美術の華麗なる150年	12月6日(土)～1月25日(日) ＜開館41日間＞	16,034人 (391人/日)
6	没後100年 小林清親展 文明開化の光と影をみつめて	2月7日(土)～3月22日(日) ＜開館38日間＞	9,827人 (259人/日)
●平成27(2015)年度			計6本 254日 155,806人
1	静岡市美術館開館5周年記念 大原美術館展 名画への旅	4月18日(土)～5月31日(日) ＜開館39日間＞	32,133人 (824人/日)
2	青磁のいま－受け継がれた技と美 南宋から現代まで	6月13日(土)～8月16日(日) ＜開館56日間＞	13,907人 (248人/日)
3	錦絵誕生250年 フィラデルフィア美術館浮世絵名品展 春信一番！写楽二番！	8月23日(日)～9月27日(日) ＜開館36日間＞	16,475人 (458人/日)
4	静岡市美術館開館5周年記念 ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと	10月10日(土)～11月23日(月・祝) ＜開館39日間＞	41,836人 (1,073人/日)
5	静岡市美術館開館5周年記念 静岡市立芹沢銈介美術館・静岡市美術館共同企画 芹沢銈介生誕120年記念展 しあわせの色 たのしい模様	12月5日(土)～1月11日(月・祝) ＜開館27日間＞	7,502人 (278人/日)
6	スター・ウォーズ展 未来へつづく、創造のビジョン。	1月23日(土)～3月27日(日) ＜開館57日間＞	43,953人 (771人/日)
●平成28(2016)年度			計6本 254日 167,547人
1	没後20年 ルーシー・リー展	4月9日(土)～5月29日(日) ＜開館45日間＞	17,157人 (381人/日)
2	伊豆市所蔵近代日本画コレクション展 大観・靱彦・龍子らと修善寺	6月7日(火)～7月10日(日) ＜開館30日間＞	6,592人 (220人/日)
3	エッシャーの世界	7月17日(日)～8月28日(日) ＜開館37日間＞	36,297人 (981人/日)
4	ランス美術館展 美しきフランス バロックからフジタへ	9月10日(土)～10月30日(日) ＜開館45日間＞	16,154人 (359人/日)
5	高畑・宮崎アニメの秘密がわかる。 スタジオジブリ・レイアウト展	11月19日(土)～2月5日(日) ＜開館65日間＞	79,378人 (1,221人/日)
6	夢二と京都の日本画	2月18日(土)～3月26日(日) ＜開館32日間＞	11,969人 (374人/日)
●平成29(2017)年度			計5本 244日 111,134人
1	アルバレス・ブラボ写真展 －メキシコ、静かなる光と時	4月8日(土)～5月28日(日) ＜開館45日間＞	6,208人 (138人/日)
2	没後150年 坂本龍馬	7月1日(土)～8月27日(日) ＜開館51日間＞	50,397人 (988人/日)
3	日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念 デンマーク・デザイン	9月9日(土)～11月12日(日) ＜開館56日間＞	16,965人 (303人/日)
4	ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ	11月23日(木・祝)～1月28日(日) ＜開館54日間＞	25,503人 (472人/日)
5	白隠禅師250年遠諱記念展 駿河の白隠さん	2月10日(土)～3月25日(日) ＜開館38日間＞	12,061人 (317人/日)

	展覧会名	会期	観覧者数
●平成30(2018)年度			計5本 258日 83,257人
1	いつだって猫展	4月7日(土)～5月20日(日) ＜開館39日間＞	18,404人 (472人/日)
2	ミュシャ展 ～運命の女たち～	6月2日(土)～7月15日(日) ＜開館38日間＞	28,579人 (752人/日)
3	ヴラマンク展 絵画と言葉で紡ぐ人生	7月28日(土)～9月24日(月・祝) ＜開館51日間＞	10,871人 (213人/日)
4	テレビ静岡開局50周年記念 フランス宮廷の磁器 セーヴル、創造の300年	10月6日(土)～12月16日(日) ＜開館62日間＞	15,262人 (246人/日)
5	起点としての80年代	1月5日(土)～3月24日(日) ＜開館68日間＞	10,141人 (149人/日)
●平成31/令和元(2019)年度			計5本 258日 105,481人
1	小倉遊亀と院展の画家たち展滋賀県立近代美術館所蔵作品による	4月6日(土)～5月26日(日) ＜開館44日間＞	12,009人 (273人/日)
2	オーバリン大学アレン・メモリアル美術館所蔵 メアリー・エインズワース浮世絵コレクション ～初期浮世絵から北斎・広重まで	6月8日(土)～7月28日(日) ＜開館44日間＞	22,589人 (513人/日)
3	印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション	8月7日(水)～10月20日(日) ＜開館65日間＞	25,461人 (392人/日)
4	Daiichi-TV開局40周年記念 奇蹟の芸術都市バルセロナ展	11月15日(金)～1月19日(日) ＜開館55日間＞	21,895人 (398人/日)
5	不思議の国のアリス展	2月1日(土)～3月29日(日) ＜開館50日間＞	23,527人 (470人/日)
●令和2(2020)年度			計5本 219日 109,088人
1	日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリック めぐるジャポニスム	4月11日(土)～4月19日(日) ＜開館8日間＞	578人 (72人/日)
2	静岡市美術館開館10周年記念 東海道の美 駿河への旅	※延期	-
3	静岡市所蔵品 特集展示 見るよろこび：東海道図屏風・竹久夢二を中心に	6月17日(水)～7月19日(日) ＜開館29日間＞	2,815人 (97人/日)
4	2020しずおか文化プロジェクト 日本・ポーランド国交樹立100周年記念 シヨバンー200年の肖像	8月1日(土)～9月22日(火・祝) ＜開館47日間＞	17,774人 (378人/日)
5	静岡市美術館開館10周年記念 生誕110年・没後30年 絵本画家・赤羽末吉展 『スーホの白い馬』はこうして生まれた	10月3日(土)～11月29日(日) ＜開館50日間＞	16,196人 (324人/日)
6	静岡市美術館開館10周年記念・中日新聞東海本社40周年記念 ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展	12月19日(土)～3月31日(水) ＜開館85日間＞	71,725人 (844人/日)
●令和3(2021)年度			計5本 251日 77,160人
1	キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート	4月15日(木)～6月6日(日) ＜開館46日間＞	12,766人 (278人/日)
2	没後70年 吉田博展	6月19日(土)～8月29日(日) ＜開館62日間＞	13,646人 (220人/日)
3	静岡新聞社80周年・静岡放送70周年記念 生誕160年記念 グランマ・モーゼス展 一素敵な100年人生	9月14日(火)～11月7日(日) ＜開館48日間＞	16,437人 (342人/日)
4	ランス美術館コレクション 風景画のはじまり コローから印象派へ	11月20日(土)～1月23日(日) ＜開館51日間＞	15,096人 (296人/日)
5	平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	2月5日(土)～3月27日(日) ＜開館44日間＞	19,215人 (437人/日)

	展覧会名	会期	観覧者数
●令和4(2022)年度			計5本 251日 80,282人
1	スイス プチ・パレ美術館展 花ひらくフランス絵画	4月9日(土)～6月19日(日) ＜開館63日間＞	19,755人 (314人/日)
2	ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語	7月2日(土)～8月28日(日) ＜開館51日間＞	17,412人 (341人/日)
3	出版120周年 ピーターラビット™展	9月15日(木)～11月6日(日) ＜開館44日間＞	24,780人 (563人/日)
4	杉浦非水 時代をひらくデザイン	11月19日(土)～1月29日(日) ＜開館55日間＞	11,440人 (208人/日)
5	東海道之美 駿河への旅	2月11日(土)～3月26日(日) ＜開館38日間＞	6,895人 (181人/日)

8-3 静岡市美術館運営協議会

(公財)静岡市文化振興財団では、当館の事業及び運営について、幅広く意見を求め、長期的かつ総合的展望に立った運営に資することを目的として、平成23年度より静岡市美術館運営協議会を設置している。年2回の開催を基本とし、令和4年度末現在まで計22回開催した。

【静岡市美術館運営協議会委員】(敬称略・50音順)

氏名	肩書
●第1期【平成23年6月19日 - 平成25年6月18日】	
岩城見一	京都大学名誉教授・前京都国立近代美術館館長
小澤 豊	静岡市校長会(図工美術部会長・観山中学校校長)
織田元泰	元静岡市教育長・元常葉学園大学教授
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
川崎博良	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
金原宏行	豊橋市美術館館長
小林 忠	学習院大学名誉教授・前千葉市美術館長
小針由紀隆	静岡県立美術館学芸部長
谷 新	宇都宮美術館館長・美術評論家
●第2期【平成25年6月19日 - 平成27年6月18日】	
岩城見一	前京都国立近代美術館館長・京都大学名誉教授
小澤 豊	静岡市校長会(図工美術部会長・観山中学校校長) <~平成26年4月1日>
織田元泰	元静岡市教育長・元常葉学園大学教授
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
川崎博良	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
金原宏行	豊橋市美術館館長
小林 忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
谷 新	宇都宮美術館館長・美術評論家
増田安由	静岡市校長会(図工美術部会長・富士見小学校校長) <平成26年4月2日~>
●第3期【平成27年6月19日 - 平成29年6月18日】	
天野一夫	豊田市美術館チーフキュレーター
岩城見一	京都大学名誉教授・前京都国立近代美術館館長
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	豊橋市美術館館長
小林 忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長
服部 功	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
増田安由	静岡市校長会(図工美術部会長・富士見小学校校長)

氏名	肩書
●第4期【平成29年6月19日 - 令和元年6月18日】	
片瀬恵子	静岡市校長会(図工美術部会長・清水庵原小学校校長)
金子賢治	茨城県陶芸美術館館長
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	前豊橋市美術館館長
小勝禮子	美術史家・元栃木県立美術館学芸課長
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
高松良幸	静岡大学教授
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長
服部 功	静岡市中央商店街連合会(静岡紺屋町名店街理事長)
村田眞宏	豊田市美術館館長
●第5期【令和元年6月19日 - 令和3年6月18日】	
大石英之	静岡市校長会(図工美術部会長・中田小学校校長) <~令和2年3月31日>
入口強志	静岡市校長会(図工美術部副会長・清水両河内中学校教頭) <令和2年5月25日~令和3年3月31日>
岩崎信男	静岡市校長会(図工美術部会長・長田西中学校校長) <令和3年4月22日~>
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	前豊橋市美術館館長
小勝禮子	美術史家・元栃木県立美術館学芸課長
小針由紀隆	静岡文化芸術大学教授
高松良幸	静岡大学教授
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長
服部 功	静岡市中央商店街連合会 (静岡紺屋町名店街理事長)
村田眞宏	豊田市美術館館長
●第6期【令和3年6月19日 - 】	
岩崎信男	静岡市校長会 (図工美術部会長・長田西中学校校長)
川口良子	合同会社 デザイン・アープ代表CEO
金原宏行	元豊橋市美術館館長・元常葉美術館館長 元常葉学園大学教授
小勝禮子	美術史家・元栃木県立美術館学芸課長
小針由紀隆	ベルナルド・ピュフェ美術館館長・元静岡文化芸術大学教授
高松良幸	静岡大学教授・公益財団法人平野美術館評議員
田中文雄	元静岡県立中央図書館調査課長・フェルケール博物館友の会会長
富田 章	公益財団法人東日本鉄道文化財団専務理事・東京ステーションギャラリー館長
服部 功	静岡市中央商店街連合会 (静岡紺屋町名店街理事長)
村田眞宏	前豊田市美術館館長・元愛知県立美術館館長

※委員の肩書については、各期就任時のものを記載した。

静岡市美術館運営協議会設置要綱

(目的)

第1条 公益財団法人静岡市文化振興財団(以下「当法人」という。)は、静岡市美術館(以下「美術館」という。)の事業及び運営について、幅広く意見を求め、長期的かつ総合的展望に立った運営に資することを目的として、静岡市美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(役割)

第2条 協議会は、美術館の運営に関し美術館長(以下「館長」という。)の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるものとする。

(委員)

第3条 協議会の委員の定数は、10人とする。

2 委員は、当法人の専務理事が選定し、理事長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、任期満了後においても、後任者が就任するまで在任する。

6 委員の氏名等は公表する。

(委員の任期の起算)

第4条 協議会委員の任期は、就任の日から起算する。ただし、任期満了による選任が、任期満了の前に行われたときは、新たな委員の任期は、前任者の任期満了の日の翌日から起算する。

(委員の辞任)

第5条 委員が辞任しようとするときは、理事長に届け出るものとする。

(会長及び副会長)

第6条 協議会に会長及び副会長を置き、委員会において互選する。

2 会長は、会議の議長となり、協議会の会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、館長からの求めに応じ、会長が随時招集する。

2 委員の辞職又は任期満了に伴い会長及び副会長がともに欠けたときは、館長が協議会を招集する。

3 会長は、協議会を招集しようとするときは、委員に対し、開催日の2週間前までに、書面等により日時、場所及び議題その他必要な事項を通知しなければならない。ただし、委員全員の同意があるときは、この限りではない。

4 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

5 会長は、必要と認めるときは協議会に諮り、関係者に参考人として会議への出席を求め、資料の提供、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

6 会議当日に会長及び副会長とともに事故があるとき、又は会長及び副会長がともに欠けたときは、あらかじめ会長が指定した委員又は館長が指名した委員がその職務を代理する。

(議事録)

第8条 会議の議事については、その経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成するものとする。

2 前項の議事録は館長が保管し、保存年限は当法人文書取扱規程の定めるところによる。

(庶務)

第9条 協議会の事務は、静岡市美術館総務課において処理する。

2 美術館の職員は、協議会その他の事務処理を通じて知り得た事項を他に漏らしてはならない。

(補足)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。

附 則

この要綱は、平成23年6月19日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

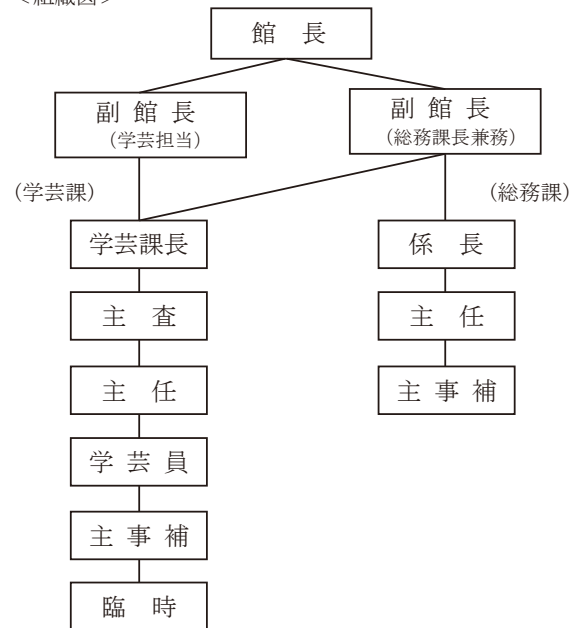
この要綱は、平成25年10月30日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

8-4 組織図・職員名簿

<組織図>



<職員名簿>(令和4年度)

館長	田中 豊稲
副館長(総務課長兼務)	矢澤 嘉章
副館長(学芸担当)	高市 純行

(総務課)

係長	青木 直美
主任	池ヶ谷 志帆
主事補	寺崎 薫

(学芸課)

学芸課長	山本 香瑞子(日本近代美術)
主査	高橋 哲也(日本美術)
主査	伊藤 鮎(西洋美術)
主査	大庭 千恵子(広報)
主任	太田 紗世(教育普及)
主任	大石 紗織(日本美術)
主任	安岡 真理(教育普及)
学芸員	小川 かい(西洋美術)
学芸員	深尾 茅奈美(西洋美術)
主事補	岡田 牧(広報)
臨時	岩本 成美
臨時	山中 悠(令和5年3月一)

8-5 条例・施行規則

○静岡市美術館条例

平成21年7月16日
条例第50号

(設置)

第1条 静岡市は、多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、及び美術文化の交流を促進することにより、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民の美術文化を振興することを目的として、次の施設を設置する。

名称	位置
静岡市美術館	静岡市葵区紺屋町17番地の1

(事業)

第2条 静岡市美術館(以下「美術館」という。)は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術文化に係る展示会の開催に関すること。
- (2) 美術文化の教育及び普及に関すること。
- (3) 美術文化に係る講演会、講習会等の開催に関すること。
- (4) 美術文化に係る調査及び研究に関すること。
- (5) 美術文化に係る情報の収集及び提供並びに広報活動に関すること。
- (6) 美術作品及び美術に係る資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事業(開館時間)

第3条 美術館の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。ただし、第7条の規定による指定を受けて美術館の管理を行うもの(以下「指定管理者」という。)が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更することができる。

(休館日)

第4条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(当日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下この号において「休日」という。)に当たるときは、その翌日以降の最初の休日以外の日)
- (2) 12月28日から翌年の1月4日までの日

(入館の制限)

第5条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 美術館の管理上支障があると認めるとき。
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、必要があると認めるとき。

(損害賠償の義務)

第6条 美術館の施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(指定管理者による管理)

第7条 美術館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の第3項の規定により、法人その他の団体であって市長が指定するものに行わせるものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第8条 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を添付して市長に申請しなければならない。

(指定管理者の指定の基準)

第9条 市長は、前条の規定による申請を審査し、次に掲げる基準に適合するもののうちから、最も効率的かつ適切な管理を行うことができると認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画が美術館の設置の目的を達成するためにふさわしいものであること。
- (2) 事業計画が美術館の効果的な管理を実現するものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を行うために必要な物的・人的能力を有していると認められること。
- (4) 管理の業務を適切かつ円滑に行うための経理的基礎を有していること。

(指定管理者の指定等の公告)

第10条 市長は、指定管理者を指定したとき、又はその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告するものとする。

(指定管理者の業務の範囲)

第11条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 第2条に掲げる事業の実施に関すること。
- (2) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める業務(指定管理者の原状回復の義務)

第12条 指定管理者は、その指定に係る管理の業務の期間が満了したとき、又は指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設又は設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(委任)

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して12月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第1条、第8条から第11条まで及び第13条の規定は、公布の日から施行する。

(平成22年規則第9号で、規則で定める日を平成22年5月1日とした。)

○静岡市美術館条例施行規則

平成21年11月12日
規則第103号

(趣旨)

第1条 この規則は、静岡市美術館条例(平成21年静岡市条例第50号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入館者の遵守事項)

第2条 静岡市美術館(以下「美術館」という。)の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 火災、爆発その他の危険を生ずるおそれのある行為をしないこと。
- (2) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 動物(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。)又は他人に迷惑を及ぼすおそれのある物品を持ち込まないこと。
- (4) 美術館資料、器物又は施設を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をしないこと。
- (5) 許可を受けないで広告類を掲出し、又はまき散らす行為をしないこと。
- (6) 所定の場所以外の場所へ立ち入らないこと。
- (7) 所定の場所以外の場所で飲食をしないこと。
- (8) 喫煙をしないこと。
- (9) 許可を受けないで寄附金品の募集、物品の販売若しくは陳列又は飲食物の販売若しくは提供をしないこと。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が管理上支障があると認める行為をしないこと。

(指定管理者の指定の申請書類)

第3条 条例第8条の規定による申請は、静岡市美術館指定管理者指定申請書(様式第1号)に、次に掲げる書類を添えて行うものとする。

- (1) 静岡市美術館事業計画書(様式第2号)
- (2) 静岡市美術館事業計画に関する収支予算書(様式第3号)
- (3) 定款、寄附行為又はこれに準ずるものの謄本
- (4) 役員名簿
- (5) 経営(事業)状況に関する書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類(協定の締結)

第4条 市長は、指定管理者を指定したときは、当該指定管理者と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定には、次に掲げる事項を掲載するものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 市が支払うべき管理費用に関する事項
- (3) 管理業務を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事項(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、静岡市美術館条例附則本文に規定する規則で定める日から施行する。

様式第1号(第3条関係)

静岡市美術館指定管理者指定申請書

年 月 日

(あて先)静岡市長

所在地(法人以外の団体にあつては、その代表者の住所)

申請者 名称

代表者氏名

印

電話

静岡市美術館の指定管理者の指定を受けたいので、静岡市美術館条例第8条及び静岡市美術館条例施行規則第3条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

様式第2号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画書

事業計画の理念・方針

実施事業の概要(事業の構成及び年間計画表)

実施体制図

特記事項(効果的に事業を行うための方策、市民サービスの向上のための施策等)

様式第3号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画に関する収支予算書

収入			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
支出			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円
			千円

8-6 施設・建築概要

所在地：静岡市葵区紺屋町17番地の1号 葵タワー3階

設置者：静岡市

構造：S造（一部RC・SRC造）

内装設計：株式会社丹青研究所

内装建築工事：株式会社木内建設

延床面積：3,393.22㎡

館内施設：

(展示関係) 展示室1：209.76㎡ 展示室2：713.03㎡

展示室3：204.17㎡

天井高：4.1m-4.5m

総壁面長(可動壁含む)：290m

床荷重：500kg/㎡

ウォールケース：総長60m (エアータイト型壁面ガラスケース)

(収蔵関係) 収蔵庫：141㎡ 収蔵庫前室：46㎡

(管理関係) 事務室・学芸員室：179㎡ 会議室31㎡

館長室兼応接室：19㎡

(交流ゾーン) エントランスホール：612㎡ (天井高6m) 多目的室：180㎡ (天井高5m) ワークショップ室：92㎡ (天井高3m)

設備：

(電気)[本体ビル]3相3線6.6KV(地中引込方式)、非常用発電設備
(給排水)[本体ビル]給水：上水、雑用水2系統 排水：汚水、雑排水分流方式

(消火)N2ガス消火設備(展示収蔵エリア)、スプリンクラー(その他エリア)、消火用散水栓、消火器、自動火災報知設備
(空調)[本体ビル]ガス焼き吸収冷温水機及び排熱冷温水機(熱源)、4管方式により冷温水供給

[美術館]展示室：エアハンドリングユニット(床置きコンパクト型)

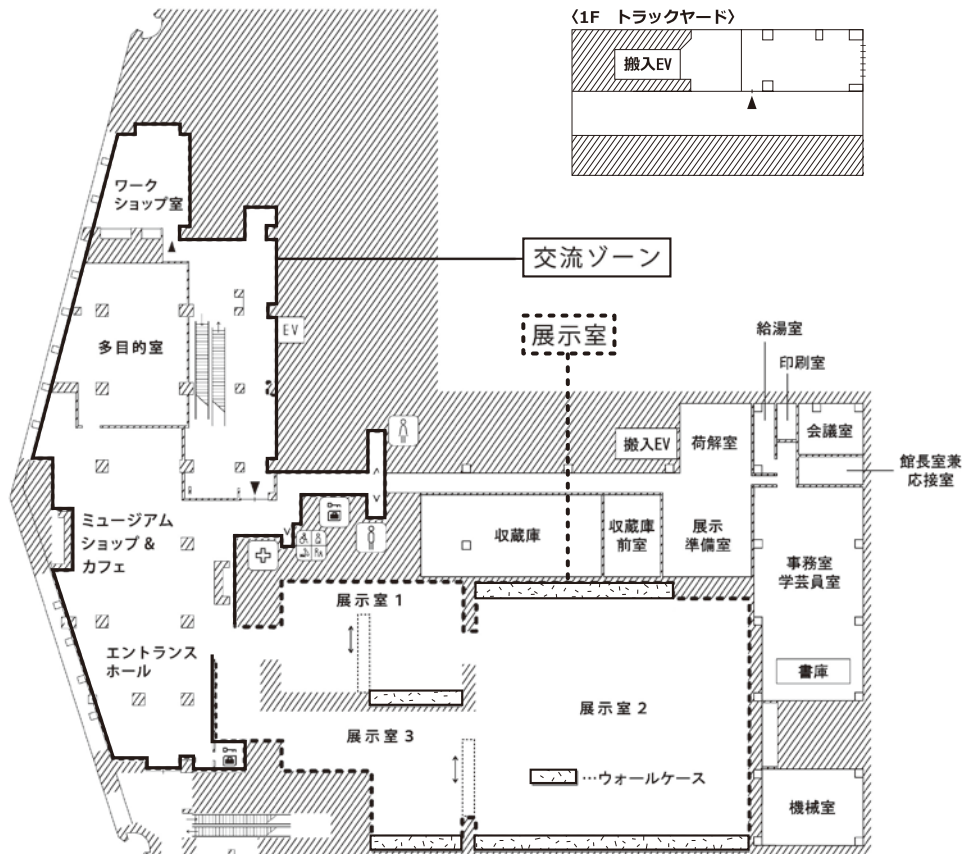
収蔵庫：空冷パッケージ(インバータ・セパレート型)エアコン

その他エリア：ファンコイルユニット

<静岡市美術館整備費内訳(単位：円)>

保留床購入費 (葵タワー再開発組合からの占有床購入経費)	¥2,461,200,000
内装・展示工事費	¥859,533,150
(内訳) 建築工事費	¥712,007,100
電気工事費	¥132,826,050
衛生工事費	¥14,700,000
整備費合計	¥3,378,123,924
(内訳) まちづくり交付金(国庫補助金)	¥1,180,000,000
市債(合併特例債)	¥1,571,200,000
一般財源	¥626,923,924

施設見取り図



令和4(2022)年度
静岡市美術館 年報 No.13
2024年2月 発行

編集・発行 静岡市美術館
〒420-0852
静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3階
TEL 054-273-1515(代)
FAX 054-273-1518

印刷 松本印刷株式会社

©Shizuoka City Museum of Art 2024

